

資料編 1

1 県内の生物多様性 保全・再生の 取組状況

1 県内の生物多様性保全・再生の取組状況

生物多様性に配慮した事業の展開

(1) 各フィールドでの取組

生物多様性の損失を食い止め、多種多様な野生動植物の生息環境の確保や、地域独特の文化や景観の保全など、生態系サービスの維持・向上に努めることは、私たちが将来にわたって生存していくために必要不可欠なことです。

そのためには、森、里、川、海などの環境要素それぞれを確実に保全するとともに、これらをネットワーク化することが求められます。

河川は、上流部周辺の森林を集水域に持ち、山から平野を経由して海に流れ込み、そうして運ばれてきた栄養素を基に海域では藻場などの豊かな生態系が形成されています。また、平野に広く存在する農地は、自然地域への人為的影響を抑えるバッファゾーンとしての役割や、雨水貯留能力、メダカやナマズなど多様な種の生息の場等、二次的な水域としての機能を持っています。このような河川や農地を中心に、最上流部の森林から最下流部の海域までの様々な環境要素のつながりを、「流域」として一体的に捉えながら生物多様性の保全に取り組むことが必要と考えられます。

ここでは県内の各フィールドで国、県、市町、NPO等、企業が主体的に実施している生物多様性の保全や再生の取組を中心に紹介します。

①森林での取組

ア 国の取組

○森林環境教育と森林整備

森林内での様々な体験活動等を通じて、森林と人々の生活や環境との関係についての理解と関心を深める森林環境教育や、市民やボランティア団体等による里山林の保全・利用活動等、森林の多様な利用及びこれらに対応した整備を推進しています。また、企業、森林ボランティアなど、多様な主体による森林づくり活動への支援や緑化行事の推進により、国民参加の森林づくりを進めています。

○森林生態系調査

森林生態系の調査など、森林における生物多様性の保全及び持続可能な利用に向けた施策を推進しています。国有林野では、原生的な森

林生態系を有する森林や希少な野生生物の生育・生息する場となる森林である「保護林」や、これらを中心としたネットワークを形成して野生生物の移動経路となる「緑の回廊」で、モニタリング調査等を行いながら適切な保護・管理を推進しています。溪流等と一体となった森林では、その連続性を確保することによりきめ細やかな森林生態系ネットワークの形成に努めています。

イ 県の取組

○新ひょうごの森づくり

森林を県民共通の財産と位置付け、森林の機能回復を社会全体で進めるため、「森林整備への公的関与の充実」と「県民総参加の森づくりの推進」を基本方針として、①森林管理 100%作戦、②里山林の再生、③森林ボランティア育成 1 万人作戦の三大作戦を中心に「新ひょうごの森づくり第 1 期対策(平成 14～23 年度)」を推進し、三大作戦の目標を達成することができました。

第 2 期対策(平成 24～33 年度)では、60 年生以下の人工林の間伐、里山林再生の必要性の高まりや、森林ボランティア活動の活性化などの新たな課題に対応するため内容を拡充し、木材の生産にも配慮しつつ、森林の持つ生物多様性の保全などの公益的機能の高度発揮を図っています。

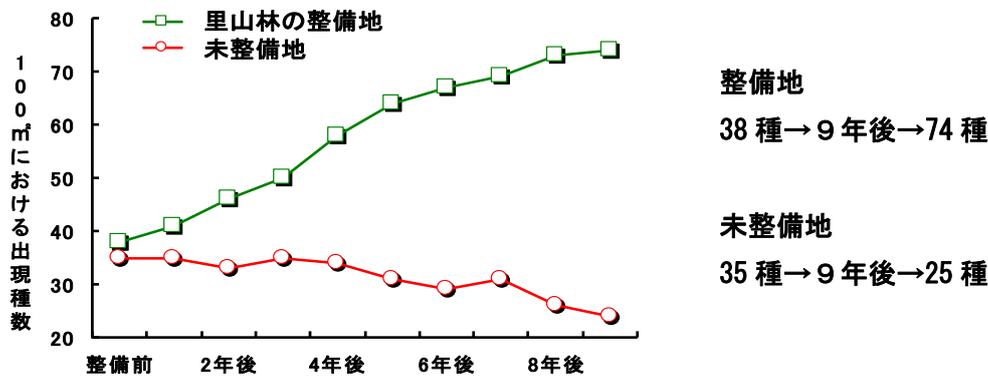
新ひょうごの森づくり第 2 期対策の概要

区 分		目 標 (H33年度末)	説 明
公的関与による森林管理の徹底	① 森林管理 100% 作戦	67,800ha	間伐が必要なスギ・ヒノキ人工林は、間伐及び作業道の開設に係る公共造林事業の補助残額を県・市町が負担して間伐の徹底を図る。
	② 里山林の再生	4,000ha	集落周辺の里山林で、地域住民等が自ら行う森林整備活動に対して、資機材等の支援を実施する。
多様な担い手による森づくり活動の推進	③ 森林ボランティア・リーダーの養成	1,000人	ボランティア団体の次代リーダーを養成する講座を開催し、森林ボランティア団体の活性化を図る(H29年度末 813人)。
	④「企業の森づくり」の推進	40社	企業等が社会貢献活動の一環として行う森林保全活動をさらに推進するため支援・指導体制を強化する(H29年度末 36社)。

里山林再生の主な成果

○里山林整備による生物多様性の向上(森林林業技術センター調べ)

里山林の整備により林内の光環境が改善されたことなどから、整備後9年で植物の種数が約2倍に増加(38種→74種)するなど、種の多様性の向上が確認された。



○ふるさとの森公園等の運営

県民の参画と協働により、森林の保全と創造を進めるとともに、地元住民と都市住民、世代間交流の場、親子・家族のふれあいの場となる県内6箇所の「ふるさとの森公園」や三木山森林公園を運営しています。

○県民緑税を活用した災害に強い森づくりの推進

「防災」という面からの取組も行っています。県民緑税を活用し、森林の防災機能を強化する「災害に強い森づくり」や「防災・環境改善のための都市緑化」を進めています。「災害に強い森づくり」では、平成16年や21年の台風災害を教訓に、スギ・ヒノキ人工林の間伐林を利用した土留工の設置、流木・土石流被害を軽減する災害緩衝林整備、集落裏山の危険木除去などを実施してきましたが、平成23年度からの第2期対策では、従来からの取組に加えて、地域住民による森林整備等の活動を支援する「住民参画型森林整備」を進めています。続いて平成28年度からは、六甲山系で風化花崗岩や松枯れ跡地の森林整備を進め、崩壊防止機能を強化する「都市山防災林整備」を加えた第3期対策に取り組んでいます。

災害に強い森づくりの主な成果

○スギ・ヒノキ林内での土留工設置による草本層植被率の向上

緊急防災林整備(斜面对策)では、間伐木を利用した土留工を設置した整備区では草本層植被率が80%であり、設置していない対象区の20%に比べ、4倍まで向上しました。

草本層植被率の向上により、降雨による表面侵食が低減され、未整備地に比べて年間の土砂流出量が1/8に抑制されるなど森林の表面侵食防止機能の向上に寄与することが確認できました。

都市山防災林整備

○六甲山系の森林で防災機能強化のための森林整備や土留工の設置等の実施

〔整備内容〕

- ◇広葉樹林の間伐
- ◇大径木、危険木の除去
- ◇簡易土留工の設置

〔事業主体〕

- ◇市(神戸市、西宮市)



神戸市での広葉樹林整備

○林地開発許可制度による森林の保全

森林の有する公益的機能を確保するため、森林の開発行為が適正なものとなるよう、森林法に基づく林地開発許可制度が設けられ、森林を保全しています。具体的には、1 ha (10,000 m²)を超える森林の開発をしようとするときは、この制度の手続きに従って、知事の許可を受けなければなりません。

○森林保護対策の推進

松くい虫被害を防止するため、公益的機能の高い保安林等を防除区域、その近隣のマツ林を周辺区域として指定し、薬剤散布や樹幹注入等の予防対策と被害を受けたマツの伐倒・薬剤処理等の駆除対策を効果的に組み合わせ、総合的かつ重点的な防除を実施しています。

枯損木の倒伏による人や車への被害及び景観の悪化等が懸念されるナラ枯れ被害対策として、「兵庫県ナラ枯れ被害対策実施方針」に基づき、里山の散策道沿いなど不特定の県民が立ち入る森林や地域資源として景観が重視される森林で重点的な対策を実施し、二次被害の防止に努めています。

○六甲山系グリーンベルト整備事業

堰堤の設置など、森林の造成を行ってきた六甲山は、大都市に近接した貴重な緑の空間として人々に愛され続けてきました。しかし、平成7年の阪神・淡路大震災によって風化した花崗岩に緩みが生じ、新たな斜面崩壊や亀裂等が多く発生しました。そこで土砂の発生源対策として山腹斜面を面的に整備する必要が生じたことから、これまでの溪流対策中心の砂防事業に加え、六甲山の市街地に隣接する山腹斜面を一連の防災樹林帯として保全・整備する「六甲山系グリーンベルト整備事業」や、景観、樹木の保存に配慮した「災害に強い斜面对策」を実施しています。

広葉樹林化の推進

スギ・ヒノキ人工林のうち、山地災害防止や野生動物の生息環境に配慮した多様性の高い森林へ移行させるため、積極的に広葉樹の植栽を進めています。

たとえば、大面積に広がる手入れ不足のスギ・ヒノキ人工林をパッチワーク状に小面積に伐採し、その跡地に広葉樹を植栽して、針葉樹林と広葉樹林が混交した森林に誘導したり、将来的にスギ・ヒノキ人工林を広葉樹林に誘導する事業を推進しています。



宍粟市一宮町の混交整備

○上山高原エコミュージアム

扇ノ山系に連なる上山高原では、ツキノワグマの棲む豊かな森の復元のためにスギ人工林の間伐やブナ等の広葉樹を植樹し、イヌワシの餌場となるススキ草原の復元をめざしたササや灌木の伐採を行う自然再生の取組（「上山高原エコミュージアム」）を行っています。



上山高原の自然再生

○あわじ島竹取物語プロジェクト

淡路島では、拡大を続ける放置竹林の問題に取り組むため、平成20年に竹林管理の手引書を作成し、研修会や講習会などで普及するほか、平成24年度から「あわじ島竹取物語プロジェクト」を進め、一般家庭や事業者に向けた竹チップボイラーの試験的な導入に取り組むNPO法人淡路環境整備機構を支援するなど、竹林整備や竹資源の有効利用に関する活動を進めています。

六甲山の自然再生（明治 35 年～）

江戸～明治時代の六甲山は、樹木や下草を燃料や肥料に利用したり、マツの根を灯りの油に利用したために荒廃が進み、山頂平坦部から南面一体はほとんど木々のない山となっていました。植物学者の牧野富太郎博士は、船上から六甲山のはげ山を見て「雪が積もっているのかと思った」と驚いています。その後の治山事業、砂防事業による植樹により、100年の歳月をかけて六甲山が再生されました。マツ、ヒノキ、スギ、カシ、クヌギ、ハゼなどの植樹などによって現在の豊かな森林生態系が回復しています。

淡路夢舞台の緑化（平成 6 年～平成 12 年）

淡路夢舞台が設置されている土地は、昭和 38 年までは手付かずの自然が残る森でした。しかし、同年 4 月に、関西国際空港等の埋立て用として約 120ha の土砂採取が始まり、土肌が露出して荒れ果てた姿に変わってしまいました。このため、平成 6 年の土砂採取の終了を受けて跡地の斜面地緑化工事に着手しました。緑化工事では、樹木の育成基盤を造成するため、風化の進んだ岩盤には法面を階段状に掘削して人工土壌吹付、軽量法枠工法、自動灌水システムを導入するなど基盤工法に工夫するほか、ウバメガシなど従来から周辺に群生する樹種を植栽する「郷土の森」の創造を短期間で実現しました。また、地域住民の参画によりドングリの収集と播種を行っており、地域の自然環境は地域住民で回復するという取組を実践した事例となっています。

兵庫県が開発した地震に強い「ひょうご式斜面工（R・R工法）」の開発・推進（平成 9 年～）

阪神・淡路大震災によって六甲山では、700 箇所を超える斜面崩壊が発生しました。兵庫県では全国に先駆けて自然斜面における耐震工法の開発に着手し、斜面を模擬した模型を使った振動大実験やシミュレーションを繰り返し、ロープネットとロックボルトを併用した R・R 工法を開発しました。本工法は樹木の伐採を少なくできることから、森林、景観の保存に配慮することができ、また既存の法枠工と比較して安価に施工することができます。

阪神・淡路大震災以降、各地で施工されています。

人工林の適正管理と生物多様性（平成 14 年～）

スギ、ヒノキ人工林は、戦後、不足する木材需要に対応するため大面積に植林されましたが、安価な外材の輸入増から国内の林業採算性は悪化し、放置されることが懸念されました。このため、平成 14 年度から県と市町が協力し森林所有者の負担なしで間伐を行う環境対策育林事業（現：森林管理 100% 作戦推進事業）に取り組み、太陽の光が差し込み下草等の下層植生が生育できるよう適切な間伐を推進しています。

これら人工林は順次伐採利用が可能な林齢に達してきており、林齢の異なる森林がバランスよく配置されるような伐採方法の採用などにより、山崩れなどの山地被害の防止や多様な動植物の生息・生育の場の確保が期待できます。このため植林→保育（間伐など）→伐採→再植林という林業生産サイクルを円滑に循環させ、木材生産と同時に、生物多様性保全など森林の多面的機能が持続的に発揮される「資源循環型林業」の構築を目指しています。なお、再植林に際しては、地形、地質、土壌などの条件を踏まえ、広葉樹の植栽も含めた適地適木に留意しています。

ウ 市町の取組

○住民活動等に対する支援

加西市では市内で収益を伴わない間伐活動に対して樹木粉碎機の有料貸出しを行っており、粉碎したチップは、雑草抑制や発酵させて土壌改良材として利用されています。

また、篠山市では放置林対策として、整備に取り組む団体への竹粉碎機の無料貸出しや、地域住民が主体となって取り組む里山整備や健全な森林環境の再生による多面的機能の発揮のための針葉樹人工林の広葉樹林化作業などに補助金による支援を実施しています。

○環境教育活動の実施

神戸市ではキーナの森と国営明石海峡公園神戸地区を神戸市における生物多様性保全のシンボル拠点と位置づけ、市民参加による里山整備体験や自然観察等の環境教育活動を実施しています。篠山市では市民を対象に、里山や森林の整備に必要な基礎的な知識や技術を取得する講座の開講や、市内児童・幼稚園児を対象に、里山とふれあうきっかけをつくるための森林インストラクターによる講座を開講しています。

○植生分析・植生図作成

西宮市では北山などにおける自然環境調査や鷲林寺などにおける植生分析・現存植生図を作成しました。

エ NPO等の取組

○里山再生・体験学習の実施

「川西里山クラブ」では妙見山上の桜谷にエドヒガン群落(兵庫県版レッドデータブックBランク)を発見し、川西市の天然記念物指定に貢献しました。一番大きなエドヒガンの名称を市民に募集し、「出会いの妙桜」と命名し、コナラの大木を伐採し跡地にクヌギを植樹するなど、里山の若返りを図り、維持管理を行っています。伐採したコナラは、しいたけのほだ木やパンやピザを焼くための薪として利活用し、植樹や里山散策等の市民向けイベントや小学生の「里山体験学習」の実施にも取り組んでいます。

○森林ボランティア講座等の運営

「NPO法人ひょうご森の倶楽部」では、森林ボランティアの新規参入を促進するため、県主催の森林ボランティア講座の企画・運営を行い、会員が座学や実技の講師を務めています。また、企業の森づくりの現場作業の指導も積極的に行っています。

オ 企業の取組

○六甲山系グリーンベルト整備事業

六甲山地の斜面を樹林帯として守り育て、防災機能の強化と自然豊かな生活環境を確保する「六甲山系グリーンベルト整備事業」には、多くの企業・市民が参画しています。

○企業の森づくり活動

企業が県・市町・(公社)兵庫県緑化推進協会等とパートナーシップ協定を締結し、間伐や下草刈りなどの森林の手入れや植樹を実施しています。植樹にあたっては、地域植生を尊重して苗木を育成するなどの取組を実施しています。

○漁業者による森づくり活動

県内の漁業者が「豊かな森は豊かな海をつくります」を合い言葉に森づくり活動に取り組んでいます。荒廃した森の森林整備(除伐作業)や植樹作業を行っています。

②田園地域・里地里山での取組

ア 国の取組

○取組事例の情報発信

環境省ウェブサイト等で、地域や活動団体の参考となる里地里山の特徴的な取組事例や生物多様性保全上重要な里地里山(重要里地里山500)(*)の情報を発信し、他の地域への取組の波及を図っています。

○文化的景観保護推進事業

棚田や里山といった地域における人々と自然との関わりの中で形成されてきた文化的景観の保存活用のために行う調査、保存計画策定、整備、普及・啓発事業を補助する文化的景観保護推進事業を実施しています。

イ 県の取組

○農業農村の整備

農業農村の整備にあたっては、環境との調和に配慮し、豊かな生態系や景観等を保全するため、「環境配慮カルテ」の作成などを通じて地域の特性に応じた多自然型の整備を進めています。また、生物の生息環境となるビオトープの水路、水路と水田をつなぐ水田魚道の設置など環境に配慮した農地整備を推進するとともに、堆肥や有機質資材による土づくりや化学肥料・農薬の使用量低減を一体的に行う環境創造型農業の推進などにより、水田に生息する生き物を育み、人と環境にやさしい農業に取り組んでいます。

県下の農村地域では、農地・水・保全管理活動の一環として、農家だけでなく非農家が加わり、地域一体となった活動組織が環境保全の計画を立て、地域ぐるみで生態系保全の取組を行っています。

過疎高齢化が進んだことにより、農業を継続することや農村を守り続けしていくことが難しくなっている中山間地域の農村では、都市の住民が農村の住民と一緒に農作業や集落活動を行う「農山漁村ボランティア活動」に取り組んでいます。この活動は田植え、草刈り、収穫などの農作業だけでなく、水田の保全や水路清掃による生物の生息環境の保全などの直接的な環境保全と、集落が維持されることによる人と自然が共生する二次的自然環境の保全に繋がっています。

○ため池保全

平成 10 年に策定した「兵庫県ため池整備構想」では、ため池を農業利水や治水だけでなく、自然とふれあえる場、気軽に水に親しめる場として整備することとしています。また、平成 27 年に制定した「ため池の保全等に関する条例」ではため池等の適正な管理と



東播磨のため池

多面的機能の発揮の促進に向けた取組を県民一人ひとりがそれぞれの立場で実践していくことを「ため池保全県民運動」として展開しています。国内有数のため池密集地である東播磨地域では、ため池管理者・地域住民・団体・事業者・行政など地域の様々な活動主体の参画と協働による“いなみ野ため池ミュージアム”の取組を推進しています。

ため池ふるさと教育プログラムの実践

地域の複数のため池協議会と小学校が連携し、6年間を通じて継続的に「ため池学習・農業体験」に取り組むことで、次世代を担う子供達の「ふるさと意識」を醸成することを目的に、「ため池教育プログラム」を実施しています。

実施期間は平成27年度～32年度の6年間で、高砂市立北浜小学校をモデル校として実施し、この取組で教育分野で優れた業績をあげた個人に贈られる「第66回読売教育賞」生活科・総合学習部門の優秀賞を校長が受賞し、「ため池の役割や外来種の影響などを実体験で知ること、子供たちの環境や安全に対する意識に変化が出てきた」とコメントしました。

○北摂里山博物館構想

大阪や神戸などの大都市に近接する北摂地域では、川西市黒川地区、県立宝塚西谷の森公園、県立有馬富士公園などの里山地域一帯を「北摂里山博物館(地域まるごとミュージアム)」として位置づけ、環境学習(里山)、野外活動など、訪れる人々のニーズに合わせた利活用を通じて、北摂里山の持続的な保全を図り、地域の活性化につなげています。

○ほ場整備

小野市来住町で着工されたほ場整備事業では、工事中に絶滅危惧種のヒメタイコウチなどが発見されたため、当初計画を変更して多自然型工法を採用し、流れやよどみができるような工法を用いてビオトープ空間を再生しました。完成後は、地元の小学生等による自然観察会や、小学校で農業体験できる「田んぼの学校」を開催するなど、地元が一体となった自然との共生を図る取組が行われています。

○コウノトリの野生復帰

平成17年9月24日に県立コウノトリの郷公園から、5羽のコウノトリが大空に放たれました。昭和46年、最後の野生コウノトリが姿を消してから、30数年を経て、日本の空にコウノトリが舞い、野生復帰に向けた歴史的な一歩が刻まれました。

野生コウノトリの最後の生息地であった豊岡では、昭和30年から、国・県・市そして地域住民が一体となってコウノトリの保護に取り組んできました。「コウノトリが暮らせる環境が、人間にとっても豊かな環境である」との共通した思いの下に、行政と地域に暮らす人たちが力と知恵を合わせて、コウノトリと共生できる環境づくりを進めています。

ため池コウノトリプロジェクトの推進

東播磨のため池・水路・農地に飛来するコウノトリの飛来頻度の向上と定着をシンボルとして、地域主体の生息環境づくりを進めることにより、ため池の生態系の保全・再生を促進し、地域づくりや地域活性化を総合的に推進しています。

平成 28～29 年度には、具体的な取組の方向性・目標を示すためプロジェクト構想及び実施計画書の作成を進め、平成 30 年度からは、この構想及び実施計画書に基づき、浅瀬の創出や水田ビオトープなどまずは餌場の確保に向けた生息環境の整備等を推進しています。

平成 29 年度には、9羽のコウノトリが、延べ 40 日を超える期間、特に秋から冬にかけて餌場として東播磨のため池等を活用していることが確認されています。

豊岡市の取組

豊岡市におけるコウノトリの野生復帰の取組では、農業者、地域住民、NPO、研究者などの参画・協力のもとに、コウノトリを守る環境を保全、再生、創出しています。地域が一体となった生物多様性を再生する取組は、観光客の増加やコウノトリ育む農法で生産されたお米（コウノトリ育むお米）のブランド化などの地域産業の振興につながる取組へと発展しています。

ウ 市町の取組

○ため池清掃活動

ため池の管理は地元の農家が行ってまいりました。しかし、近年ため池に捨てられたゴミや、汚れた水の流入などにより、維持管理にかかる負担が増大しています。そのため明石市ではため池管理者である農家と地域住民が協働してため池の清掃活動を行う、“ため池クリーンキャンペーン”の実施に協力しています。

○ビオトープの整備

篠山市では休耕田に通年湛水し、ビオトープとして整備したうえで、草刈等の維持管理を行う市民、また、生き物に関する普及啓発や環境整備を行う市民や団体に対して補助金による支援を実施しています。

○都市近郊里地里山の整備

西宮市では生物多様性地域連携促進法に基づき、甲山グリーンエリア地域連携保全活動計画を平成 26 年 3 月に策定し、森林整備で生じた森林資源を、市立キャンプ場で使用する薪として利活用しています。都市近郊で里山の仕組みを独自に再現する『都市型里山』として推進中で、同場所は、環境省の生物多様性保全上重要な里地里山(重要里地里山 500)に選定されています。

エ NPO等の取組

○地域生態系の保全・再生

姫路市の「六方めだか公園」では 1999 年 4 月開園以来、連日開放し、「参加型作業公園」として、環境体験学習会や、自然学校、教員研究・研修への会場提供、環境調査活動としての生きもの調査、水質調査、写真記録の継続、環境保全活動としての六方めだか公園 40a、下鉢山こうのとり遊園地 100a の管理を実施しており、また、普及活動として行政と協働で子どもいきいき体験事業、野生復帰事業等を開催しています。

○希少種の保全

「たつの・赤トンボを増やそう会」では龍野ゆかりの詩人・三木露風の童謡「赤とんぼ」に詠われた原風景を復活させる為、赤トンボ(アキアカネ)を育む農法の確立や、飼育施設等を使った学習・観光事業、飼育田等での子供たちの体験学習事業、アキアカネを水田で増やせる自然のサイクルを確立する為の事業を実施しています。

オ 企業の取組

○里山保全プロジェクトの実施

有馬富士公園をはじめ事業所周辺の公園や森林、河川などの“身近な自然”を回復する活動を「里山保全プロジェクト」として実施しています。「地道と継続」をキーワードに、各地域の状況に合った活動を段階的に展開することで、多様な生命を育み、様々な恵みを与えてくれる自然へ「恩返し」をするとともに、事業所のある地域に貢献しています。

○森林整備と環境学習

六甲山系の東端に位置する社家郷山で、「企業の森づくり」活動として西宮市所有の森林を整備し、環境学習の森として利活用を行っており、森林整備の他に森林ボランティアの育成や市民等を対象に木こり体験や薪割り体験といった里山体験活動も実施しています。同場所は、環境省の生物多様性保全上重要な里地里山に選定されています。

③都市での取組

ア 国の取組

○緑地、水辺の保全・再生・創出

緑化推進連絡会議を中心に、国土の緑化に関し、全国に幅広く緑化推進運動の展開を図っています。また、都市緑化の推進として、「春季における都市緑化推進運動(4月～6月)」、「都市緑化月間(10月)」を中心に、普及啓発活動を実施しています。

都市における多様な生物の生息・生育地となるせせらぎ水路の整備や、下水処理水の再利用等による水辺の保全・再生・創出を図っています。

○都市公園・緑地等事業

都市における緑とオープンスペースを確保し、水と緑が豊かで美しい都市生活空間等の形成を実現するため、都市公園の整備、緑地の保全、民有緑地の公開に必要な施設整備等を支援する「都市公園・緑地等事業」を実施しています。

イ 県の取組

○尼崎 21 世紀の森構想

都市地域における特徴的な取組として、尼崎臨海地域(国道 43 号以南約 1,000ha)で、100 年をかけて自然と人が共生する環境共生型のまちを創ろうと平成 14 年から展開している「尼崎 21 世紀の森づくり」が挙げられます。現在、市民の参画と協働のもとに、「生物多様性の高い森」を創出させるため、地域の気候風土の中で適応してきた遺伝子資源の保全に配慮し、基本的に武庫川流域、猪名川流域、六甲山系に自生している樹木から採取した流域産種子から育てた地域性苗木の栽培と植栽、この地域が有する運河等の水環境を活用したイベントの開催など、水と緑豊かな環境の創出をめざして住民・企業等と連携した各種活動に取り組んでいます。

○県民まちなみ緑化事業

県民緑税を活用し、ヒートアイランド現象の緩和など環境の改善や周辺地域の美しい景観との調和を図ることを目的に住民団体等が公有地や民有地で行う緑化活動に対して支援し、「一般緑化(植栽、生垣、修景)」、「校園庭・ひろばの芝生化」、「駐車場の芝生化」、「建築物の屋上・壁面の緑化」「大規模都市緑化」など都市の緑化を推進しています。

さらに環境の保全と創造に関する条例に基づき、市街化区域で建築物の屋上・壁面の緑化、建築物の敷地緑化を義務づけるなど都市部の緑化の一層の推進を図っています。

生物多様性尼崎の森中央緑地戦略(平成 22 年～)

尼崎臨海地域(国道 43 号以南約 1000ha)を対象に、地域住民・企業等の参画を得て、失われた自然の回復、自然環境と企業活動が調和したまちへの再生を進めていますが、森づくりが進められている地域の中でも「尼崎の森中央緑地」は、生物多様性保全を目的のひとつに明確に位置づけた最初の都市公園です。

生物多様性の保全と持続可能な利用を図るうえで、遺伝子の多様性を守ることは重要な要素の一つです。この「尼崎の森中央緑地」では、森づくりを進めるにあたり、種子の採取範囲(猪名川水系、武庫川水系、六甲山系の3系を対象)を定め、その範囲に自生している植物の種子を採取し、苗木を育てるという全国的にも先進的な取組を進めています。



生物多様性尼崎の森中央緑地戦略より抜粋

ウ 市町の取組

○ビオトープの整備

西宮市では幼児期の環境学習・生物多様性体験の場として、西宮市内の全公立保育所にビオトープ（池）を設置し、また、随時保育士向けにビオトープの管理指導も実施しています。

○植樹・保全活動

西宮市では県の指定天然記念物となっているコバノミツバツツジの植樹・保全を「環境学習都市にしのみや・パートナーシッププログラム」として市民参画により実施し、地域ならではの豊かな自然とふれあう中で、生物多様性に配慮した公園づくりを目指しています。

エ NPO等の取組

○地域生態系の保全・再生

「自然と文化の森協会」は尼崎市が策定した「自然と文化の森構想」を推進するため、市民の主体的な活動を行う中核組織として設立されました。兵庫県版レッドデータブック掲載の猪名川自然林（自然景観Bランク、植物群落Cランク）や猪名川、藻川（生態系Cランク）周辺で、自然林やその手入れなどを行うボランティア養成講座や、自然観察会等を開催しています。

○生物生息・生育環境の創出

「兵庫運河を美しくする会」による清掃・環境改善活動及び周辺緑化、「兵庫運河真珠貝プロジェクト」によるアコヤガイを使った環境教育活動、兵庫漁業協同組合による「天然アサリの復活事業」などを実施しており、この3団体がコアとなり、地元自治会、婦人会、近隣の小中高等学校等とも協働し、兵庫運河全体の景観向上、環境改善、生態系の保全、生物多様性の向上を図っています。

オ 企業の取組

○希少種の育成

加古川市内で希少種のフジバカマ（植物Bランク）、丹波市内でオムラサキ（昆虫Cランク）等を工場敷地内で専門家等との協力により育成しています。

○ビオトープの整備

神戸市内で工場から出た排水を高度リサイクルシステム導入により浄化し、工場内のビオトープで使用しており、そこでは、地域の人々と一緒に希少種のカワバタモロコ（魚類Aランク）の保護育成に取り組むとともに、ビオトープ観察会などの環境学習会も開催しています。

○希少植物の一時避難

県立人と自然の博物館の保全実験に協力し、博物館指導のもと、工場の敷地面積と立地等を活かして、希少植物の一時避難場所として活用しています。また、従業員がボランティアで道路・河川工事等で生息場所を失う希少植物の採取・移植も実施しています。

④河川・湿原での取組

ア 国の取組

○調査研究

河川やダム湖等における生物の生息・生育状況の調査を行う「河川水辺の国勢調査」を実施し、結果を河川環境データベースとして公表しています。また、世界最大規模の実験河川を有する国立研究開発法人土木研究所自然共生研究センターで、河川や湖沼の自然環境保全・復元のための研究を進めています。加えて、生態学的な観点より河川を理解し、川の在るべき姿を探るために、河川生態学術研究を進めています。

○普及啓発

国内のラムサール条約湿地は2018年10月末時点で52か所となっており、普及啓発活動等を進めています。2016年4月に公表した「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）」について、湿地とその周辺における生物多様性への配慮の必要性を普及啓発しています。

イ 県の取組

○ひょうご・人と自然の川づくり

平成8年に策定した「ひょうご・人と自然の川づくり（基本理念・基本方針）」に基づき、「治水・利水」「水文化・景観」「生態系」「親水」の4つを柱として、瀬、淵の保全・復元や生物移動の障害となる落差解消（連続性の確保）など生物の生息環境や水辺空間の保全・創出に取り組むとともに、希少藻類であるチスジノリの再生、自然石での水路整備によるバイカモの再生、河川護岸の空隙確保によるオオサンショウウオに配慮した整備など、人と自然が共生する川づくりの取組を推進しています。具体的な取組を「ひょうご・人と自然の川づくり事例集（平成11、平成16、平成23年）」として冊子にとりまとめ、生物多様性への配慮を実践するための資料とする他、取組への理解を深めてもらうために県ホームページ（<http://web.pref.hyogo.lg.jp/ks13/jireishuu.html>）などで広く周知を行っています。



高水敷掘削による人工浅場に集まったコウノトリ
(豊岡市 円山川)

○ひょうごの川・自然環境調査

“河川水辺の国勢調査”や“ひょうごの川・自然環境調査”など河川における物理的特性や生物多様性の現状調査を実施していますが、その結果は「ひょうごの川・鳥類ガイドブック（平成14年）」、「ひょうごの川・自然環境アトラス（平成19年）（WEB版：<http://web.pref.hyogo.lg.jp/ks13/kankyochosa.html>）」、「兵庫県河川植生分類指針（平成21年）」などの冊子としてとりまとめ、生物多様性の保全計画策定時や河川環境の学習素材作成時などに活用しています。

○丸山湿原エコミュージアム

県天然記念物に指定されている宝塚市の丸山湿原群では、湿原及び周辺の里山一帯を「丸山湿原エコミュージアム」と位置付け、地元住民等により植生調査などのモニタリング、間伐等保全活動、湿原保全セミナーなどが行われています。また、三田市天然記念物に指定されている皿池湿原でも、貴重な生態系の維持、魅力の発信を図るため、「守り人養成講座」等の保全事業を展開しています。



宝塚市 丸山湿原

オオサンショウウオ救出作戦

(平成2年～平成6年)

平成2年に但馬地方を襲った台風19号により建屋川が氾濫しました。大きな被害を受けた被災地区の河川改修工事が始まった工事初期段階に、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオが確認されたため、工事前に捕獲して別の場所に移転させる「捕獲疎開作戦」、工事期間中は仮すまいで忍んでもらう「飼育管理作戦」、戻ってくる個体のためにできるだけすみよい場をつくる「新居提供作戦」などの対策を実施しました。新居提供作戦では、オオサンショウウオがすみよい護岸工法を採用するほか、山間部の景観に適合した川づくりを行うことにより、市民が憩い、オオサンショウウオをはじめ生物との共存にも思いを馳せることができる空間づくりを行いました。

(平成16年～平成20年)

また、平成16年の台風23号で大きな被害を受けた出石川の災害復旧工事でもオオサンショウウオの生息が確認されたため、災害復旧工事の本格化を前に、県が平成17年8月から413頭を順次捕獲し、旧日高町のニジマス養殖場で保護しました。復旧工事では、元のすみかである出石川に人工の巣穴や魚道を設置する工法を盛り込むなど、生き物にやさしい河川として再生しました。また、災害復旧工事が終了し、餌となる生き物も川に戻りはじめた頃を見計らって、平成17年11月に、寺坂小学校の生徒達が、平成20年3月に高橋小学校の生徒達が、保護していたオオサンショウウオを出石川に放流しました。それぞれの小学校では「防災・環境・オオサンショウウオ学習会」を行ったり、出石川で生き物調査を行うなど環境学習にも取り組みました。放流されたオオサンショウウオにはマイクロチップが取り付けられ、工事で護岸に整備した人工巣穴の使用状況、移動状況などが追跡調査されています。

ウ 市町の取組

○湿原の保全

三田市ではサギソウ、トキソウ、ハッチョウトンボ、ヒメタイコウチなど、湿原に特有な様々な生きものがみられ、市域の生物多様性を保全するうえで非常に重要な場所となっている皿池湿原を市民、企業、専門家、行政などの多様な主体の連携により保全するとともに、良好な状態で次世代に引き継ぎ、持続的に利活用することを目的に皿池湿原保全活動計画を策定しています。

コウノトリの生息地保全には水辺環境が必要不可欠なため、特に田んぼに水が無い時期のエサ場は重要です。そのため豊岡市では、拠点となる一定規模の湿地帯と小規模ビオトープのネットワークで、面的に湿地環境を創出しようとしています。城崎(きのさき)温泉のすぐ近く、城崎町戸島(としま)地区で、“ジル田”と呼ばれた湿田の一部を公的に買い上げて兵庫県と豊岡市が整備した人工湿地です。大陸から飛来した野生コウノトリ・ハチゴロウ(平成19年死去)が愛した場所で、円山(まるやま)川下流域における湿地ネットワークの核になる場所です。また、円山川河口近くの漁村・田結(たい)地区では、耕作放棄された水田を村ぐるみで湿地として機能させようとする動きが進められています。

なお、「ラムサール条約」に登録されている円山川下流域と周辺の水田地帯の対象エリアの拡張が平成30年10月21日からドバイで開かれた同条約の締約国会議で、正式に決定されました。新たに534haが加わり、総面積は計1,094haとこれまでのほぼ倍となりました。

○ビオトープの整備

豊岡市では農家に管理委託し、市内各地の休耕田等を活用したビオトープの配置を進めています。大規模湿地を結ぶ中継地となり、湿地の回廊を形成します。そこは、コウノトリのエサ場としてのみならず、生きもの調査を中心とした小学生の環境教育フィールドとしても活用しています。

エ NPO等の取組

○湿地の保全

「長谷ロミツガシワ湿地保存会」では2003年に最初のミツガシワ(植物Aランク)を発見、2012年に新たな群落を発見して以降、地元住民と協働し、ミツガシワ等の希少植物が生育する湿地の草刈りやゴ

ミ拾い、シカ柵の設置及び点検、葦の抜き取り等、湿地の保全に取り組んでいます。

○動植物の保全

「夙川に蛍を増やそう会」ではかつて蛍がいた光景を子ども達に見せたいという思いから、夙川が蛍を含めた多くの生き物がすめるような自然豊かな環境になることを目指して活動しています。夙川の蛍を捕獲し、夙川の水とカワニナで養殖し、孵化した幼虫を放流し、また、蛍の個体数調査と放流の影響による個体数変動調査を実施しています。

オ 企業の取組

○湿地整備

豊岡市は、コウノトリのえさ場となる「ハチゴロウの戸島湿地」整備の一環で、草刈りを実施しています。

○護岸工事

鉄筋コンクリート二次製品「ブランチブロック」と石材を組み合わせて、河川護岸や盛土擁壁、河川護床の工事にブランチブロック工法を実施しています。水流制御効果などがあり、自然災害に強く、また、自然石を使用し隙間に生物などが生息可能な為、自然環境にやさしいものとなっています。

⑤沿岸・海洋での取組

ア 国の取組

○水産資源の保護管理

漁業法及び水産資源保護法に基づく採捕制限等の規制や、海洋生物資源の保存及び管理に関する法律に基づく海洋生物資源の採捕量の管理及び漁獲努力量に着目した管理を行うほか、[1]「資源管理指針・計画」の推進、[2] 外来魚の駆除、環境・生態系と調和した増殖・管理手法の開発、魚道や産卵場の造成等、[3] ミンククジラ等の生態、資源量、回遊等の実態把握及び資源回復手法の解明に資する調査、[4] ヒメウミガメ、シロナガスクジラ及びジュゴン等の原則採捕禁止等、[5] サメ類の保存・管理及び海鳥の偶発的捕獲の対策に関する行動計画の実施促進等、[6] 混獲防止技術の開発等を実施しています。

○港湾及び漁港・漁場における環境整備

地方公共団体やNPO等による自然体験・環境教育プログラム等の開催の場ともなる緑地・干潟等の整備を推進するとともに、海洋環境整備船による漂流ごみ・油の回収を行っています。

また、放置艇の解消を目指した船舶等の放置等禁止区域の指定と係留・保管施設の整備を推進しています。さらに、海辺の自然環境を活かした自然体験・環境教育を行う「海辺の自然学校」等の取組を推進しています。

漁港・漁場では、漁場の環境改善を図るための堆積物の除去等の整備を行う水域環境保全対策を実施したほか、水産動植物の生息・繁殖に配慮した構造を有する護岸等の整備を総合的に行う「自然調和・活用型漁港漁場づくり推進事業」を実施しています。

イ 県の取組

○漁場整備

かつて、瀬戸内海は「瀕死の海」と呼ばれるほど、水質汚濁が進行した時期がありましたが、陸域からのCOD(化学的酸素要求量)、窒素、リンの汚濁負荷量が大幅に削減され水質が改善されてきました。

その反面、魚介類の再生産の場として重要な藻場・干潟の減少による漁場環境の悪化や栄養塩不足等により、養殖ノリの色落ちの発生や漁獲量の減少など、新たな課題が生じています。

このため、漁業生産の安定を目指し、漁場整備事業により、魚介類の産卵親魚の保護や稚魚の育成を図る増殖場の造成を行っています。また、水産資源の持続的利用を実現するため、漁業者と協働して資源管理・資源回復への取組を進めています。

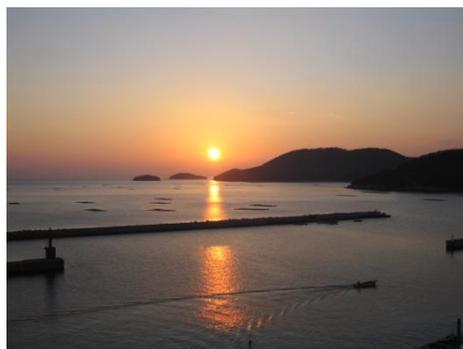
○海底耕耘とため池の池干し

漁業者による底質環境を改善するための海底耕耘や、東播磨や淡路地域は、農業者と漁業者の連携による、ため池の維持保全と栄養塩濃度の高い池の水を海域に供給するための池干し(かいぼり)にも取組んでいます。

○瀬戸内海の環境保全と再生

平成 27 年に改正された瀬戸内海環境保全特別措置法に基づき、大阪湾、播磨灘及び紀伊水道の内兵庫県の区域について、「瀬戸内海の環境の保全に関する兵庫県計画」を平成 28 年 10 月に新たに策定しました。

また、平成 29 年 2 月に本県計画に基づき県が実施する各種事業に目標値を盛り込んだ「実施計画」を策定し、播磨灘等環境保全協議会等で意見を聴きながら、施策を着実かつ効果的に進めています。



瀬戸内海(室津)の夕日

瀬戸内海再生の取組

瀬戸内海の環境保全を図るため、昭和 46 年に兵庫県をはじめ関係 11 府県 3 政令指定都市の知事・市長により「瀬戸内海環境保全知事・市長会議」が設立されました。同会議では「瀬戸内海環境保全憲章」を採択するとともに、瀬戸内海の再生を目指して、広域的な相互協力のもとに広域総合水質調査などの各種施策を推進してきました。(平成 30 年 11 月末現在 13 府県、7 政令指定都市、18 中核市で構成)

平成 16 年度からは、瀬戸内海を再生するための新たな法整備に向けた取組を行っており、平成 19 年には「瀬戸内海再生大署名活動」を展開するとともに、新たな法律に盛り込むべき内容をまとめた「瀬戸内海再生方策」を策定しました。

平成 25 年 9 月には、瀬戸内海環境保全特別措置法制定 40 年を迎え、豊で美しい瀬戸内海を次世代に継承するため、「瀬戸内海里海宣言」を行いました。

そして、平成 27 年 10 月には瀬戸内海を豊かで美しい里海として再生するため、瀬戸内海環境保全特別措置法が改正されました。

瀬戸内海再生の取組の海外への発信

世界の閉鎖性海域の環境保全・再生を進めるため設立された公益財団法人国際エメックスセンターと連携して、エメックス会議を通じ、かつて「瀕死の海」とまで呼ばれた瀬戸内海の環境保全に向けた取組及びその成果を海外に発信しています。

○海岸域保全

新しい海浜地や海辺のプロムナード整備など海に親しむ憩いの空間の創出、人工海浜・人工磯の再生等の生態系の保全のほか、砂浜のある海岸づくりによる海岸域保全等の対策も進めています。

一般に、瀬戸内海では多様な魚貝類が漁獲されており、比較的生物多様性が高い海域といえますが、漁業生産量は昭和 60 年頃をピークにその後、減少傾向に転じています。漁業者から、以前に見られた魚が近年には見られなくなってきたとの声が聞かれる一方で、熱帯性の魚介類が漁獲される頻度も高まっており、栄養塩不足等による漁場環境の悪化や温暖化による海水温の上昇など海洋環境の変化による生物多様性への影響が示唆されます。

日本海側は、大半が自然海岸で構成されており、急峻な磯場の間に砂浜が点在しています。著しい汚染源もなく水質も極めて良好であり、貴重な自然が守られ生物多様性が維持されていると考えられます。しかし、近年は大型クラゲの大量発生やこれまで日本海で分布・回遊の少なかったサワラの漁獲量の急増など、瀬戸内海と同様に海水温の上昇など海洋環境の変化が生物多様性に影響を及ぼしていることが示唆されています。

海域では、水産資源の持続的利用を図りつつ、生物多様性の保全を進めることが重要です。このためには、基本となる科学的データの収集、分析が不可欠です。県立水産技術センター等では、海洋環境調査や生物調査を継続的に実施しており、現状の把握及び分析と課題解決のための予測などを実施しています。得られた情報は漁業者をはじめ一般県民への普及啓発を行い、豊かな海を保全するために必要な活動に役立てています。

生活排水対策の展開

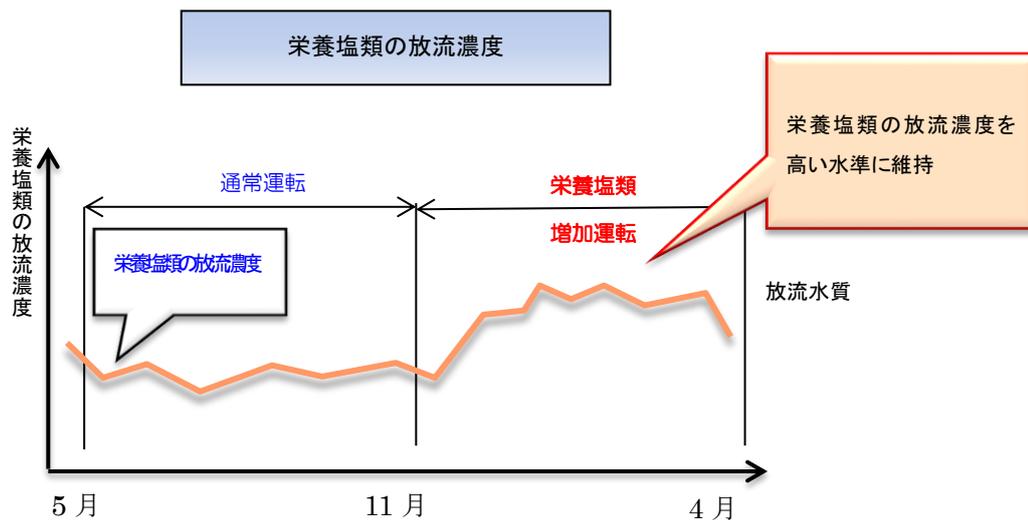
生活排水に含まれる汚濁物質は、自然の浄化能力を超えて河川や海に流入すると水質汚濁につながり、生物がすめない環境になります。このため、生活排水対策として「生活排水 99%大作戦」(H3～16)を展開した結果、平成 16 年度末の生活排水処理率は全県で 96.1%に達し、5 割以上の市町で 99%を超えました。平成 17 年度からは、整備の遅れている市町に対する支援及びコミュニティ・プラント基幹改修事業に対する支援を行う「生活排水 99%フォローアップ作戦」を展開した結果、平成 29 年度末の生活排水処理率は全県で 98.8%に達しています。

下水処理場における栄養塩管理運転の取組

播磨灘では栄養塩(※)不足等の要因と考えられるノリの色落ち問題が顕在化していたことから、平成21年1月、兵庫県漁業協同組合連合会からの要望を受け、平成21年2月から加古川下流浄化センターなどで、ノリの養殖期の冬季に栄養塩である窒素排出量を増加させる運転(季節別の栄養塩類管理運転)の試行に取り組んできました。

平成30年9月に播磨灘流域別下水道整備総合計画(播磨灘流総)を策定し、季節別の処理水質を位置付けたことから、加古川下流浄化センター、明石市二見浄化センター、洲本市五色浄化センターの3処理場で平成30年度より本運用を開始しました。また、その他、21処理場で季節別運転の試行を位置づけており、新たに揖保川浄化センターで試行を開始しました。

※栄養塩：窒素、リン、ケイ素など海中に溶け込んだ生物の栄養となる物質の総称



ウ 市町の取組

○動植物の保全

明石市では海岸沿いに位置するサイクリングロード脇の護岸に看板を設置し、サイクリングロードの利用者にウミガメが上陸しているところや、上陸跡と思われる足跡を発見した場合、市役所に情報提供してもらえるように呼びかけています。ウミガメの上陸情報が入ると、足跡をたよりに産卵巣を探し、卵が野犬や野鳥などに襲われたり、盗まれたりすることを防ぐために、周囲をフェンスで囲います。子ガメが砂の中から脱出する時期が近づくと、フェンスの下部分を外し、子ガメが自力で海へと旅立てるようにします。

また、海岸に隣接する市の施設は、夜間照明を消灯し、ウミガメが上陸・産卵しやすいようにしています。

○海岸・沿岸海域調査

明石市では海岸・沿岸海域調査を実施しています。「さかなのまち」明石では、責任ある漁場管理と持続的漁業の両立のため、資源を育む環境・生態系の保全と漁場の管理を行っています。その一環として、小型魚類や稚魚などのすみかとなる魚礁を設置し、その機能が有効に機能しているか、調査を行っています。

エ NPO等の取組

○植物の保全

「海のいのちクラブ」では姫路市白浜海岸で、アマモ場を保全・再生するため、子どもたちとアマモ種子の採取、種まきと育成、苗の海への移植などの活動や、子どもたちと地元の自然を見つめ直すため、磯の観察会や海藻調査を実施しています。

○水辺環境の保全

「浜・川・山の自然たんけん隊」では県による「御前浜（西宮市）プロジェクト」に参加していた地域住民が中心となり団体を設立しました。毎月第1土曜日に、浜辺クリーンアップと海浜植物・野鳥・貝・カニなどの海辺の生きもの観察を実施し、貴重な海浜植物を保全するため、植物観察会や外来植物除去を行うとともに、啓発資料を作成し浜辺の生物多様性の情報発信しています。また、自然体験プログラムとあわせて防災学習を実施しています。

オ 企業の取組

○藻場造成試験の実施

神戸市内で鉄鋼製造工程で副産物として生成する鉄鋼スラグを用いた鋼製藻場魚礁を設置し、藻場造成試験を行っています。

藻類などの付着生物やい集魚類の種類・個体数を観察するなど、鉄鋼スラグを用いた藻場魚礁による海洋環境の修復効果を確認しています。

⑥横断的・広域での取組

ア 国の取組

○「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト

森・里・川・海の恵みを将来にわたって享受し、安全で豊かな国づくりを行うため、環境省と有識者からなる「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトを立ち上げ、2015年度に全国約50か所で開催したリレーフォーラムでの参加者の意見等を踏まえ、2016年9月に「森里川海をつなぎ、支えていくために(提言)」を公表しています。

イ 県の取組

○ひょうご花緑創造プラン

「ひょうご花緑創造プラン(平成28年改訂版)」では、「花緑の『育み』、『恵み』による『ゆたかな暮らし』の実現」を目指して推進施策の展開を進めることとしており、その中で、森林や里山整備の推進、生物多様性の保全活動の推進など、花と緑のもつ環境保全効果を活かした施策を掲げ、取組を進めています。

「緑の総量確保推進計画(平成3～12年)」「さわやかみどり創造プラン(平成13～18年)」から続く「ひょうご花緑創造プラン(平成19年～)」では、参画と協働でつくる花と緑あふれる多様な県土を実現するため、森林や都市部などの緑が持っている生物多様性を確保する機能、さらには地球レベルでの環境保全、県民の参画と協働による地域づくりなどの取組を進めています。

○あわじ菜の花エコプロジェクト

淡路島では、持続可能な資源循環型社会を実践し、環境立島を実現するため、淡路県民局や島内3市と地域住民・活動団体等の参画と協働により、淡路島全域で「あわじ菜の花エコプロジェクト」に取り組んでいます。平成14年度に、「あわじ菜の花エコプロジェクト推進会議」を設立し、洲本市(旧五色町)、淡路市(旧東浦町)をモデル地区として、廃食用油の回収をはじめ、BDF精製装置を導入し、BDFとして再利用する取組を始動させました。その後、廃食用油の回収は、島内3市全域に広がっています。

平成20年度には、洲本市に搾油施設が導入され、菜の花栽培から廃食用油のBDF再利用までの菜の花プロジェクトの資源のサイクルが、島内で実現できるようになっています。

ウ 市町の取組

○外来生物対策

神戸市と明石市では、平成 28 年度から連携してアカミミガメ対策を実施していますが、この取組をより強力に推進するために、平成 29 年 4 月 1 日に両市及び関係団体で「明石・神戸アカミミガメ対策協議会」を設立しました。協議会では、国の交付金と両市からの負担金で、両市域をまたぐ河川等でアカミミガメ等の水生の外来生物の防除活動や、市民への啓発活動等の事業を一体的に実施しています。

エ NPO等の取組

○環境教育活動の実施

「海と空の約束プロジェクト」では子ども達や様々な世代の人々に、判りやすい環境教育を行うため環境絵本「海と空の約束」を出版し、環境学習の機会や教材を提供する活動を展開しています。日本の子ども達の施設や海外の施設に寄贈する活動を実施しています。兵庫県立大学のサークル等と協働し、絵本を紙芝居化して判りやすくし、生物多様性保全等に関する環境教育活動等に取組んでいます。

○水辺空間の保全・創造

「リバークリーン・エコ炭銀行」では竹炭をつかった水質浄化活動を実施しており、加古川流域が連携した交流事業に取り組むことにより、流域が一体となって水質浄化に取り組む気運を盛りあげ、東播磨の美しい水辺空間を保全・創造しています。竹を提供してくれる人に炭にして還元するシステムにより、銀行という形で運用しています。竹を提供する人、炭をつくる人がそれぞれできる範囲で川に関わるつなぎ役をしています。

オ 企業の取組

○寄付金による支援

売り上げの一部を「生物多様性ひょうご基金」に寄付し、県内で行われている生物多様性の保全・再生活動の中から公募により選定したモデルとなる代表的な活動に支援しています。

(2) 各地域での特色ある取組

ここでは各地域での主な取組の一部を紹介します。

地域	取組内容
神戸	<p>瀬戸内海国立公園六甲地区で唯一の広大な草原が広がる東お多福山にて、戦後の管理放棄により生物多様性が失われつつあるスキ草原を復元するための刈り取り活動と草原の環境学習プログラムを実施しています。</p>
阪神南	<p>尼崎 21 世紀の森づくりでは、市民、企業、各種団体、学識者、行政からなる「尼崎 21 世紀の森づくり協議会」を設置し、森づくりの方向性や方策などの協議を進め、あらゆる主体の参画・協働によってまちの緑化など、森づくりを実施しています。</p>
阪神北	<p>都会近くに残された北摂地域の里山一帯を「北摂里山博物館(地域まるごとミュージアム)」として整備し、地域の活性化に向け、県・市町・民間の協働により様々な事業を展開しています。</p>
東播磨	<p>東播磨地域には、県下最大の加古大池、県下最古といわれている天満大池、絶滅が心配される生き物が暮らすため池やそれを結ぶ水路及び歴史的な建物など、個性豊かな農業用施設がたくさんあります。これら貴重な水辺空間をよりすばらしい姿で次の世代に引き継いでいくため、地域住民の参画と協働のもと、ため池を核とした地域づくりをめざしています。</p>
北播磨	<p>人の手が入らず、雑木林の状況であった「あびき湿原」は、地元ボランティアの手による熱心な保全活動により、広大な湿地が甦り、希少で多様な動植物が生息する兵庫県下最大級の湿原に生まれ変わりました。さらに、これらの動植物を保護するため、鳥獣等の侵入防止柵を設置したほか、加西市では「加西市野生生物保護地区」及び「加西市指定文化財(天然記念物)」に指定しました。</p>

中播磨

近年、西日本有数の砥峰高原のススキ草原が衰退しているため、試験区を設置して衰退原因を調査するとともに、草原内への立入規制、生育の支障となる雑木の伐採、ススキの株移植などを行い、ススキ草原の保全・再生を図っています。

西播磨

マイクロチップ読み取り機による個体識別を行い、オオサンショウウオの生態調査を定期的実施し、棲息できる水環境を研究するとともに千種川水系の水質や自然環境を守るための実践的な活動を実施しています。また、住民対象の観察会の開催等保全を進めるための啓発活動を行っています。

但馬

ハチ高原とその周辺の草原で、絶滅が危惧されるウスイロヒョウモンモドキの個体数を回復させるために保護活動や生態の調査研究を進めています。多様な生物がすむススキ草原を維持するために、定期的な草刈りやチョウの食草であるオミナエシの植栽なども進めています。

丹波

県内では丹波地域にのみ生息が確認されているホトケドジョウを保全するため、フィールド調査や生息地の造成、保全、普及啓発活動を行うとともに、絶滅を防ぐための適地への移植や増殖活動を実施し、また、小学生の川での環境学習のサポートを行うなど地域の貴重な環境の保全意識の醸成を図っています。

淡路

淡路島では多様な植物の生育を脅かす“ナルトサワギク”が島内で繁殖し、分布が拡大していることから、繁殖・分布拡大を防ぎ、昔からの多様な動植物が生育する豊かな淡路島の自然環境を守るため、駆除活動、啓発冊子の作成等を実施しています。

(3) 行政、大学・研究機関との連携による取組

①環境DNAを利用した生物調査

(公財)ひょうご環境創造協会では神戸大学と共同研究のもと、川や池の水を採取しそこに生息する生物の種類や概数を把握できる「環境DNA調査」に着手しています。絶滅が危惧される生物数の変化などを、生物を捕獲したりせずに確認できます。また神戸市でも神戸大学と協力して、全国の自治体に先駆けて市内の生物多様性の保全への活用を進めています。

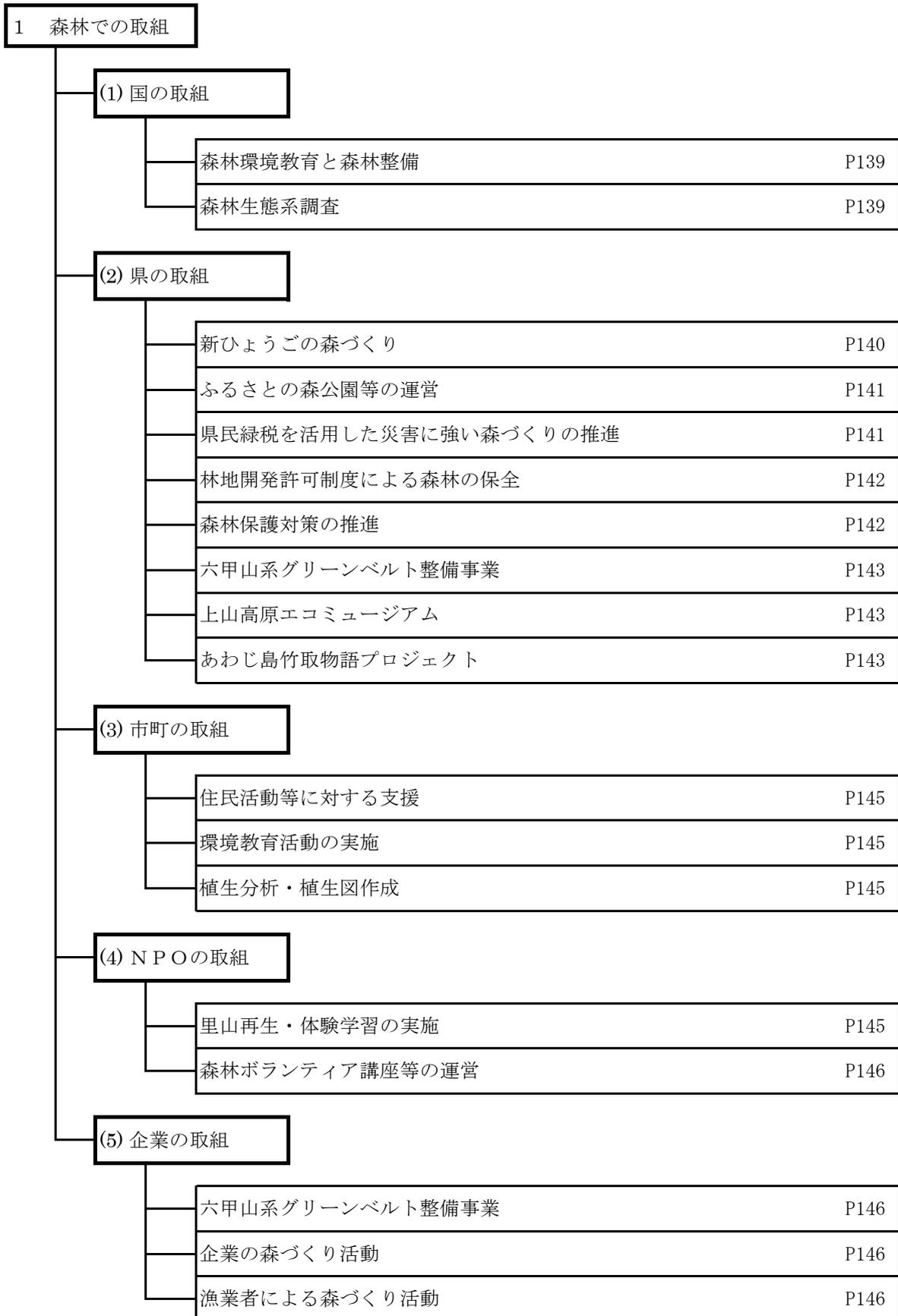
②野生鳥獣対策の推進

兵庫県では、兵庫県立大学自然・環境科学研究所研究員が兼務した「森林動物研究センター」を中心に野生動物の生息地管理、個体数管理、被害管理を科学的、計画的に行う『野生鳥獣の保護管理(ワイルドライフ・マネジメント)』を推進しています。ワイルドライフ・マネジメントとは科学的な調査・研究に基づき、「生息地管理」、「個体数管理」、「被害管理」を状況に応じて組み合わせ、「人」と「野生動物」と「自然環境(生息地)」の関係を適切に調整することにより、共存を図る手法をいいます。

③協力協定による活動の実施

生物多様性保全活動の支援拠点として、希少種や外来生物等の調査・研究をはじめとする様々な活動に取り組んでいる人と自然の博物館では、中長期的な展望や継続的な事業の実施を見据えた取組を積極的に実施しています。この一環として、加東市(平成21年～)や伊丹市教育委員会(平成25年～)等と協力協定を締結し、各種の連携事業を進めています。加東市との連携事業では、「まちまるごとミュージアム」として、加東市内の会場で展示会を開催し、昆虫の標本やトリケラトプスの頭骨レプリカ、キベリハムシの拡大模型、魚竜の化石などを展示することで、生物多様性に関する普及啓発を行いました。

各フィールドでの取組



各フィールドでの取組

2 田園地域・里地里山での取組

(1) 国の取組

取組事例の情報発信	P146
文化的景観保護推進事業	P146

(2) 県の取組

農業農村の整備	P147
ため池保全	P147
北摂里山博物館構想	P148
ほ場整備	P148
コウノトリの野生復帰	P148

(3) 市町の取組

ため池清掃活動	P149
ビオトープの整備	P149
都市近郊里地里山の整備	P150

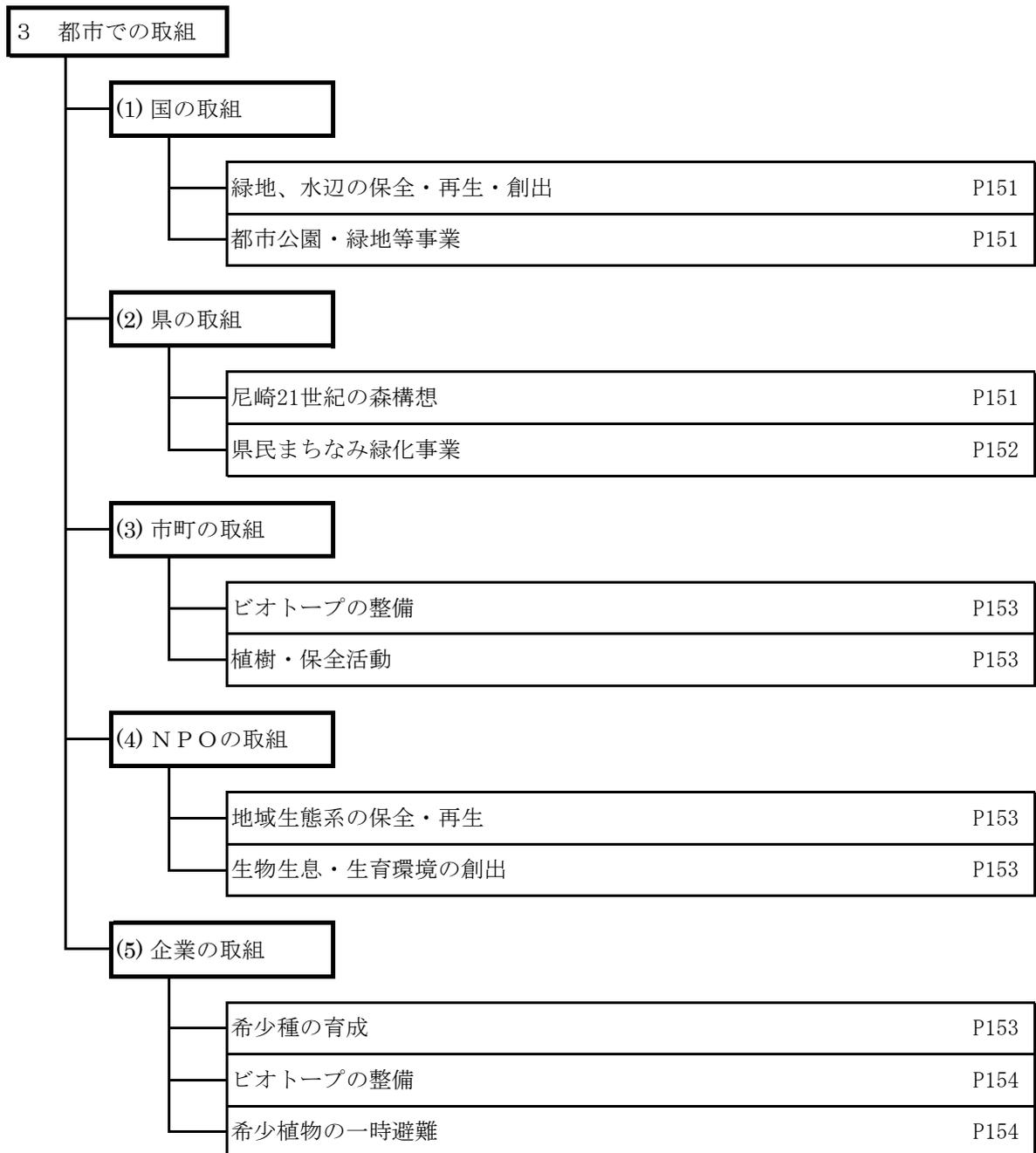
(4) NPOの取組

地域生態系の保全・再生	P150
希少種の保全	P150

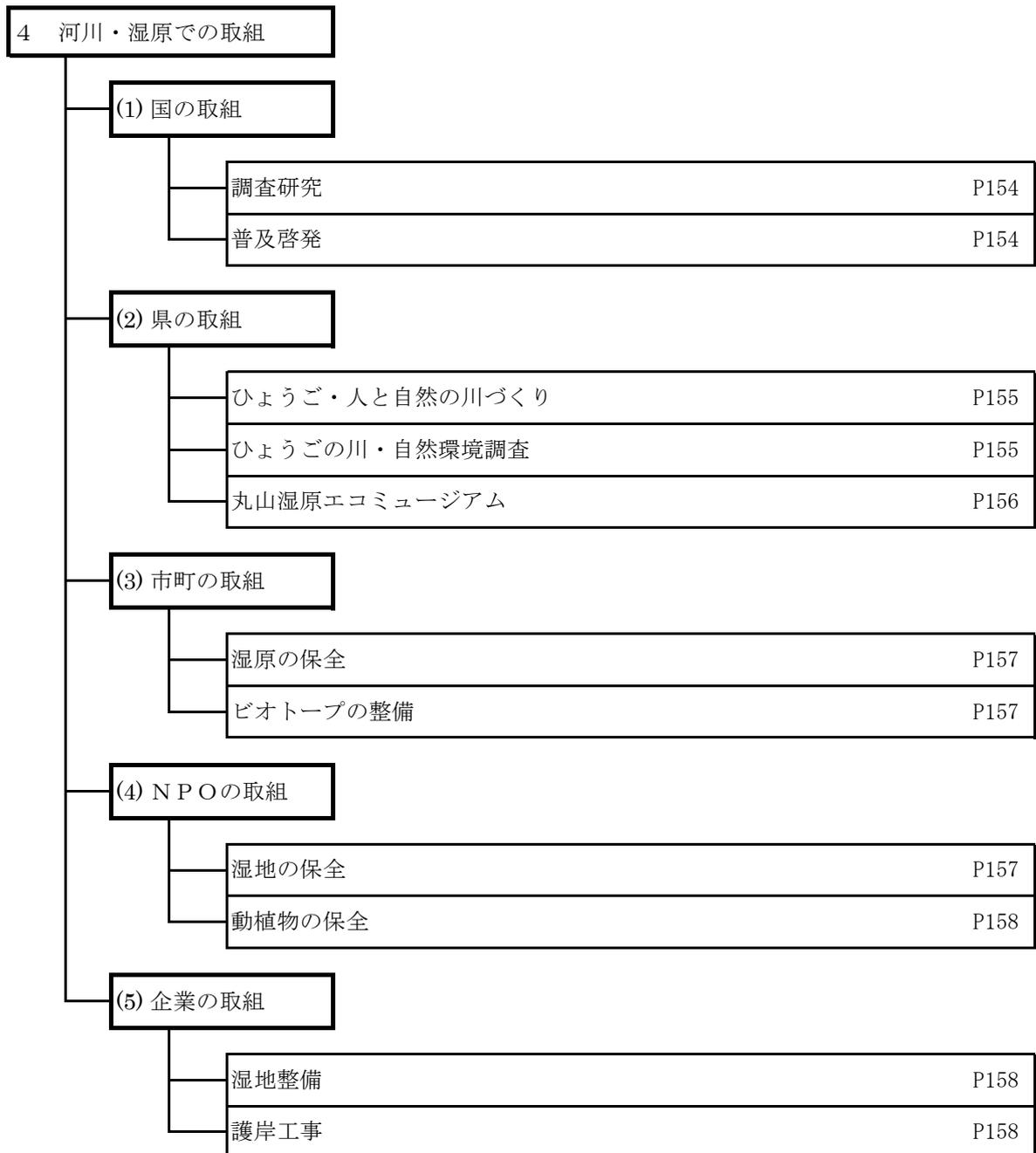
(5) 企業の取組

里山保全プロジェクトの実施	P150
森林整備と環境学習	P151

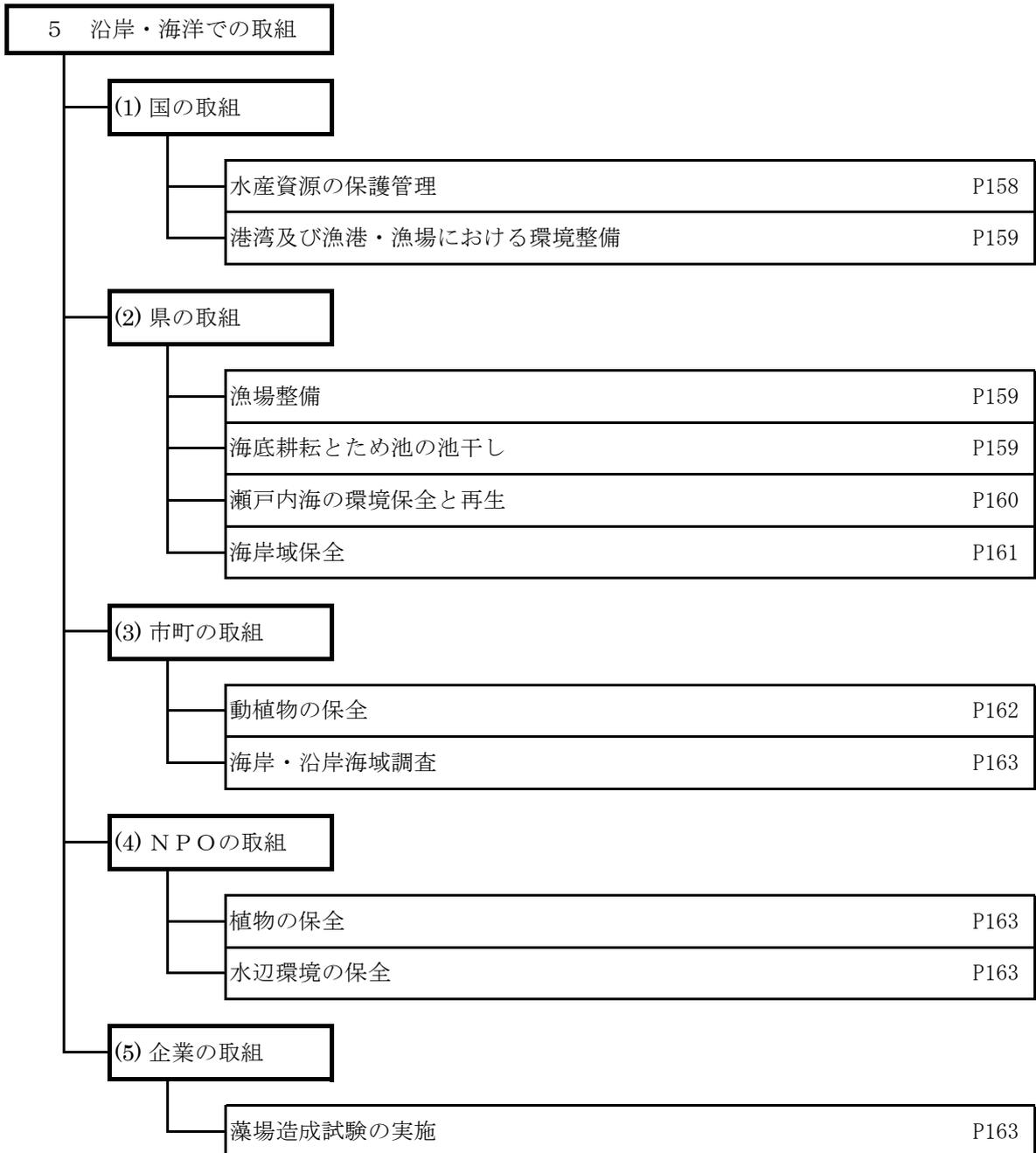
各フィールドでの取組



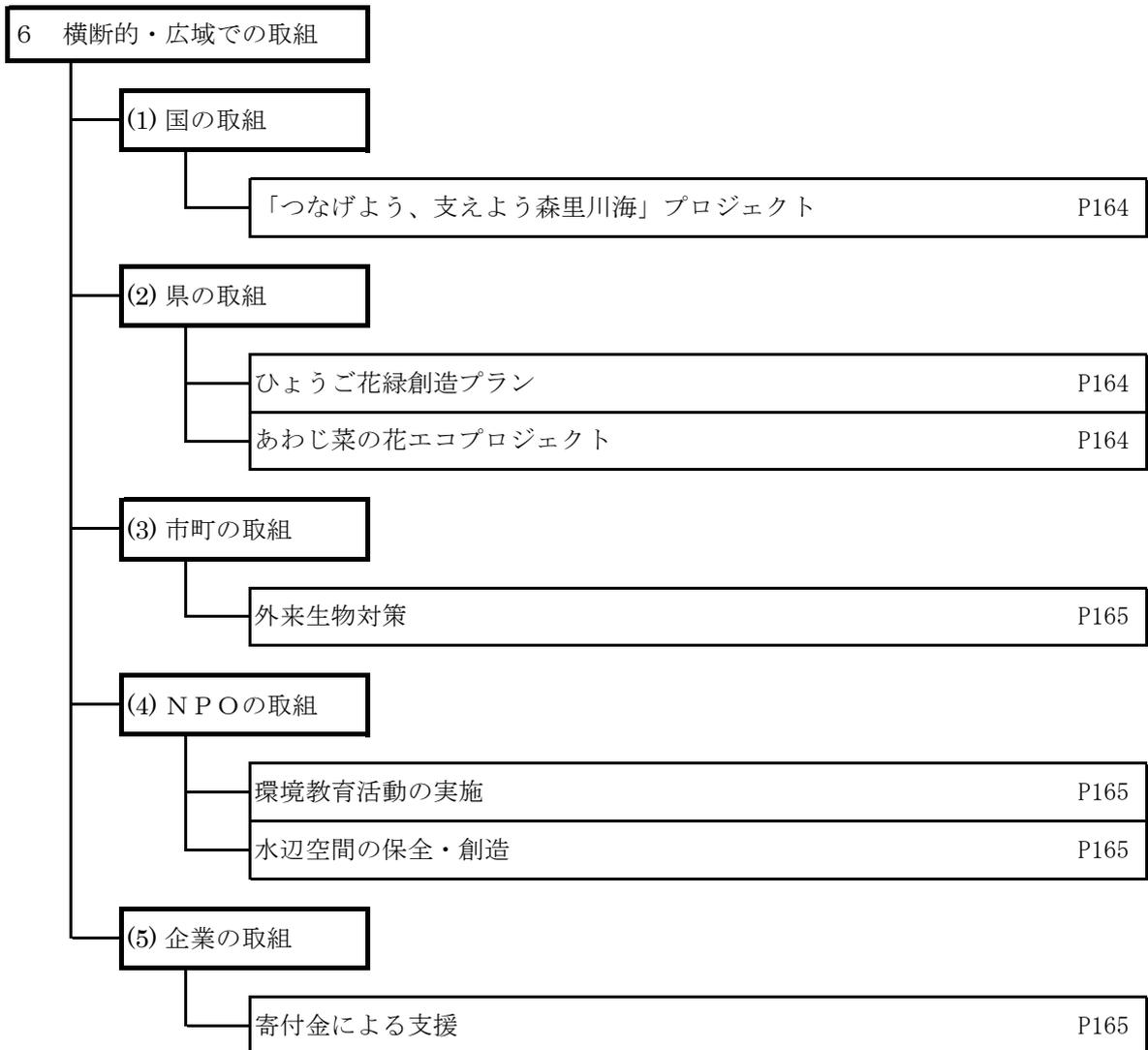
各フィールドでの取組



各フィールドでの取組



各フィールドでの取組



資料編 2

2 人材育成の推進

(1) 環境学習や環境教育の実施

① ライフステージに応じた環境学習・教育の推進

本県では、環境学習・教育の基本的方向を具体化し、兵庫ならではの特色ある施策を総合的かつ計画的に推進する運営指針として、平成18年3月に「兵庫県環境学習環境教育基本方針」（方針期間：平成18年度～27年度）を策定し、本県の豊かな自然・風土を生かし、ライフステージに応じた環境学習・教育を進めてきました。

平成28年3月には、この間の社会経済情勢や環境問題の変化を踏まえ、平成28年度以降の環境学習・教育施策の指針とする「新兵庫県環境学習環境教育基本方針」を策定しました。

ア 乳幼児期の環境学習・教育の推進

乳幼児期では、季節ごとの様々な動植物とのふれあいや作物の栽培など、自然体験を通じて豊かな感性を育み、いのちの大切さを学ぶ「ひょうごっこグリーンガーデン」事業を展開しています。乳幼児期の体験型環境学習・教育の全県展開を図るとともに、モデル園における取組に加えて実践発表会等の実施により成果の共有を図っています。

また、幼稚園教諭・保育士等を対象とした参加体験型の研修である「環境学習実践研修」では、指導者自らが自然を体験するとともに、参画と協働による生物多様性の保全を意識つけた体験型の研修を実施し、幼稚園・保育所・認定こども園（以下「幼稚園・保育所等」という。）での環境学習・教育の担い手を育成しています。さらに、幼稚園・保育所等を対象として実施した体験型の環境学習・教育をまとめた体験プログラム事例集、実践事例集や環境紙芝居を作成し、幼稚園・保育所等への普及啓発に取り組んでいます。

甲山森林公園を子育て支援型公園へ

県立甲山森林公園(西宮市)では、「阪神間に残された貴重な自然環境」を活かし、「乳幼児」が安心して自然と触れあい、遊べる空間づくり(「子育て支援型公園」)を進めている。

(1) パークセンターのリニューアル

老朽化したパークセンターの建替に合わせて、以下の機能を付加。

多目的ルーム	ハイハイする赤ちゃんの遊び場、親同士の交流スペース
授乳室	母親と乳児が安心して、授乳やおむつ替えができる空間を確保
正面広場(芝生広場)	ハイハイする赤ちゃんが安心して遊べる芝生広場。小規模な起伏により”かくれんぼ”や“すべり台”として遊べるよう工夫

(2) 子育て支援プログラムの展開

子育て世代のニーズに応えるため、屋内あそびと屋外あそび(自然あそび)を通じた子育て支援プログラムを展開。



イ 学齢期の環境学習・教育の推進

学齢期では、地域の身近な環境や地域の環境問題を題材に、各教科や総合的な学習の時間等、学校の教育活動全体を通じて環境学習・教育を行う「ひょうごグリーンスクール」事業を展開しています。

(ア) 小学生

全公立小学校3年生を対象とした「環境体験事業」では、「ひょうごグリーンサポーター」や地域の人々の協力を得ながら自然観察や栽培・飼育など、自然に触れ合う体験型環境学習を通じ、命の営みやつながり、命の大切さを学ぶとともに、子どもたちのふるさと意識を育んでいます。

また、全公立小学校5年生を対象とした「自然学校推進事業」では、

学習の場を教室から自然の中に移し、豊かな感性や社会性などを育む活動に取り組むことを通して、心身ともに調和のとれた児童の育成を図っています。

また、県内に146団結成されている「緑の少年団」が、地域での森林学習や森づくり活動を実施しているほか、ボランティアの協力を得て、全県的な交流会や活動発表会に参加しています。

(イ) 中学生

全公立中学校2年生を対象とした「トライやる・ウィーク」では、環境関連分野における社会体験活動なども行っています。

(ウ) 高校生

県立高等学校を対象とした「高校生ふるさと貢献活動事業～トライやる・ワーク～」では、環境保全活動へ参画する活動などを実施しています。

また、公立特別支援学校を対象とした「特別支援学校交流・体験チャレンジ事業」で自然体験活動などに取り組んでいます。

このほか、「環境教育実践発表大会」を実施し、先進校の実践事例発表や講演を通して、環境教育推進の成果や課題等の情報交換を行うほか、特色ある優れた実践校をグリーンスクールとして表彰し、活動内容等の普及を図っています。

グリーンスクール表彰(H16～)

平成16年度より、環境教育の一層の振興を図るため、環境保全活動など実践的環境教育を積極的に推進する活動で特色ある優れた実践を行っている学校をグリーンスクールとして表彰しています。

(主な選考基準)

- ①地域の環境保全に影響を与えていること
- ②地域等(PTA、地域住民、企業、NPO、環境教育関連施設等)と連携がとれていること
- ③国際的な広がりを持った活動となっていること

(実践事例)

- ・地域の保存会や研究機関と連携し、草刈りや木道づくり、湿原に生息する絶滅危惧種や希少種の観察、植生の調査等の保全に関する取組。
- ・学校やPTA、家庭、地域団体が一体となり、野鳥マップや野鳥図鑑等の作成や明石海苔や明石だこなどを題材にした環境学習、PTA主催の自然観察会など、学校全体で行う系統立てた取組。

ウ 成人期の環境学習・教育の推進

成人期では、大学生や社会人、シニア世代が、地域の資源を十分に生かし、自らも学びつつ、乳幼児、児童生徒への環境学習・教育の支援を通じて、次世代に環境やいのちの大切さなどを伝える「ひょうごグリーンサポートクラブ」事業を展開しています。

各県民局・県民センターでは、地域の環境学習・教育事業を支える「ひょうごグリーンサポーター」を募集・登録しており、全公立小学校での「環境体験事業」や幼稚園・保育所等における環境学習・教育への支援等に対応しています。

また、様々な環境保全・創造活動の担い手が一同に会し、活動発表や意見交換を行う「ひょうご環境担い手サミット」を開催し、担い手同士の連携や協働取組を促進しています。

②地域の特徴を生かした取組の推進

本県は、瀬戸内海沿岸の都市部や森・川・里・海の豊かな自然など、多様な環境を有しており、地域ごとに自然的、歴史的な特徴を生かした取組が県民・行政が一体となって行われています。例えば、六甲山や尼崎21世紀の森など都市に近接している自然をフィールドとした取組、ため池や水辺空間を活用した取組や生活空間の美化に関する取組などが展開されています。

③地域団体・NPO・企業等の取組

県内で環境保全・創造に取り組む地域団体・NPO等は、平成24年度末の413団体から、平成29年度末で469団体(内閣府HP)と着実に増加しており、リサイクルの推進、身近な生活環境の美化、地域の自然環境の保全など、幅広い活動が展開されています。

企業では、ISO14001、エコアクション21(*)等の環境マネジメントシステム(*)の取得など、自主的な環境管理が浸透しています。また、環境報告書の作成・公開など、環境保全・創造の取組の情報開示が進展しています。さらに、工場見学や環境出前講座の開催、森林保全活動への協力など、企業と地域が結びついた活動が広がっています。

④環境学習・教育をリードする人材の育成・登録・派遣

地域で専門知識・経験等を有し、環境学習・教育を実施できる企画・運営能力を持った環境学習・教育の指導者等の育成を図っています。特に、地域リーダー、教員、企業従事者等向けに研修を実施するとともに、環境学習・教育ボランティアや、学校・地域等を支援するコーディネーター、ファシリテーター等の人材育成やグリーンサポーター等の支援者の育成・派遣を推進しています。

また、人材育成プログラムの修了者等の有効活用を図るために、人材登録制度を運営し、講師・指導者から、ボランティア、協力者まで、多彩な環境学習・教育を支える多様な人材の結集・ネットワーク化を図っています。なお、登録制度の運営にあたっては、専門的な知識や豊富な経験を有する人材の発掘、登録に努めています。

さらに、環境学習・教育を実施しようとする団体・組織等に対し、登録者の中から適切な人材を斡旋・派遣し、環境学習・教育の内容の充実に貢献するとともに、登録者に実践の機会提供を図っています。

(2) 専門的人材の育成

①県立森林大学校の設置

「県立森林大学校」は、課題に対して、自ら考えて、安全かつ効率的に現場作業が実施できる森林林業の即戦力となる人材の養成、幅広い視野で将来を見通すとともに、状況の変化等に対し、柔軟かつ計画的に判断と行動ができる森林林業の次代のリーダーとなる人材の養成、地域社会の一員としての自覚を持ち、地域振興や課題の解決に貢献できる多自然地域に居住し、地域貢献する人材の養成を目指す、全国でも類を見ない専修学校です。

②捕獲指導員の設置

地域が一丸となったシカ、イノシシ等の被害対策を進めるため、集落ぐるみの捕獲活動を技術的に支援しています。事業対象となる集落に対して行う現地指導を実践する役割を担い、現地を巡回し状況を確認し、防護策の整備や集落のわな管理者等に対して技術支援を行っています。

また、指導業務を円滑かつ効果的に遂行できるよう、捕獲指導員への技術的サポートを森林動物研究センターが行っています。

(3) 講座・発表会等の開催

①森林ボランティア講座の開催

森林の恵みや大切さを学び、森林を守り育てるための知識と技術を身につけ、活動を実践する人を育成する「森林ボランティア講座入門編」を開催するとともに、森林ボランティア活動を正しく、安全に、楽しく、かつ継続して推進するリーダーを養成する「リーダー養成編」を開催しています。

②北摂里山大学の開催

北摂の里山地域一帯をフィールドに、歴史・文化、里山管理、生物多様性、環境学習などをテーマに多彩なプログラムを展開しています。里山の魅力、関わり方を学び、発見しながら、森林ボランティアや環境保全活動など新たな活動に取り組める人材を育成しています。

開催時期：5月から翌年2月開催 全11回 原則、土・日・祝

開催時間：終日(カリキュラムによって変動)

定員：25名

受講料：18,000円(税込)

開催場所：北摂の里山、県立人と自然の博物館など

③ひょうご環境担い手サミットの開催

将来世代に”豊かで美しい環境”を引き継ぐため、小学生から80代までの約300名が集まり「2050年環境未来予想図」を描き、学生やNPO、企業、個人など多様なスタイルで環境保全・創造活動に取り組んでいる担い手が口頭発表やポスター発表、ワークショップ体験、環境を考える「ランチ」、意見交換をおこなっています。

平成30年度 ひょうご環境担い手サミット 発表校

No.	学校名	発表タイトル
1	兵庫県立香住高等学校 海洋科学科 アクアコース	日本海漁業資源調査～ヒレグロの秘密にせまる～
2	兵庫県立香寺高等学校 課題研究グループ&自然科学部	ため池の生物調査と地域との交流
3	兵庫県立篠山東雲高等学校 自然科学部	水路に落ちたカエルを救え！！
4	洲本市立青雲中学校	ナルトサワギク駆除ボランティア活動
5	兵庫県立御影高等学校環境科学部生物班	六甲山のキノコの多様性を出現傾向から探る
6	兵庫県立豊岡総合高等学校	口頭:豊岡総合高校インターアクトクラブ活動報告 ポスター:おむ君の長い旅
7	三田市立上野台中学校	「虹プロジェクト」～旅するチョウ アサギマダラを上野台に
8	兵庫県立姫路工業高等学校	口頭:ホタルの飛び交う地域をめざして ポスター:ホタルを通じた地域交流プロジェクト
9	兵庫県立神戸商業高等学校 理科研究部	瀬戸内海に流入する海外製ペットボトルについての研究
10	兵庫県立浜坂高等学校	命を紡ぐ～岸田川魚類調査
11	兵庫県立神出学園	山・川・海のつながり、そして、持続可能なライフスタイルへ
12	兵庫県立村岡高等学校	森の健康診断と木の駅プロジェクト
13	兵庫県立西宮今津高等学校	アマモ水槽栽培実験
14	兵庫県立兵庫工業高等学校	兵庫運河における浄化と環境問題の取り組み
15	兵庫県立北条高等学校	あびき湿原の生態と保全
16	兵庫県立有馬高等学校 人と自然科	田んぼから農業を考える

④共生のひろばの開催

人と自然の博物館の地域研究員や連携活動グループをはじめ、様々な立場の人が地域の自然や環境、地域づくり等の研究発表をする場です。世代を越え立場を越えて、相互に情報交換や交流を行うことで活動の輪をひろげることや、新たな活動のヒントを得る場となることを目的としています。毎年、2月11日(祝)に開催され、約300名の発表者による70を越える発表があります。小学生、時には幼児から大学生・大学院生、そしてシニアの方までの参加があります。

3 前戦略の行動計画 取組状況と評価

前戦略行動計画の取組状況と評価

1 すべての事業で生物多様性の視点を持つことができる仕組みの確立(6項目)

項目	内容	数値目標等(目標年次)	取組状況等(年度)	評価	愛知目標
生物多様性地域戦略の策定の推進	・各市町での生物多様性地域戦略の策定 ・公園、小・中学校域等の地域のエリアレベルでの戦略の策定	・30市町(H29) ・県内20箇所(H29)	・11市町(H29) ・41箇所(H29)	地域での策定は目標を大きく上回っている。市町での策定は目標には届かないものの、全国比較では東京都(特別区含む)の12市区町村に次ぐ2位である(H28.12現在)。	○目標1 人々が生物多様性の価値と行動を認識する
生物多様性配慮指針の作成	・道路、河川、海岸等の指針作成 ・森林、農用地、ため池等の指針作成 ・指針の更新(事例の追加、修正等を毎年実施)	・生物多様性配慮指針の更新(事例の追加、修正等を毎年実施)	・指針作成(H21~22) ・指針更新(H24~) ・162事例(H29)	順次事例を更新し、公共工事やNPO等の自然再生活動において生物多様性の視点を持つことが出来る仕組みの基盤を構築している。	○目標2 生物多様性の価値が国と地方の計画などに組み込まれる ○目標5 森林を含む自然生息地の損失、劣化・分断が顕著に減少する
新たなレッドデータブックの策定	・生態系、植物、昆虫類、鳥類、魚類、ほ乳類等の分類ごとに順次策定 ・策定済みデータの更新(ランクの見直しや追加、修正、削除等を毎年実施)	・15分類の新たなレッドデータブックの策定(H28) ・データの追加、修正(毎年実施)	・貝類等(H25) ・哺乳類、爬虫類、両生類、魚類、クモ類(H26~28) ・植物等(H29~31)	市町の天然記念物指定などの重要データとして扱われるなど、生物多様性の保全につなげた。	○目標9 侵略的外来種が制御され、根絶される ○目標12 絶滅危惧種の絶滅・減少が防止される
レッドリストの計画的な更新	・レッドリストの作成・更新(H22~)、見直しに必要な情報等の収集のための人材育成、特定の貴重種の保全や外来種の駆除等の活動をしている団体(「見守り隊」)等のネットワークの構築	・見守り隊の登録数 15団体(H29)	・リスト更新(H22~) ・貴重種 28団体(H29) ・外来種 9団体(H29)	見守り隊の登録数は目標を大幅に上回っており、レッドリストも毎年分類ごとに更新している。	○目標14 自然の恵みが提供され、回復・保全される ○目標15 劣化した生態系の少なくとも15%以上の回復を通じ、気候変動の緩和と適応に貢献する
外来生物対策の推進	・レッドデータブックの策定に合わせて、ブラックリスト、外来生物防除マニュアルを作成 ・既存リスト等の更新(追加、修正、削除等を毎年実施)(H22~) ・「見守り隊」の活動等による情報収集の実施	・ブラックリスト、外来生物防除マニュアルの作成 ・リストの追加、修正(毎年実施)	・ブラックリスト・マニュアル等作成(H21~) ・アライガ防除指針作成(H22~) ・リスト更新(H22~)	県内の外来生物の生息・生育状況等を整理、リスト化して駆除等の必要性を啓発した。また、公共工事等の植栽時に配慮されるようになった。	
生物多様性アドバイザーの設置と仕組みの確立	・体制・運用手法等の検討 ・生物多様性アドバイザーの運用	・アドバイザーの登録人数 50人(H29)	・アドバイザー登録人数 37人(H29)	目標数に達していないが、公共工事のみならず、企業や植樹などの自然保護活動を行うNPO等の団体にも活用され、生物多様性保全への適切な指導に繋がっている。	

2 参画と協働による生物多様性保全活動の推進（5項目）

項目	内容	数値目標等(目標年次)	取組状況等(年度)	評価	愛知目標
NPO等との連携と協働	<ul style="list-style-type: none"> ・資金や会員を確保するための活動発表会の開催 ・NPO相互が交流や情報交換できる場の提供によるネットワーク化の促進 ・地域住民や県民、企業等との連携と協働を図れる機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性ネットワークに参画するNPO等の数 150団体(H29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動発表会の開催(H23～) ・ネットワーク参画団体数 110団体(H29) ・活動発表会の開催(H23～) 	<p>団体間の交流、情報交換や活動報告の場を提供し、ネットワークが広がることにより、活動の促進や活動のレベルアップに取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目標1 人々が生物多様性の価値と行動を認識する ○目標4 全ての関係者が持続可能な生産・消費のための計画を実施する
NPO等、企業への活動支援の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の貴重種、外来種を対象に活動している団体（「見守り隊」）の登録(再掲) ・団体、企業等の活動の様子を情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊の登録数 15団体(H29)【再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重種 28団体(H29) ・外来種 9団体(H29) (再掲) 	<p>見守り隊の登録数は目標を大幅に上回っている。 また、活動発表会の開催やHPを通じて活動の様子を情報発信している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目標5 森林を含む自然生息地の損失、劣化・分断が顕著に減少する ○目標9 侵略的外来種が制御され、根絶される
生物多様性の重要性に関する県民等への普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・自然再生・保全の取組推進 ・県民の参画を促すNPO等の活動情報の発信(H22～) ・保全活動の象徴となるシンボルプロジェクトの実施(H21～) ・生物多様性指導者の養成(H21～) ・エコツーリズムやグリーンツーリズムの推進 ・グリーンスクール事業等を通じた環境学習の推進(H21～) ・環境学習の中に生物多様性への興味や理解を促進 ・地域団体の環境学習会や企業の社員研修等へのNPO等リーダーの派遣(H22～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村ボランティア数 14,600人(H32) ・ため池保全活動の参加者数/年 10,000人(H32) ・シンボルプロジェクト(57)への支援、ネットワーク強化 ・指導者養成数 300人(H29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村ボランティア数 16,608人(H29) ・ため池保全活動の参加者数 12,652人(H29) ・ひょうごの生物多様性保全プロジェクト数76プロジェクト(H29) ・指導者養成数 395人(H29) 	<p>数値目標は各指標とも目標を大幅に上回っており、ひょうごの生物多様性プロジェクトも着実に認定数(H25:57→H29:76団体)を伸ばしている。NPOや企業等の生物多様性に関する活動情報の発信、生物多様性保全プロジェクトの認定や環境学習など様々な場を通じて、生物多様性の活動を県民等へ普及啓発を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目標12 絶滅危惧種の絶滅・減少が防止される ○目標19 生物多様性に関連する知識・科学技術が改善される
企業のCSR活動等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と土地所有者・活動指導者を結ぶコーディネート機能の充実(H21～) ・企業の生物多様性に関する事業活動の情報発信(H22～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性支援拠点によるコーディネート件数 50件(H29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性支援拠点によるコーディネート件数 43件(H29) 	<p>目標には届かないものの、認定プロジェクトを広く情報発信し、県民や企業の生物多様性活動への参画を促している。また、認定プロジェクトへの資金・資材等の支援、社員の活動参加による協働等を行う企業等を常時募集している。</p>	
企業活動促進のためのPRの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が協力して貴重種避難を行う仕組みづくり ・生物多様性に関わる業種以外の企業の活動の活発化 ・中小企業におけるCSR活動の浸透 	<ul style="list-style-type: none"> ・保全協定の制度化 		<p>保全協定の制度化までは至っていないが、敷地内での工事に際しての保全対策などの指導・助言をアドバイザー制度を活用して行っている。</p>	

3 人の営みと生物多様性の調和の推進（4項目）

項目	内容	数値目標等(目標年次)	取組状況等(年度)	評価	愛知目標
<p>生物多様性に配慮した農林水産業の振興と企業活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農薬や肥料の適正利用など環境創造型農業の推進 ・ 集落ぐるみの営農活動の支援 ・ 食育を通じた生物多様性への理解促進 ・ 広葉樹林や複層林の育成、県産木材の利用促進 ・ 魚礁の設置や藻場の造成等 ・ 事業活動による生物多様性へ影響評価を行う企業の取組の促進(H21～) ・ 「生物多様性の保全」への貢献を新たな視点の追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境創造型農業の実施面積 37,000ha (H32) ・ 地域ぐるみで農村環境保全活動を実施する面積（農地・水保全管理支払交付金制度取組面積） 48,650ha (H32) ・ 里山林の再生 25,400ha (H32) ・ 県内藻場面積 2,120ha (H32) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境創造型農業実施面積 28,191ha (H29) ・ 地域ぐるみ農村環境保全活動実施面積 50,866ha (H29) ・ 里山林整備面積 25,813 ha (H29) ・ 県内藻場面積 2,073ha (H29) 	<p>数値目標は着実に達成に近づいており、各分野において生物多様性を保全できる良好な生産環境を維持した生物多様性に配慮した農林水産業の取組みが浸透してきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目標4 全ての関係者が持続可能な生産・消費のための計画を実施する ○目標5 森林を含む自然生息地の損失、劣化・分断が顕著に減少する ○目標6 水産資源が持続的に漁獲される ○目標7 農業・林業が持続可能に管理される
<p>野生動物の適正捕獲・保護管理の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林動物研究センターの成果を活かした人と野生動物の共生の促進 ・ 科学的で計画的な野生動物の保護管理(ワイルドライフ・マネジメント)の推進 ・ 野生動物の適正捕獲の推進 ・ 外来生物の捕獲の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シカの目撃効率 1.0以下 (H28) ・ シカの捕獲頭数 35,000頭/年(当面) ・ アライグマ・ヌートリア捕獲頭数 7,000頭/年(当面) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シカの目撃効率 本州1.4 (H28)、淡路1.3 (H28) ・ シカの捕獲頭数 37,676頭 (H29) ・ アライグマ・ヌートリア捕獲頭数 5,685頭 (H29) 	<p>シカ・イノシシの捕獲拡大により、農業被害は全体的に減少傾向にあるが、被害が増加している地域がある。</p> <p>平成29年3月に策定した「兵庫県第12次鳥獣保護管理事業計画」等に基づき市町と連携のもと、森林動物研究センターの研究成果を活かした「個体数管理」「被害管理」「生息地管理」を総合的・計画的に推進している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目標8 汚染が有害でない水準まで抑制される ○目標13 作物・家畜の遺伝子の多様性が維持され、損失が最少化される ○目標15 劣化した生態系の少なくとも15%以上の回復を通じ、気候変動の緩和と適応に貢献する
<p>防災機能と生物多様性との調和の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林や河川等における防災事業と生物多様性が調和する技術開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に強い森づくり整備面積 27,900ha (H27)第2期 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に強い森づくり整備面積 31,290ha (H29) 	<p>数値目標に対して実績は上回っており、森林の防災機能と生物多様性の調和を推進している。</p>	
<p>地球温暖化への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化による動植物への影響把握 ・ 影響を受けやすい生物種の情報提供による保全活動への活用 			<p>レッドデータブックを定期的に更新し公表することにより、様々な活動主体の取組みの基礎となっている。</p>	

4 行動計画を支える基盤整備（4項目）

項目	内容	取組状況等(年度)	評価	愛知目標
生物多様性支援拠点の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方法の検討、拠点の立ち上げ ・県民の相談窓口、生物多様性に関する情報収集・提供 ・生物多様性支援拠点施設（人と自然の博物館）：生物多様性に関するセミナーの開催、常設展示・企画展示、自然環境情報の提供等 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性支援拠点施設（人と自然の博物館）位置付け(H21) ・ひょうごの生物多様性ひろばHPの開設・運営(H21～) 	<p>情報の収集・整理・活用を推進するとともに、生物多様性に配慮する施策やNPO活動の基礎となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目標1 人々が生物多様性の価値と行動を認識する ○目標8 汚染が有害でない水準まで抑制される ○目標10 サンゴ礁等気候変動や海洋酸性化に影響を受ける脆弱な生態系への悪影響を最小化する
行動計画を支える基盤の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな生物多様性にかかる情報発信を通じた生物多様性の浸透 ・兵庫県内の生物多様性情報を提供するため、HPを開設、随時情報の更新実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうごの生物多様性ひろばHPの開設・運営(H21～)【再掲】 	<p>生物多様性の保全とその持続可能な利用の推進の基礎となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目標11 陸域の17%、海域の10%が保護地などにより保全される ○目標12 絶滅危惧種の絶滅・減少が防止される
生物多様性保全のための予防的措置の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅のおそれのある種や遺伝子の保存 ・条例等に基づく生物多様性重点対策種の指定 ・計画段階の早い時期からの環境影響評価の実施 ・貴重種避難の際、工場敷地内での受入促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジーンバンク事業の実施(H4～) ・環境影響評価配慮書手続の導入(H25～) ・敷地内での工事に際しての保全対策などの指導・助言をアドバイザー制度を活用して実施。 	<p>ジーンバンク事業において、人と自然の博物館と協働で取組みを実施した大阪ガス都市開発会社が地域性種苗などを用いた生物多様性の取組みについてグッドデザイン賞を受賞するなど、取組が推進されてきている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目標19 生物多様性に関連する知識・科学技術が改善される
生物多様性に係る重要地域保全のための国際的な仕組みの活用による地域振興の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・生物圏保存地域の指定や世界ジオパークの登録支援 ・重要地域保全等の国際的な仕組みを活用し、重要地域がエコツーリズム等につながる取組となるよう支援し、生物多様性の取組の地域振興との結びつけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・山陰海岸世界ジオパーク認定(H22)、日本ジオパーク委員会において2年間の条件付再認定(H29) ・円山川下流域・周辺水田ラムサール条約湿地登録(H24)、ラムサール条約の締約会議で対象エリアがこれまでのほぼ倍に拡張(H30.10) 	<p>ラムサール条約湿地登録によりコウノトリの生息域が拡大し、地域活性化にも繋がっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目標19 生物多様性に関連する知識・科学技術が改善される

資料編 2

1 用語解説

	用語	解説
あ	ISO14001	1996年9月に国際標準化機構(ISO)によって制定された「環境マネジメントに関する国際規格」。 環境マネジメントシステムの仕様(スペック)を定めた規格であり、ISO規格に沿った環境マネジメントシステムを構築する際に守らなければいけない事項が盛り込まれている。
あ	ICT	Information and Communications Technologyの略で、情報や通信に関する技術の総称。
あ	アマモ	海底の砂泥地に生育する種子植物の一種。ショウブのような緑色で細長い葉をもつ多年生草本。雌雄同株で、小さな花(雄花と雌花)を咲かせて種子をつくる。日本各地の沿岸に分布し、アマモや同属のコアマモは遠浅の砂泥海底に「アマモ場」と呼ばれる群落を形成する。アマモ場は魚類の産卵場所、幼稚魚や小型動物の生息場所となり、海水を浄化する場所としても重要である。
う	上山高原エコミュージアム	エコミュージアムとは、地域全体を1つの博物館に見立て、そのなかの自然及び文化遺産などをそのまま保存・展示し、それらを生き物や自然の植生などとのふれあい、地域の自然や文化を学ぶことができる体験施設や地域活性化の場として活用しようという概念である。イヌワシなど貴重な野生生物が生息する新温泉町上山高原とその周辺地において、豊かな自然環境の保全や自然と共生した地域の暮らしを学び実践する「自然環境保全・利用のモデル拠点」づくりを進めるため、NPO法人上山高原エコミュージアムを中心に、幅広い県民の参画と協働により、スキ草原やブナ林復元等の自然保全活動、地域資源を生かした多彩な交流・実践プログラムを実施している。
え	エコアクション21	中小事業者等の幅広い事業者に対して、自主的に「環境への関わりに気づき、目標を持ち、行動することができる」簡易な方法を提供する目的で、平成8年に環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム。 一般に、「PDCAサイクル」と呼ばれるパフォーマンスを継続的に改善する手法を基礎として、中小事業者にとっても取り組みやすい環境経営システムのあり方を規定している。
え	エコツーリズム	観光旅行者が、自然観光資源について知識を有する者から案内又は助言を受け、当該自然観光資源の保護に配慮しつつ当該自然観光資源と触れ合い、これに関する知識及び理解を深めるための活動をいう。(エコツーリズム推進法第2条第2項に規定)
え	エコトーン	陸域と水域の境界となる水際のように異なる環境が連続している場所(=移行帯)。
え	NGO・NPO	NGOは「Non-Governmental Organization」の略で、「非政府組織」と訳し、NPOは「Non-Profit Organization」の略で、「非営利組織」と訳される。どちらも営利よりも社会的使命を優先して活動する組織である。NGOは国連で使われ始めた用語で、日本では特に国際的に活動する民間非営利組織というイメージが強く、地域でまちづくりなどの活動をしている民間非営利組織は一般的にNPOといわれることが多い。
お	オゾン層	酸素の原子が3個結合した気体の分子がオゾンであり、成層圏でオゾン層とよばれる層を形成している。これがあることにより地球上の生物は太陽の紫外線から保護されている。フロンガスなどによるオゾン層の破壊が問題となり、様々な国際的な取り組みがもたれている。
か	外来生物	海外から我が国に導入されることによりその本来の生息地又は生育地の外に存することとなる生物をいう。(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律第2条第1項に規定)
か	環境DNA技術	水中に存在するDNA断片を分析することにより、川や池などに生息する生物種を効率的に把握することができる技術で、生物を実際に捕獲することなく判別が可能。

	用語	解説
か	環境と開発のための国際連合会議（地球サミット）	平成4年、国際連合の主催により、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された、環境と開発をテーマとする首脳レベルでの国際会議のこと。一般には地球サミット(the Earth Summit、国連地球サミット)と通称されることが多い。この会議で、持続可能な開発に向けた地球規模での新たなパートナーシップの構築に向けた「環境と開発に関するリオデジャネイロ宣言(リオ宣言)」やこの宣言の諸原則を実施するための「アジェンダ21」そして「森林原則声明」が合意された。また、別途協議が続けられていた「気候変動枠組み条約」と「生物多様性条約」への署名が開始された。
か	環境の保全と創造に関する条例	県民・事業者・行政など社会の構成員すべての参画と協働により、自然と共生し持続的発展が可能な環境適合型社会の形成をめざして、環境政策の基本理念や施策の方向を明らかにするとともに、新たな実効ある施策を盛り込んだ条例。平成7年7月制定。
か	環境マネジメントシステム	組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくための工場や事業所内の体制・手続き等の仕組み。環境マネジメントシステムには、環境省が策定した「エコアクション21」や、国際規格の「ISO14001」があるほか、地方自治体、NPOや中間法人等が策定した環境マネジメントシステムがあり、県内では、神戸環境マネジメントシステム(KEMS)や宝塚環境マネジメントシステム(TEMS)がある。
か	間伐	育成している林木の一部を伐採(間引き)し、残存木の成長を促すこと。間伐は風害や雪害に強い林木の育成に不可欠であるほか、材質や生育の悪い林木を除く、光を入れて林床の植生を維持するといった役割ももっている。
き	企業の森づくり	環境保全など社会貢献に関心の高い企業や団体に、県内の豊かな自然環境を活用してもらいながら地域の方々と森林保全に参画いただく制度。
き	気候変動に関する政府間パネル(IPCC : Intergovernmental Panel on Climate Change)	人為起源による気候変化、影響、適応及び緩和方策に関し、科学的、技術的、社会経済学的な見地から包括的な評価を行うことを目的として、1988(昭和63)年に世界気象機関(WMO)と国連環境計画(UNEP)により設立された組織。
く	グリーンインフラ	グリーンインフラは、自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方で、米国で発案された社会資本整備手法であり、昨今、海外を中心に取組が進められ、我が国でもその概念が導入されつつある。グリーンインフラの定義は様々な議論があるが、国土交通省が平成29年3月に公表した資料では、「社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能(生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等)を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるもの。」とし、自然環境への配慮を行いつつ、自然環境に巧みに関与、デザインすることで、自然環境が有する機能を引き出し、地域課題に対応することを目的とした社会資本整備や土地利用は、概ね、グリーンインフラの趣旨に合致すると整理されている。
く	グリーンツーリズム	緑豊かな農山漁村地域において、その自然、文化、人々との交流と楽しむ滞在型の余暇活動のこと。海外では一般的にアグリツーリズムと呼ぶ。
け	県立人と自然の博物館	平成4年、「人と自然の共生」をテーマに開館した県立の自然史系博物館。三田市にあり、100万点を超える収蔵資料をもち、「兵庫の自然誌」「地球・生命と大地」などの6つのテーマにわけた常設展示のほか、動植物や化石、鉱物などの標本を手にとり観察したり、専門書から絵本まで様々な蔵書で調べ物をしたり、映像ライブラリーで生き物の姿を学んだりすることのできる「ひとくサロン」がある。普及教育だけでなく、ジーンバンク事業などの生物多様性に関する調査・研究や、その保全や活用を实践する官公庁・市民グループに対して様々な助言をするシンクタンク事業も活発に行っている。
こ	コウノトリ育む農法	おいしい農作物と多様な生き物を育み、コウノトリも住める豊かな文化、地域、環境づくりを目指すための農法。

	用語	解説
さ	里地・里山	原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草原などで構成される地域。
さ	参画と協働	自分たちの地域を住みやすくするため、ともに知恵やアイデアを出しあって、みんなのことはみんなで決めて、力を合わせて、さまざまな地域づくりに取り組んでいくこと。兵庫県では、平成15年4月1日に「県民の参画と協働の推進に関する条例」を施行し、成熟社会にふさわしい、「参画と協働」による「美しい兵庫づくり」に取り組んでいる。条例では、「参画と協働」には、①「県民と県民のパートナーシップ(地域社会の共同利益の実現への参画と協働)」と②「県民と県行政のパートナーシップ(県行政の推進への参画と協働)」という2つの場面があり、これらの場面が相互に連携しながら展開することが重要であるとしている。
し	GIS (地理情報システム)	Geographic Information Systemの略で、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ(空間データ)を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。
し	CSR	Corporate Social Responsibilityの略で、「企業の社会的責任」と訳される。企業は社会的な存在であり、自社の利益、経済合理性を追求するだけでなく、ステークホルダー(利害関係者)全体の利益を考えて行動するべきであるとの考え方。
し	ジーンバンク	遺伝資源となる野生種や品種、またその系統などを収集・保存するための機関および施設のこと。遺伝子銀行の意。
し	ジオパーク	世界ジオパークは、いわば地質版の世界遺産で、日本ジオパーク委が推薦し、世界ジオパークネットワーク(事務局パリ)が認定、登録するもので、ユネスコによる支援を受ける。特に重要な地質遺産を複数含む自然公園で、考古学的・生態学的もしくは文化的な価値のあるサイトも含む。ジオパークの活動には、(1)ジオツーリズムなどによる持続可能な社会・経済発展への貢献、(2)博物館などの中核施設の存在、(3)地質遺産の保護体制、(4)ジオパーク・ネットワークでの情報交換とその活性化、などが必要とされる。2018年4月現在、世界で140か所が認定されている。日本では2018年の段階で「洞爺湖有珠山」「糸魚川」「山陰海岸」「室戸」「島原半島」「隠岐」「阿蘇」「アポイ岳」「伊豆半島」の9か所が世界ジオパークネットワークに加盟認定されている(平成31年1月末現在)。
し	持続可能な開発目標 (SDGs)	SDGs=Sustainable Development Goalsの略。2015(平成27)年9月、ニューヨーク国連本部において、193の加盟国の全会一致で採択された国際目標。気候変動や格差などの幅広い課題の解決を目指し、先進国も途上国もすべての国が関わって解決していく目標で、17のゴール(目標)と169のターゲット(達成基準)で構成されている。
し	新ひょうごの森づくり	“森林は県民共通の財産である”との理解のもと、県民の参画と協働のもとに、森の回復と再生を推進するためのプランで、平成14年度から10か年で「新ひょうごの森づくり」第1期対策を進めてきたが、現在第2期対策(平成24年度から10年)に移行している。
す	スマートシティ	ITや環境技術などの先端技術を駆使して街全体の電力の有効利用を図ることで、省資源化を徹底した環境配慮型都市。再生可能エネルギーの効率的な利用を可能にするスマートグリッドや、電気自動車充電システム整備に基づく交通システム、蓄電池や省エネ家電などによる都市システムを総合的に組み合わせた街づくりが検討されている。国内では、経済産業省のモデル事業として4地(横浜市、豊田市、けいはんな学研都市(京都府)、北九州市)で2010年からの2014年までの5年計画で社会実験が行われた。
せ	生物圏保存地域 (バイオスフェアリザーブ)	「生物圏保存地域」は、国連機関UNESCOが環境問題を解決するのに必要な科学的基盤を発展させるための研究、管理、教育のために始めたプロジェクト”MAB(Man and the Biosphere Programme = 人間と生物圏計画)”の研究フィールドとして指定された自然地域のこと。生物圏保存地域では、「自然地域とその地域に存する遺伝物質の保護」に関する研究が進められており、原生的な核心部の「コアエリア」と人間活動響を受けるような「バッファゾーン」を設定して、比較研究することとなっている。日本では、志賀高原、白山、大台ヶ原・大峯山・大杉谷、屋久島・口永良部島、綾、只見、南アルプス、祖母・傾、大崩及びみなかみの9箇所が「生物圏保存地域」に指定されている。

	用語	解説
せ	生物多様性	自然生態系を構成する動物、植物、微生物など地球上の豊かな生物種の多様性とその遺伝子の多様性、そして地域ごとの様々な生態系の多様性をも意味する包括的な概念。遺伝子、種、生態系の3つのレベルでとらえられることが多い。
せ	生物多様性基本法	わが国初の、生物多様性の保全を目的とした基本法として平成20年6月に施行された。生物多様性のもたらす恵沢を次の世代に引き継いでいくため、事業計画の立案段階で事業者が環境アセスメントを実施するよう国に必要な措置を求めるなど、生物多様性の保全施策に関する規定を整備。また、政府による生物多様性国家基本計画の策定や、地方自治体による計画策定なども定めている。
せ	生物多様性国家戦略 2012-2020	生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第6条及び生物多様性基本法第11条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画。平成7年に最初の生物多様性国家戦略が策定され、平成14年、平成19年、平成22年に見直しが行われてきた。 その後、愛知県名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)では、生物多様性に関する世界目標となる愛知目標が採択され、各国はその達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略に反映することが求められた。また、東日本大震災の発生や人口減少の進展をはじめとした昨今の社会状況を踏まえ、今後の自然共生社会のあり方を示すことが必要となり「生物多様性国家戦略2012-2020」が策定された。
せ	生物多様性条約	(1)生物多様性の保全、(2)生物多様性の構成要素の持続可能な利用、(3)遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分を目的とする国際条約で、1992年5月に採択された。日本は1992年6月13日に署名、1993年5月28日に締結した。2008年10月現在、日本を含む190か国とECが加盟している。本条約の締約国会議(通称:COP)は、1992年の採択以降2012年までに2年に1度のペース(ただし第1回から3回までは毎年)で11回実施されており、加盟国が一堂に会して生物多様性の保全と持続可能な利用に関して様々な議論が行われ、各種の国際的な枠組みを策定し多くの指針や原則などが決議されている。
せ	生物多様性条約第10回 締約国会議 (COP10)	生物多様性条約締約国会議とは、生物多様性条約の加盟国が一堂に会して生物多様性の保全と持続可能な利用に関する様々な課題について議論し各種の国際的な枠組みを策定する定期的な会議のことで、COP(Conference of the Partiesの略)と呼ばれることが多い。 第10回会議(COP10)は、2010年に愛知県・名古屋市で開催され、2010年は、国連の定めた「国際生物多様性年」のほか、COP6(2002年、オランダ・ハーグ)で採択された「締約国は現在の生物多様性の損失速度を2010年までに顕著に減少させる」という「2010年目標」が達成されなかったため、「愛知目標」が採択された。
せ	生物多様性地域連携促進法(地域における多様な主体の連携による生物の多様性の保全のための活動の促進等に関する法律)	様々な立場の人々が互いに連携し、生物多様性の保全のための活動(地域連携保全活動)を促進することにより、それぞれに地域における生物多様性の保全を図ることを目的として、平成23年10月1日に施行された法律。 国による地域連携保全活動に関する基本方針の作成や市町村等による活動計画の作成、計画に基づく活動に適用される特例措置のほか、加藤同計画の作成や実施のための協議・調整を行うための協議会や関係者間の連携・協力の斡旋等を行う支援センターの設置などが定められている。
せ	生物多様性の観点から重要度の高い湿地(重要湿地)	平成13年度に環境省が選定した「日本の重要湿地500」の選定から10年以上が経過し、環境の変化が生じている湿地が存在していることや新たな知見の得られた湿地が存在することから、平成26年度に生物多様性保全や自然再生等の観点から有識者の意見などを踏まえて見直されたもの。
せ	生物多様性保全上重要な里地里山(重要里地里山500)	さまざまな命を育む豊かな里地里山を、次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置づけ、全国500箇所を環境省が選定したもの。

	用語	解説
せ	生物多様性民間参画ガイドライン	生物多様性の保全と持続可能な利用を進めていく上で、企業活動が重要な役割を担っているという認識の下、環境省が2009年に策定した基礎的な情報や考え方などを取りまとめた、事業者向けのガイドライン。 その後、ISO14001の改訂やESG投資の拡大など、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する事業者への期待の高まりを受け、2017年12月に「生物多様性民間参画ガイドライン(第2版)」が取りまとめられた。
せ	絶滅危惧種	地域の急速な環境変化、移入生物、乱獲などの原因により、個体数を減らし絶滅が危惧されている動植物の種のこと。
せ	瀬戸内海環境保全特別措置法	美しさを誇る景勝地、貴重な漁業資源の宝庫としての特殊性に鑑み、昭和48年に制定された瀬戸内海環境保全臨時措置法に赤潮等による被害に対する富栄養化対策を含む新たな施策を加え、恒久法として昭和53年に改正された法律。平成27年10月には37年ぶりに大幅改正され、改正法では、生物の多様性及び生産性が確保されるなど、瀬戸内海の有する価値や機能が最大限に発揮された「豊かな海」とする考え方が明確にされている。
ち	鳥獣保護管理事業計画	鳥獣保護管理法第4条の規定に基づき、知事が地域特性を考慮して定める野生鳥獣保護管理の基本的な方針であり、県、市町、狩猟者、県民が合意形成を図りながら、「個体数管理」「被害管理」「生息地管理」の3つの要素からなる科学的で計画的な野生動物の保護管理を県民の参画と協働のもとに進めていく計画。
ち	地球温暖化	「人の活動に伴って発生する温室効果ガスが大気中の温室効果ガスの濃度を増加させることにより地球全体として、地表及び大気の温度が追加的に上昇する現象」をいう。(地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第1項)
に	人間と生物圏計画	国連機関UNESCOが環境問題を解決するのに必要な科学的基盤を発展させるための研究、管理、教育のために始めたプロジェクトで、“MAB(Man and the Biosphere Programme)”と略称されることが多い。「よりよい人間の生存のための、よりよい生物圏の維持」を目的としている。日本では日本ユネスコ国内委員会に設けられたMAB国内委員会(事務局:文部科学省)によってこの計画の推進のための基本方針が作られている。
は	バイオマス	再生可能な生物由来の有機性資源のうち、化石資源を除いたもの。太陽のエネルギーを使って、生物が合成したものであり、ライフサイクルの中で、生命と太陽エネルギーがある限り持続的に再生可能な資源。理論的には燃焼させても大気中の二酸化炭素(CO2)を増加させない「カーボンニュートラル」という性質をもつ。
は	バッファゾーン	野生動物による農作物被害が深刻で、住民の取組意欲が高い地域の森林を対象に、人と野生動物の棲み分けを図る緩衝帯。森林の山裾を20～30mの幅で樹木を伐採し、見通しを良くすることで、野生動物の警戒心の向上を図り、被害抑制効果の向上が期待できる。
ひ	ヒートアイランド現象	都市部の気温が郊外に比べて島状に高くなる現象をいう。都市化による地表面被覆の人工化(建物やアスファルト舗装面などの増加)とそれに伴う緑地や水面の減少、また都市のエネルギー消費に伴う人工排熱(建物空調や自動車の走行、工場の生産活動などに伴う排熱)の増加などにより、地表面の熱収支が変化したことが原因である。特に夜間においてその傾向が顕著に見られる。
ひ	兵庫県環境基本計画	環境の保全と創造に関する施策を総合的・計画的に推進するため、その目指す方向と長期的な目標を示すとともに、基本的な施策の方向を明らかにする計画。平成8年6月策定、平成14年5月、平成20年12月及び平成26年3月に改定。
ひ	兵庫県森林動物研究センター	兵庫県では、「人」と「野生動物」、「森林などの自然環境」の豊かな共存を目指し、科学的・計画的な野生動物の保護管理(ワイルドライフ・マネージメント)に取り組んでおり、このために必要な科学的知見と情報を提供する研究拠点として、平成19年4月24日に丹波市青垣町において開所した施設。

	用語	解説
ひ	兵庫県版レッドデータブック	兵庫県は、1995(平成7)年に他県にさきがけて、県内の希少動植物等の現況を示した「兵庫の貴重な自然—兵庫県版レッドデータブック—」を公表した。野生動植物に加えて、植物群落、地形、地質、自然景観を加えているのが特徴である。その8年後の2003(平成15)年3月には「改訂・兵庫の貴重な自然—兵庫県版レッドデータブック—2003」として改訂をし、平成21年度からは動植物の種ごとに計画的に順次作成・改訂を実施。
ひ	兵庫2030年の展望	本格的な人口減少社会の到来による少子高齢化の進行、人工知能などの革新技術の進歩等、時代の転換期の中で兵庫の未来を確かなものとするため、2030年のめざす姿や新たな兵庫づくりの基本方針等を内容とする展望。平成30年10月策定。
ひ	兵庫ビオトープ・プラン	ビオトープの保全・創出を目指し、行政をはじめ事業者や県民が、各種事業や日々の暮らしの中で取り組むためのプランで、平成7年に策定。全県版、地域版がある。
ほ	ほ場整備	労働生産性の向上を目的とした農村環境や農地基盤の整備のこと。具体的には、耕地区画、用排水路、道路、土地利用などの整備を含む。
ま	マイクロプラスチック	微細なプラスチックごみ(5mm以下)のこと。含有・吸着する化学物質が食物連鎖に取り込まれ、生態系に及ぼす影響が懸念されている。
も	木質バイオマス	「バイオマス」とは、生物資源(bio)の量(mass)を表す言葉であり、「再生可能な、生物由来の有機性資源(化石燃料は除く)」のことを呼びます。そのなかで、木材からなるバイオマスのことを「木質バイオマス」と呼びます。
み	ミレニアム生態系評価	国際連合の提唱によって2001年～2005年に行われた地球規模の生態系に関する環境アセスメント。生態系・生態系サービスの変化が人間生活に与える影響を評価するため、それらの現状と動向・未来シナリオ作成・対策選択肢の展望について分析を行っている。
ゆ	ユネスコ (UNESCO)	ユネスコ(UNESCO)は、1946年に諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的として創設された国際連合の専門機関で、本部はパリに置かれ、2007年現在193カ国が加盟している。日本は1951年に60番目の加盟国となっている。UNESCOはUnited Nations Educational, Scientific and Cultural Organizationの略で、「国際連合教育科学文化機関」と訳される。
ら	ラムサール条約	1971年に採択された湿地を守るための国際条約。正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」という。加入国は、自国の湿地をラムサール条約湿地として登録するほか、登録されていない湿地を含めて自国の湿地及び水鳥の保護・保全を行う責を負う。条約では、湿地の保全・再生だけでなく、湿地から得られる恵を持続的に活用すること(「賢明な利用」ワイズユース＝wise use)、人々の交流や教育・普及啓発活動を進めることを提唱している。日本は、日本は1980年に締約国として加入し、2018年10月現在52箇所をラムサール条約湿地として登録している。 生物多様性情報システムWEBページ http://www.biodic.go.jp/biolaw/law_f.html に詳細が掲載されている。
れ	レッドリスト	絶滅のおそれのある野生生物(動植物)のリスト。「レッド」には警告の意味がある。種名(あるいは亜種、変種)と絶滅の危険性の高さによるカテゴリーの2つの要素が示される。環境省はレッドリストを作成して、続いて、分布情報、生態情報などを加えた「レッドデータブック」にしている。平成18年以降に改訂を行っている。地方自治体(主に都道府県)、学術団体(日本自然保護協会、日本哺乳類学会等)では当初からレッドデータブックとして刊行していることが多い。

2 ひょうごの生物多様性 保全プロジェクト

選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H22	全域	1	希少種の保全	一般社団法人兵庫県自然保護協会神戸支部	161	オオサンショウウオ生息地保護・保全対策の試み	兵庫県及び大阪府北部地域(兵庫県に流入する各河川)	・国指定特別天然記念物オオサンショウウオ(兵庫県版レッドデータブックBランク)を通じて河川環境の保全等を考えるため、県内のオオサンショウウオの分布調査及び個体追跡による生態調査を継続して実施 ・河川工事の際のオオサンショウウオ及び生息地保護・保全対策を関係機関と協働して実施	一般向け自然観察会等はどなたでも参加できます	http://www.hyogonacs.jp/	〒657-0051 神戸市灘区八幡町3-6-17-111 TEL/FAX:078-855-5990 E-mail:info@hyogonacs.jp
H22	神戸	2	希少種の保全	神戸山草会	100	雌岡山のケスハマソウ保存・増殖他	神戸市西区神出町雌岡山	・神戸市西区神出町雌岡山において、ケスハマソウ(兵庫県版レッドデータブックBランク)の苗を増殖し、消滅した場所に植え込みを行い再生を図っている ・地元のみつこう会(同Bランク)保存運動にも協力し、カンアオイの増殖を行っている		ひょうごホランアリーナサコラボネット内 http://www.hyogovplaza.jp/event/group_detail.php?ID=236	〒671-1143 姫路市大津区天満260-9 森田吉重 TEL:079-239-0655 E-mail:mshikou@mac.com
H22	中播磨	3	希少種の保全	林田にタガメの里をつくる会	40~50	林田にタガメの里をつくる会	姫路市林田町大堤、姫路市立伊勢自然の里環境学習センター内	・姫路市林田町大堤の谷間の放棄田を田んぼビオトープとして造成し、タガメ(兵庫県版レッドデータブックBランク)を放流 ・その後繁殖状況を調査するとともに、このビオトープを訪れて繁殖したカエル類や、水生昆虫類も毎年調査するなど、豊かな自然の再生を目指している		http://www.geocities.jp/tagameha/	〒671-2216 姫路市飾西638-1ノース青山705市川憲平
H22	中播磨	4	希少種の保全	岩戸里山と文化を守る会	53	岩戸神社境内及び、笠形山周辺の山野草を守る活動	岩戸神社及び笠形山周辺	貴重な山野草の減少を防止するため、自生地(市川町・笠形山周辺)からクリンソウ(兵庫県版レッドデータブックBランク)、クマガイソウ(同Bランク)などを採取し、岩戸神社境内で栽培・管理するなど山野草の避難または個体数の回復を図っている			
H22	西播磨	5	希少種の保全	兵庫県立大学付属高等学校自然科学部生物班	11	スクールジーンファーム…守りたい郷土の生物多様性と自然環境	校内及び西播磨各地(主に学校周辺)	・植物(絶滅危惧種や希少種)の栽培 ムラサキ(兵庫県:絶滅、環境省:絶滅危惧ⅠB類) オチフジ(兵庫県:Aランク、環境省:絶滅危惧Ⅱ類) クリンソウ(兵庫県:Bランク、環境省:-) コヤスノキ(兵庫県:Cランク、環境省:準絶滅危惧) ヒシモドキ(兵庫県:Aランク、環境省:絶滅危惧ⅠB類) アサザ(兵庫県:Bランク、環境省:準絶滅危惧) ・学校付近河川における生物調査 ナガレホトケドジョウ(兵庫県:Bランク、環境省:絶滅危惧ⅠB類) カスミサンショウウオ(兵庫県:Bランク、環境省:絶滅危惧Ⅱ類) 種名後の()内は(兵庫県版レッドリスト、環境省版レッドリストのランク)			〒678-1205 赤穂郡上郡光都3丁目11-1 兵庫県立大学付属高等学校自然科学部生物班顧問 石原信頼 TEL:0791-58-0722
H22	但馬	6	希少種の保全	特定非営利活動法人日本ハンザキ研究所	270	オオサンショウウオが住める清流を未来へつなごう!	朝来市生野町黒川地内 日本ハンザキ研究所を中心とした二級河川市川周辺	・朝来市生野町の市川周辺において、オオサンショウウオ(兵庫県レッドデータブックBランク)を保全するため、その生息する自然環境等の保全及び復元に係る調査・研究(オオサンショウウオの生態の解明など)を実施 ・オオサンショウウオを通じた学外学習の受け入れや環境を保全する人材育成を実施	オオサンショウウオに興味のある方ならどなたでもOKです	http://www.hanzaki.net/	〒679-3341 朝来市生野町黒川992 理事長 岡田純 TEL/FAX:079-679-2939 E-mail:info@hanzaki.net

選定 年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H22	但馬	7	希少種の保全	田君川バイカモ保存会	39	田君川バイカモ保存会	新温泉町栃谷田君川谷橋周辺、田君川バイカモ公園	<ul style="list-style-type: none"> ・新温泉町の田君川において、河床整備をきっかけに消滅したバイカモ(梅花藻)(兵庫県版レッドデータブックBランク) 群生地を復活させるため、近くのバイカモを移植し、周辺の環境整備を実施 ・移植作業等を継続することでバイカモ群生地として復活させ、清流が育む豊かな地域環境づくりに尽力している ・海岸から約4km標高10mの低地で「川幅10m、長さ300m」に渡り水面一面「白いじゅうたん」のような美しさを見せる 			小谷正美 TEL/FAX:0796-82-2628 携帯:090-7751-7020
H22	但馬	8	希少種の保全	兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会	20	ウスイロヒョウモンモドキとオミナエシの咲く草原環境の保全	養父市及び香美町(ハチ高原)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハチ高原とその周辺の草原で、絶滅が危惧されるウスイロヒョウモンモドキ(タテハチョウ科のチョウ:兵庫県版レッドデータブックAランク)の個体数を回復させるために保護活動や生態の調査研究、人工飼育と放虫を進めている ・多様な生物がすむススキ草原を維持するために、草原性植物をシカの食害から守るためのシカ柵設置、定期的な草刈りやチョウの食草であるオミナエシの植栽なども進めている 		http://www.geocities.jp/smallbluekh/hozen/usuirohozentop.html	事務局長 近藤伸一 TEL:079-678-1900
H22	但馬	9	希少種の保全	あさごササユリ21	23	朝来地域におけるササユリの保護・増殖	朝来市さのう高原、たたらぎダム湖周辺、伊由谷地域	<ul style="list-style-type: none"> ・朝来市のさのう高原などで、絶滅しかけていたササユリの保全を行うため、自生地を調査し、ササユリの育つ環境を整備している ・個体数を増やすため、種子を蒔き、地下発芽させて球根に育て、現地に植え付ける活動を続けている ・猪や鹿による食害や盗掘から護るため、ワイヤーメッシュの防護柵を設け、生育状況の観察を兼ねたパトロールも続けている 			〒679-3413 朝来市納座225 齋藤晃 TEL/FAX:079-678-0531
H22	丹波	10	希少種の保全	丹波佐治川自然の会	7	加古川(佐治川)のバイカモ(兵庫県版レッドデータブックBランク)復活作戦	加古川(佐治川)の丹波市青垣町流域	<ul style="list-style-type: none"> ・佐治川(丹波市青垣町流域)のバイカモ(兵庫県版レッドデータブックBランク)を保全再生するため、生息調査・分布調査を行うとともに、適地への移植や増殖活動を実施 ・小学生の川での環境学習のサポートを行い地域の貴重な環境の保全意識の醸成を図っている 			長井克己 TEL:090-8651-7052 FAX:0795-87-0103 E-mail:nagai-k@amber.plala.or.jp
H22	丹波	11	希少種の保全	丹波地域のホトケドジョウを守る会	17	丹波地域のホトケドジョウを守る会	丹波地域(篠山市と丹波市)の細流河川と湿地帯	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波地域のホトケドジョウ(兵庫県版レッドデータブックAランク)を保護するため、生態調査や生息地の環境調査など生息地の保全活動を行っている ・生息地点マップの作成など種の分布状況の把握を行っている 			〒669-3413 丹波市春日町石才18 TEL:090-6912-1523 E-mail:yym@dune.ocn.ne.jp
H22	丹波	12	希少種の保全	(公財)兵庫丹波の森協会	—	国蝶・オオムラサキが舞う里山空間づくり	兵庫県立丹波の森公園、丹波地域の小学校18校区	<ul style="list-style-type: none"> ・国蝶・オオムラサキ(準絶滅危惧種、兵庫県版レッドデータブックCランク)が飛翔する丹波地域の里山空間をつくる ・目的達成のため平成23年2月に発足した「兵庫丹波オオムラサキの会」と協働して保全調査活動を行う ・丹波の森公園を活動拠点とし、培った飼育技術を小学校及び校区地域住民などに伝承し、幼虫の飼育から成虫の放蝶までを行う 		http://www.tanbamori.or.jp	〒669-3309 丹波市柏原町柏原5600 (丹波の森公園 森づくり課) TEL:0795-72-2127 FAX:0795-72-0899

選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H22	丹波	13	希少種の保全	篠山市サギソウ保存会	54	篠山市今田地域におけるサギソウ(兵庫県版レッドデータブックBランク)の保護・増殖	篠山市今田地域	・篠山市今田地域において、サギソウ(兵庫県版レッドデータブックBランク)を保護するため、自生地において草刈・清掃活動等を行い生息環境の整備を行うとともに、種子から増殖、生育した苗を自生地に植え戻す活動を行っている ・自生地観察会や展示会を通じてサギソウへの理解促進を図るとともに、無菌播種講習会の開催など自生種の増殖活動も実施			〒669-2205 篠山市網掛429 中央公民館 (事務局 足立) TEL:079-594-1180
H22	丹波	14	希少種の保全	多紀連山のクリンソウを守る会	260	多紀連山県立自然公園内におけるクリンソウの自生地の保護・保全活動	篠山川源流台地及び溪流沿い周辺(篠山市畑)	・県立自然公園に属する多紀連山の中腹で確認された近畿圏最大規模のクリンソウ群落(兵庫県版レッドデータブック植物群落Aランク)の保護・保全のため、群落内や周辺部の立木の伐採や水源の確保に努める ・クリンソウの植生調査の他、観察ルートの整備、案内表示、解説パンフレット配布などを通じ市民の目で監視活動も行う		整備中	〒669-2303 篠山市瀬利92-3みたけ会館 TEL:079-552-3596
H22	丹波	15	希少種の保全	南新町美しいまちづくりの会	80	篠山市南新町の竹林に羽ばたけ「オオムラサキ」	篠山市南新町竹林群内	・篠山市南新町において、荒廃した竹林内のエノキ周辺に生息しているオオムラサキ(兵庫県版レッドデータブックCランク)の生息環境を改善するために、竹林を間伐するとともに餌場となるクヌギの植林活動を実施 ・また、間伐した竹林を再利用して環境学習等を実施			〒669-2333 篠山市南新町263-4 清水恵治 TEL:079-552-1383 携帯:090-7104-3060
H22	東播磨	16	(外来水辺生物駆除の保全を含む)	いなみ野ため池ミュージアム運営協議会	102団体	東播磨地域における水辺環境の保全・再生	東播磨地域に存する「ため池」「水路」等の水辺	・東播磨地域に存するため池等の水辺環境の保全・再生のため、アサザなど希少動植物の保全活動のほか、池干しによる外来魚の駆除活動を実施 ・水辺フォーラム、環境学習会等の開催、普及啓発活動などを実施し地域でのため池環境保全の意識を高揚させている		http://www.inamino-tameike-museum.com/	〒675-8566 加古川市加古川町寺家町天神木97-1 兵庫県東播磨県民局 地域振興室県民課 TEL:079-421-9026
H22	中播磨	17	(外来水辺生物駆除の保全を含む)	兵庫県高等学校教育研究会生物部会西播磨支部、兵庫県生物学会西播磨支部	41+62	よみがえれ 自然砂丘植生	姫路市福泊海岸公園	・将来の自然砂丘植生復元に役立てるため、1989年に作られた人工的砂浜海岸(姫路市の福泊海岸)からコウボウムギ、コウボウシバ、ハマヒルガオが生育する自然砂丘植生への遷移過程の調査研究や保護・再生活動を継続 ・高校生が多数参加することで、生物系クラブの活性化にもつながっている			〒671-2103 姫路市夢前町前之庄643-1 県立夢前高等学校 校長 山下明良 TEL:079-336-0039
H22	阪神南	18	(外来水辺生物駆除の保全を含む)	NPO法人 海浜の自然環境を守る会	96	甲子園浜の生き物保全活動	西宮市甲子園浜	・西宮市甲子園浜及び干潟に飛来する野鳥を保護するため、保護区への立入禁止の啓発を行う ・観察会の開催、生き物観察会及び海の環境普及啓発活動を実施		http://www.npo-koshienhama.com/	〒663-8143 西宮市枝川町19-10 西宮市甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付 NPO法人 海浜の自然環境を守る会

選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H22	中播磨	19	(外来水辺生物環境の保全を含まむ)	海のいのちクラブ	30	白浜海岸におけるアマモ場の再生と海浜植物の保護	白浜海岸周辺	・姫路市白浜海岸において、アマモ場を保全・再生するため、子どもたちとアマモ種子の採取、種まきと育成、苗の海への移植などの活動を実施 ・子どもたちと地元の自然を見つめ直すため、磯の観察会や海藻調査を実施			〒672-8023 姫路市白浜町甲740-106 NPO姫路こころの事業団内 海のいのちクラブ FAX:079-247-1750 E-mail:umiumi735@gmail.com
H22	西播磨	20	(外来水辺生物環境の保全を含まむ)	あいおい播磨灘の里海づくり協議会	8団体	播磨灘における生物多様性を保全・再生しながら、地域の活性化につなげる里海づくり	相生湾を中心とした播磨灘西部沿岸域	播磨灘の里海づくりのため、市民や沿岸企業、民間団体等が参画し、将来を担う子ども達に、相生湾周辺での海の環境学習、自然環境の保全・再生活動をする場を作り、直接体験することにより、多種多様な生物が住む相生湾の魅力とその現状を知り、相生湾を守り、育てていくにはどうしたらよいかを考える場を提供している			〒678-8585 相生市旭1丁目1番3号 相生市市民生活部環境課 TEL:0791-23-7131 FAX:0791-23-2741 E-mail: kankyo@city.aioi.hyogo.jp
H22	西播磨	21	(外来水辺生物環境の保全を含まむ)	相生湾自然再生学習会議	25	カプトガニのいた美しい海に	播磨灘の相生湾周辺	・50年前のカプトガニがよく見られた相生湾の自然再生を目指して、相生湾の水質・底層の改善や海岸生物を調査し水質や海水の豊かさを測定 ・アマモの再生活動を地域の小学生の環境体験学習として実施 ・相生湾内に生育しているシバナ、フクド、ハマザジ、ハマツツナ、ヒロハマツツナなど塩湿地植物の保護・保全活動を実施 ・相生湾で養殖している「牡蠣」をテーマに小学生の環境体験学習を実施			松村 E-mail: s.k.matsumura1530@maia.eonet.ne.jp
H22	神戸	22	(外来水辺生物環境の保全を含まむ)	伊川流域研究会	12	美しい里川「伊川」の環境を未来に伝えよう	伊川流域(神戸市西区)	神戸市西区の伊川流域には二次原生林のある太山寺があり、この貴重な生物、文化遺産を守るため、伊川流域の自然調査を実施し、調査結果をもとにしたガイドブックを作成するなど伊川流域住民に自然豊かな伊川に気付いてもらう活動を実施			〒651-2124 神戸市西区伊川谷町潤和1210-28 松田聡 E-mail: mazda.lucky7@gmail.com
H22	阪神南	23	(外来水辺生物環境の保全を含まむ)	山口・船坂校区青少年愛護協議会	58	ホタル保護活動	有馬川・船坂川の流域	ホタルを保護すればすべての水生生物を保護することにつながるの考えから、西宮市山口町の有馬川・船坂川流域でホタル捕獲防止をポスターにより啓発したり、ホタル繁殖のために水銀灯消灯などを行政へ働きかけるなどホタルの生息環境を守る活動を実施			会長 本田三延 TEL:078-904-0659
H22	丹波	24	(外来水辺生物環境の保全を含まむ)	TANBA OUTDOOR ECOLOGY	17	かこがわのみずべたんけん・エコツーリング	丹波市氷上町加古川河川敷(本郷周辺部)	丹波氷上町には日本で最も低い分水嶺があり「氷上回廊」と呼ばれ、太古の昔より日本海水系と瀬戸内海水系の生物が交流するルートに位置する加古川の最上流部であるフィールドにおいて「かこがわのみずべたんけん」「エコツーリング」環境学習事業として、水生生物調査、カヌーやカヤック・川釣り体験、サイクリング、野鳥の観察、生き物講座を通じ河川の現状を学ぶ機会を構築し、氷上回廊の河川環境と生態系の保全活動を実施		http://www.heartingpoint.com/index.php?tn=index&in=700013&pan=738	TEL:0795-82-8601 FAX:0795-80-2092 E-mail: youme@skyblue.ocn.ne.jp

選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H22	淡路	25	(外来生物駆除を含む) 水辺環境の保全	国立公園成ヶ島を美しくする会	137	成ヶ島由良湾におけるベントス調査とソーティング 由良生石研究村	生石、成ヶ島、由良湾、但し大阪湾限定	・成ヶ島周辺の豊かな自然環境を保全するため、アマモ帯の生きもの調査と潮間帯、潮下帯のベントス調査など由良湾の生物多様性の状況の把握に努めている ・淡路島で分布域を拡大している特定外来生物ナルトサワギクの駆除を行うなどの取組を多数実施	海辺の動植物好きは大歓迎 特に若い人を求む!		〒656-2541 洲本市由良3丁目8-8 代表 花野晃一 TEL:0799-27-0393 FAX:0799-27-2680
H22	東播磨	26	地域生態系の保全・再生	エコウイングあかし自然グループ	全体:91名 (内,自然:37名)	「水でつながる明石の自然」の調査及び保全、整備	明石全域(里山、ため池、海)	・里山ゾーンとして、金ヶ崎公園の竹林や常緑樹の整備や植生調査、ため池・川ゾーンとして現況調査、海ゾーンとして海浜植物、浜辺の生き物などの現況調査を行っている ・この活動を更に発展させ、市民が主体になり専門家グループと連携しながら植物、野鳥、昆虫などを調べ・まとめ・公開し活動に生かす「あかし市民図鑑」づくりを始めた ・それぞれの地域で、学校と協働で子供向け環境体験学習の提供や市民向け啓発イベントを開催	明石の自然に関心のある方	http://www.ecowing.net/index.html	〒674-0053 明石市大久保町松陰1131 (明石市環境総務課) TEL:078-918-5029
H22	神戸	27	地域生態系の保全・再生	東お多福山草原保全・再生研究会	9団体 (2018.12月現在)	東お多福山におけるスキ草原の生物多様性の保全・再生	六甲山系東お多福山	・六甲山系東お多福山のスキ草原の景観再生・生物多様性の保全を行うため、ネザサを刈り取るとともに、種の回復状況などを確認するための植生調査も実施 ・スキ草原を活用した環境学習プログラムを実践		http://otahuku2016.wixsite.com/higashi-otafuku	〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目 兵庫県立人と自然の博物館 気付(橋本佳延) TEL:079-559-2001 E-mail:quercus@hitohaku.jp
H22	神戸	28	地域生態系の保全・再生	一般社団法人 ブナを植える会	65	六甲ブナの育樹	神戸市灘区の六甲山最高峰及び極楽茶屋跡の周辺	・絶滅が危惧される六甲山のブナを保全するため、種子を採取、育苗し六甲山の各所に植樹を行い、貴重な後継木として育樹を実施 ・現在、六甲山には、自然木のブナが130本、育樹中のブナは120本 ・2018年、六甲山小学校、ブナの道で六甲ブナの取り木作業を開始	会員及び一般参加可	http://www.bunawouerukai.jp	〒657-0011 神戸市灘区鶴甲3-5-29-106 桑田結 TEL:090-3166-9785 FAX:078-851-0291 E-mail: bunawouerukai.kobe@gmail.com
H22	但馬	29	地域生態系の保全・再生			鉢伏高原をはじめとする県北西部におけるブナの植樹～育樹～育苗	兵庫県北西部の養父市、香美町、新温泉町	・養父市関宮町ハチ高原、おじろスキー場、創造の森(久斗山)、妙見山麓(自然の家)前、上山高原などにおいて、ブナを保全するため、以前ブナがあった場所に植樹を行い、ブナの森づくりを実施 ・ブナの育樹のために下草刈りなどの維持管理も実施 ・鉢伏高原のブナ林がふるさと森林再生事業に認定された ・第1回植樹のブナの実生苗を発見、ブナの苗畑を作った			

選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H22	阪神南	30	地域生態系の保全・再生	ナシオン創造の森 育成会	32	西宮市塩瀬地区における【ナシオン創造の森】の育成	東山台宅地に隣接する「ナシオン創造の森」	<ul style="list-style-type: none"> ・人と自然が共生できる森の再生を行うため、東山台に隣接して放置された【ナシオン創造の森】14haの整備や植林を進めている ・更に、小中学校の自然体験学習の支援や住民に自然や生きものに関心を持ってもらえるように住民参加イベントを年2回開催 ・4つの柱(①森を育てる活動、②森に学ぶ活動、③森を楽しむ活動、④参画と協働)に基づき活動 		http://nacion-souzounomori.jimdo.com/	事務局長 浜ノ上史子 TEL:0797-62-3570 E-mail:poppy49@gmail.com
H22	東播磨	31	地域生態系の保全・再生	行常しあわせの森づくり協議会	33	「竹林と樹林」を手入れし、「生きもの豊かな行常の里山」を創ろう!	加古川市志方町行常「行常の里山」	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川市志方町の里山の生物多様性を豊かにするために、密生し老化した竹林を間伐し、また放置樹林の不用な樹木やツルを除去して「光と風」を入れる ・林内に花が咲き、蝶や鳥や虫が育ち、山水も浄化されて豊かな農地造りに寄与している ・この活動は地元住民と「街」のボランティアが連携し、協働の喜びを分かち合うものである 		http://hyogo-morinoclub.jp/about-volunteer/area-about/area-15	〒657-0008 加古川市新神野6-19-8 荒川士郎 TEL/FAX:079-438-8643 E-mail:forest68@bb.banban.jp
H22	中播磨	32	地域生態系の保全・再生	太市の郷	20	‘ふるさとの原風景再生プロジェクト’太市の郷	姫路市太市地区の里山・里地、及び大津茂川流域(里川)	<ul style="list-style-type: none"> ・太市地区は県内屈指のタケノコ生産地で、竹林の優美な景観を有する里山。また、耕地整備を施さずに営農を続けることで田の畦、ため池や水路は自然が豊かに保たれた里地 ・古くから持続的に利用・管理してきた郷里も、近年は不耕作地が増え、シカ・イノシシ獣害などで荒廃しつつある。そこで、竹林が持つ特質ある自然風景を保全する活動。身近な環境資源を活かした、子どもたちの「タケノコ掘り」・休耕田活用で「田んぼの学校」など人と生物の交わる自然学習の場づくり事業を推進。 	会員及び一般参加可	http://himeji.genki365.net/gnkh09/mypage/index.php?gid=G0000069	〒671-2233 姫路市太市中62 太市の郷 事務局
H22	中播磨	33	地域生態系の保全・再生	神戸町川上集落	—	野草の咲き乱れるススキ草原の復活	砥峰高原	兵庫県版レッドデータブック(植物群落複合)Aランクである砥峰高原の約90haのススキ草原の美しさと関西でも珍しいノハナショウブやアヤメの群生地を保全するため、集落で育成したノハナショウブとアヤメを散策路周辺に植栽したり、ススキ草原の調査・保全活動を実施			
H22	但馬	34	地域生態系の保全・再生	特定非営利活動法人上山高原エコミュージアム	109	上山高原の貴重で豊かな生態系を育むブナを主体とした広葉樹林とススキ草原の保全・復元	新温泉町南西部、氷ノ山後山那岐山 国定公園内	上山高原(新温泉町)のブナやススキ草原を保全・復元するため、現存する広葉樹林の保全と人工林の間伐を行い、ブナ、ミズナラなどを植樹し落葉広葉樹林化を進めるとともに、ススキ草原の維持のために笹や灌木の刈り取りを実施		http://www.ueyama-kogen-eco.net/	〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 兵庫県自然環境課 TEL:078-362-3274 FAX:078-362-3069

選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H22	阪神南	35	生物多様性の創出・生育	アマフォレストの会	60	尼崎中央緑地の生物多様な森づくり	尼崎市臨海部の中央緑地	かつて製鋼所などの工場があった埋立地において「尼崎の森中央緑地」の森づくりを進めるため、地域の在来種から種子を採取し育てた苗木(これまで100種類に近い地域性苗木を育成)で植樹活動を実施		http://www.geocities.jp/amafo2008/	アマフォレストの会事務局 E-mail: amaforests@yahoo.co.jp
H22	阪神南	36	生物多様性の創出・生育	尼崎南部グリーンワークス	10	阪神間工業地域での「すき間緑化」による環境創造のまちづくり	尼崎市南部を中心に広く阪神地域	・都市にある狭い空間を利用した緑化(都市立体緑化)を進めている(すき間緑化) ・都市と自然、人と自然の共生をテーマにし、緑空間を創ることを目指して、人と緑をつなげる活動を実施			〒660-0843 尼崎市東海岸町1番地63鉄工団地事務所内 黒田光枝 TEL/FAX:06-6489-1585 E-mail:mao-nyan3125@pp.em-net.ne.jp
H23	中播磨	37	希少種の保全	家島のささゆりを守り育てる会	29	地域の花「ささゆり」は家島の宝です	家島町宮海山:自生地、家島町西島:頂上石自生地、家島町真浦:加野増殖園	・野生のささゆりが生育しやすい環境となるよう里山保全活動を実施 ・栽培管理技術の向上と増殖、育成のための研究及び情報交換を行うとともに地域や町内外への普及広報活動を実施			〒672-0101 姫路市家島町真浦637 筒井導男 TEL/FAX:079-325-0201
H23	中播磨	38	希少種の保全	日本ななくさの会	50	七草を中心とした日本文化の伝承と野草の研究及び保全活動	姫路・青山「稲岡山・教専寺」	・フジバカマ(兵庫県版レッドデータブックBランク)など七草の調査、植栽、増殖等を実施 ・七草を食したり、種子を配布して野草に対する認識を深める普及啓発活動を実施			〒671-2221 姫路市青山北3丁目28-15 遠周 章 TEL/FAX:079-266-2559
H23	西播磨	39	希少種の保全	上郡中学校科学部	19	チスジノリを通して安室川の自然を復活させる取組	上郡町安室川流域	・2004年のチスジノリ(兵庫県版レッドデータブックAランク)再発見をきっかけに、生育環境調査、生育条件調査を実施しその生態の把握を行う ・チスジノリ現地見学会を開催し、チスジノリや安室川の自然を知ってもらふ普及啓発活動を実施		http://www.kamigori.ed.jp/kamityu/index.html	〒678-1241 赤穂郡上郡町山野里1178番地1 上郡中学校科学部(上山雅史、上田啓太郎) TEL:0791-52-0034 FAX:0791-52-0413 E-mail: kamigorijhs@yahoo.co.jp
H23	西播磨	40	希少種の保全	佐用川のオオサンショウウオを守る会	12	オオサンショウウオの棲める水環境の保全	佐用川を中心とした千種川	・オオサンショウウオ(兵庫県版レッドデータブックBランク)の生態調査を定期的実施し、棲息できる水環境を研究するとともに千種川水系の水質や自然環境を守るための実践的な活動を実施 ・住民対象の観察会の開催等保全を進めるための啓発活動 ・マイクロチップ読み取り機による個体識別			〒679-5307 佐用郡佐用町円応寺102-5 会長 山川修 TEL:0790-82-2378 FAX:0790-82-2462 E-mail: y.osamu@viola.ocn.ne.jp

選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H23	阪神北	41	(外来生物駆除の保全を含む) 水辺環境の保全	流域ネット猪名川	32	猪名川流域におけるネットワーク作りと外来種除去による在来種・貴重種の保全	猪名川流域	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回猪名川流域24ヶ所で一斉クリーン作戦を実施:ゴミ拾いだけでなく、川への関心を持つ流域住民を増やすネットワークづくりをしながら多様な生物が棲む川づくりを目指している ・在来植物が減り外来種が増えた河川工事後の河原に、平成22年度から外来植物除去を行いながら「在来種が互生するオギ原再生」に取り組んでいる ・平成23年度も外来植物除去の継続と、人博から提供を受けた貴重種「カワラナデシコ」の苗を河原に植栽 ・「カワラマツバ」の群生地の保護を実施 		http://ryuiki17gawa17kaw.blogspot.com/	代表 水谷信彰 TEL:080-9126-5025 E-mail:suishin2025@gmail.com
H23	西播磨	42	(外来生物駆除の保全を含む) 水辺環境の保全	千種川圏域清流づくり委員会	80	夏の一斉水温調査を中心とした、千種川の環境および生物調査	千種川流域94地点	<ul style="list-style-type: none"> ・94地点の水温を一斉に測定して、高い温度、低い温度を示す地点を把握する ・過去のデータと比較して、測定地点の温度特性を把握し、そこに生息する生物との関連を調べる(これには、流域ライオンズクラブが43年間実施している一斉水生生物調査データも利用) ・流域で実施する川イベントの際に、水温調査や水生生物調査を行う意味を説明したり、河川環境についての学習会を開催 		http://web.pref.hyogo.jp/wh04/wh04_1_000000014.html	兵庫県西播磨県民局光都土木事務所企画調整担当 TEL:0791-58-2229 FAX:0791-58-2321 ネットワーク部会長 横山正 TEL:090-3657-4907 E-mail: zabiel.yokoyama@nifty.com
H23	全域	43	地域生態系の保全・再生	NPO法人ひょうご森の倶楽部	300	ひょうごの豊かな森を守り、育てる活動	神戸市太子の森や川西市黒川地区など淡路島を除く県下全域20箇所固定活動地ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・放置されて荒廃している森林を市民の手で整備する「森林ボランティア活動」を主な活動としている ・人工林、里山林、竹林などの森林整備活動を各活動地で実施(終了活動地を含めると40箇所) ・森林ボランティアの育成を行うほか、企業など他団体の森づくりについての指導や支援も実施 		http://hyogo-morinoclub.jp	〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-1-11 山手ユージハウス201 TEL/FAX:078-321-0049 E-mail: moriclub@pearl.ocn.ne.jp
H23	阪神北	44	地域生態系の保全・再生	ごもくやさん	18	中央公園の自然を守る会「ごもくやさん」	三田市中央公園	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公園の森林や池に生存する動植物の観察、保全を実施 ・特に希少動植物の保護に努めている ・近隣住民とともに自然観察を行い、小中学生の環境学習への協力関係を持ち、体験学習等を実施 		http://futakuchiblogu.blog.fc2.com/	代表 上村哲三 TEL:090-3618-8154 E-mail: uemjunko@hotmail.co.jp
H23	北播磨	45	地域生態系の保全・再生	県立三木山森林公園管理事務所	—	他に類を見ない生物多様性に富んだ公園づくり	県立三木山森林公園	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアと協働で造成したススキ・チガヤ草原、池や水路を改良し復元した多様な水辺環境の維持 ・導入する植物は全て地元で種子を採取して育成し、近年見られなくなった東播磨の里地里山環境を復元 ・小中学生の環境学習、観察会イベントの実施 		http://www.mikiyama.net/	〒673-0433 三木市福井字三木山2465-1 TEL:0794-83-6100 FAX:0794-83-6779 E-mail:info@mikiyama.net

選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H23	北播磨	46	地域生態系の保全・再生	NPO法人三木自然愛好研究会	130	自然環境保全及び調査研究プロジェクト	三木市細川町増田(ふるさと公園を中心にして)	・ササユリ、ギフチョウ(兵庫県版レッドデータブックBランク)などの希少種復活など、森・川・海の再生を目指して古古川流域ネット(環境ネットワーク)を結び活動 ・30種に及ぶ絶滅危惧種の保全と特定外来生物の駆除やその生態研究を実施			〒673-0704 三木市細川町増田1204 ふるさと公園 北村健 TEL:080-5348-3095
H23	全域	47	地域生態系の保全・再生	NPO法人棚田LOVER's	54	ひょうごの棚田・生物多様性保全プロジェクト	神河町、市川町、香美町、佐用町、姫路市等の棚田や農村	・各棚田での田植え、草刈り、稲刈り、学習会、意見交換会などの企画を実施 ・都市農村交流として大学や姫路の商店街で棚田・生物多様性保全の魅力を伝える活動を実施 ・放棄田を再生し多数の生きものを保全・再生		http://tanadalove.com/	〒679-2326 神崎郡市川町谷915 理事長 永菅裕一 TEL: 090-2359-1831
H23	西播磨	48	地域生態系の保全・再生	特定非営利活動法人 WOOD NOTE	10	宍粟市生物と共存するまちづくり事業	宍粟市全域	・宍粟市の野生動植物調査、環境保全講演会、自然学習講座、野生動物農業被害対策などを実施 ・適切で迅速な対応を実施し農業被害を削減することで、地域の人たちの野生動物に対する敵対意識を軽減させ、野生動物との共存について理解を深めてもらう			〒671-2507 宍粟市山崎町下牧谷503-4 坂田学 TEL:0790-65-0779 E-mail:sakata@woodnote.or.jp
H23	但馬	49	生物多様性の創出	NPO法人ひょうごエコ市民ネットワーク	30	大岡ゴルフ倶楽部敷地内におけるブナ育樹	豊岡市日高町大岡山	・かつてはブナがあった大岡ゴルフ倶楽部敷地内の旧スキー場跡の草刈とブナの苗を育樹 ・ブナ育樹によりクマのエサとなる実を育て、人とクマがすみ分けできるような森づくりを目指す		http://hyougo-eco-network.seesaa.net/	〒667-1337 美方郡香美町村岡区日影707-2 大西英剛 TEL/FAX:0796-96-1130 E-mail: onishi.hide@iris.eonet.ne.jp
H24	阪神南	50	希少種の保全	夙川に蛍を増やそう会	15	夙川に蛍を増やそう会	西宮市にある夙川の苦楽園口駅より、少し上流の辺り	・かつて蛍がいた光景を子ども達に見せたいという思いから、夙川が蛍を含めた多くの生き物がすめるような自然豊かな環境になることを目指して活動 ・夙川の蛍を捕獲し、夙川の水とカワニナで養殖し、孵化した幼虫を放流 ・蛍の個体数調査と放流の影響による個体数変動調査を実施		http://syukugawah.exblog.jp/	〒662-0025 西宮市北名次町13-16-404 西村敦子 TEL:0798-74-4565 E-mail: hotaru.syukugawa@gmail.com
H24	但馬	51	希少種の保全	桃島池の自然を考える会	20	ヒヌマイトンボ	豊岡市城崎町の桃島池	・ヒヌマイトンボの生息環境保全、増殖、放流活動 ・全国トンボ市民サミット受け入れ準備や各種トンボ学会への参画 ・桃島池と桃島川に生息する生き物観察会の開催			〒669-6061 城崎町湯島488-1 松本逸朗 TEL/FAX:0796-32-2628

選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H24	阪神南	52	(外来水辺生物駆除の保全を含む)	特定非営利活動法人 尼崎21世紀の森	正会員22人、法人会員1、賛助会員1	尼崎港・運河での生物(貝類・藻類等)を利用した水質浄化により生物が棲みやすい環境をつくる	尼崎港及び尼崎運河	・尼崎市北堀運河の「水質浄化機能付親水護岸」を用い、水槽・水路内に貝類や藻類等を育成する ・栄養源は運河の水に含まれる懸濁物・窒素・リンで、貝・藻類に吸収させ運河の水を浄化していく ・大きくなった貝・藻類は定期的に施設外に取り出し、落葉・米ぬかと混ぜ堆肥化し再利用する ・活動推進のため学識経験者・NPO・市民・学生からなる「尼崎運河〇〇(マルマル)クラブ」を設立した		http://ama21mori.net/	〒660-0815 尼崎市杭瀬北新町3-2-2大信ビル3階 事務局長 阿部利雄 E-mail: ama21@bridge.ocn.ne.jp
H24	阪神南	53	地域生態系の保全・再生	西宮市きのこクラブOB会	31	夙川堤・甲山周辺の自然環境保全	夙川流域・甲山周辺	・夙川堤の松の再生・保全に西宮市が松と共生する菌根菌を活用し、活性化する取組の協働 ・甲山周辺でこの定点観察を毎月1回実施し、そのデータを蓄積し、きのこの発生状況の調査や公開による自然環境保全の啓発活動を実施 ・西宮市主催のきのこクラブ受講修了者がより深くきのこを研究するために設立された組織		http://kinokode.exblog.jp/	〒663-8015 西宮市野間町3-23-302 河上 浩 TEL:090-7042-9427 FAX:0798-63-2994 E-mail:kawa1201@live.jp
H24	西播磨	54	地域生態系の保全・再生	矢原山ホタルむら	122	矢原山ホタルむら	佐用町金子集落	・自然や生き物にやさしい長寿の里を目指し、むらの和を大切に、お年寄りや訪れる人々が共に楽しみ、助け合い、喜びを分かち合う共生のむらづくりを進めている ・減少したホタルを取り戻そうと住民一体となって、ホタルの繁殖やホタルが生息しやすい環境の整備をはじめ、カブトムシの飼育、樹木・花の植樹や栽培、野菜・果樹の栽培や販売、遊歩道の整備など会員が協同実施 ・子供会等と連携して、地元のホタルやカブトムシを飼育し、環境教育の場とするとともに、集落全体で河川の清掃に取り組むなど、自然や環境への意識の高揚を図っている			〒679-5502 佐用郡佐用町才金407 大西 茂 TEL:0790-87-0286 FAX:0790-87-0286
H24	丹波	55	生物生息・生育環境の創出	江古花園運営委員会	13	江古花園・里山ふれあい「里山楽校」	丹波市青垣町東芦田 江古花園	・H22年に2haの人工林を伐採しコナラ等を植栽し夏緑林の多い里山を目指している ・年に数回「里山楽校」を開催する傍ら、里山での植物観察、常緑樹の刈り取り作業、木工クラフト体験を実施し、都市・企業交流の拠点づくりを進めている			〒669-3801 丹波市青垣町東芦田928-2 長井克己 TEL/FAX:0795-87-0103 E-mail:nagai-k@amber.plala.or.jp
H24	但馬	56	生物生息・生育環境の創出	コウノトリ湿地ネット	82	円山川下流域におけるコウノトリの生息環境づくり	円山川下流域内。主にハチゴロウの戸島湿地、豊岡市田結地区内放棄田	・豊岡市内におけるコウノトリ生息状況の毎日の観察とデータ集積・分析、及び市外でのコウノトリ飛来情報ネットワーク化 ・豊岡市立ハチゴロウの戸島湿地の管理運営(指定管理者) ・休耕田・放棄田を活用したピオトープづくり(コウノトリ採餌環境創出) ・コウノトリ野生復帰、ラムサール登録湿地等普及啓発及び環境教育		http://wac-s.net/	〒669-6103 豊岡市城崎町今津1362 TEL:0796-20-8560 FAX:0796-20-6302

選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H24	但馬	57	生物生息・生育環境の創出	NPO法人 コウノトリ市民研究所	正会員25、賛助会員30	人と自然のつながりを作る	豊岡市祥雲寺コウノトリの郷公園及び豊岡市内	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回コウノトリの郷公園内で子ども対象の「田んぼの学校」という行事を実施し、子ども達に自然体験をさせるとともに、身近に豊かな自然があることの価値を再認識する 随時、要望に応じて、地域で「出張田んぼの学校」を実施し、地域の人々の自然に対する認識を深める 研究員による豊岡盆地の生物のモニタリングを実施し、自然環境の保全についての普及啓発活動 		http://kounotori.org/	〒668-0814 豊岡市祥雲寺127番地 コウノトリ文化館コウノトリ市民研究所 TEL:0796-23-7750 FAX:0796-23-8005
H26	東播磨	58	希少種の保全	加古川の里山・ギフチョウ・ネット	25	ギフチョウの生息できる里山の保全	加古川市北部	<ul style="list-style-type: none"> 山陽自動車道開通に伴う環境影響調査で確認されたギフチョウの保護作戦を日本道路公団から市民が引き継ぎ実施 ギフチョウ生息地里山の手入れ(草刈・枝打ち)を毎年行うほか、草原に生息するヒメヒカゲの保全も実施 自然環境の大切さを広めるため、加古川市と連携して、チョウの観察会を開催したり、子どもたちにチョウを通して自然環境の大切さを紹介するため毎年「科学の祭典」への出展などを実施 		http://www.eonet.ne.jp/~t-takashi/	〒675-0321 加古川市志方町志方町842-2 竹内 隆 E-mail: takesan_takasi@yahoo.co.jp
H26	北播磨	59	希少種の保全	あびき湿原保存会	40	あびき湿原における湿原性動植物の保全活動	あびき湿原野生生物保護地区(加西市網引町地内)	<ul style="list-style-type: none"> 湿原周辺の雑木林の除去や、湿原内のイヌツゲ・ヌマガヤの除去などの保全作業 加西市教育委員会や校区単位の住民組織に働きかけ、観察会や勉強会を自主開催 希少・絶滅危惧種が発生するシーズン(3月下旬～9月)には、盗掘・踏み荒らしを防ぐための見回りを実施 生物多様性保全の取組を軸に地域の絆も強まり、充実した取組を続けている 	高校生以上(道具を扱うため)		〒675-2113 加西市網引町1652-1 山下 公明 TEL:0790-49-0335 FAX:0790-49-2519 〒675-2395 加西市北条町横尾1000 加西市環境課 TEL:0790-42-8716 FAX:0790-42-6269
H26	中播磨	60	希少種の保全	ネイチャーはりま	20	ジャコウアゲハの自生地の保護と育成、里地里山の植物保全	姫路市山田町多田平田川流域と菊谷池周辺	<ul style="list-style-type: none"> 山田町東多田自治会との協力でウマノスズクサを保全・再生し、ジャコウアゲハの自生地の保護・育成を実施するほか、里地里山を中心に市内の希少動植物の調査(サギソウ、フジバカマ等)などを実施 ジャコウアゲハが飛び交う街姫路連絡協議会と協働でジャコウアゲハサミットの開催やウマノスズクサの苗の増殖などを実施 			〒679-2111 姫路市山田町多田249 上田 倫範 TEL:090-1152-7670 FAX:079-263-2065 E-mail:m- mueda@meg.winknet.ne.jp
H26	中播磨	61	希少種の保全	ジャコウアゲハが飛び交う街姫路連絡協議会	15	ジャコウアゲハが飛び交う街「姫路」プロジェクト	姫路市を中心に中播磨全域	<ul style="list-style-type: none"> ジャコウアゲハに興味のある個人や諸団体の参加を募り、ジャコウアゲハ及びウマノスズクサの勉強、育成、取組等の情報交換会を定期的に開催 姫路市立小学校3、4年生の親子を対象に、市蝶ジャコウアゲハに興味を持ってもらい、環境学習にもつながる「ジャコウアゲハ親子スケッチ大会」を実施 ジャコウアゲハに取り組んでいる個人や小学校、企業、市、諸団体が一堂に会し、取組を発表するジャコウアゲハサミットの開催 		http://ehc-hyogo.net/hp/?i=jakouageha	〒670-0952 姫路市南条637 事務局長 尾上 劉次 TEL:090-8574-9176 FAX:079-222-5501 E-mail:b-e-n-0-2@benhouse.co.jp

選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H26	西播磨	62	希少種の保全	NPO法人たつの赤トンボを増やそう会	13	西・中播磨地域における赤トンボ(アカアカネ)の復活	たつの市を中心とした西・中播磨全域	・龍野ゆかりの詩人・三木露風の童謡「赤とんぼ」に詠われた原風景を復活させる為、赤トンボ(アカアカネ)を育む農法を確立し、アカアカネを水田で増やせる自然のサイクルを確立する為の事業を実施 ①繁殖のための生態調査・飼育事業、②赤トンボ(アカアカネ)を育む農法の開発とブランド化の事業、③飼育施設等を使った学習・観光事業、④飼育田等での子供たちの体験学習事業	特になし	http://www.tatsuno.info/akatonbowofuyasoukai/	前田 清悟 TEL: 090-5343-7461 E-mail: smaeda@hera.eonet.ne.jp
H26	阪神北	63	(外来水辺環境の保全を含む)	浜・川・山の自然たんけん隊	15	御前浜・香櫛園浜での生物多様性保全プログラム	西宮市夙川河口の御前浜・香櫛園浜	・県による「御前浜プロジェクト」に10年前から参加していた地域住民が中心になり会を設立 ・毎月第1土曜日に、浜辺クリーンアップと海浜植物・野鳥・貝・カニなどの海辺の生きものの観察を実施 ・貴重な海浜植物を保全するため、植物観察会や外来植物除去を行うとともに、啓発資料を作成し浜辺の生物多様性について情報発信 ・自然体験プログラムとあわせて防災学習を実施	特になし	http://sizentanken.blog.fc2.com/	〒662-0933 西宮市西波止町6-33-301 事務局長 粟野 真造 TEL:080-6165-0990 E-mail: awaumi22@wi.kualnet.jp
H26	北播磨	64	(外来水辺環境の保全を含む)	やしろの森公園協会	45	やしろの森公園「ため池」再生プロジェクト	県立やしろの森公園内 ため池及び湿地	・棚田を中心とした古くからの里山環境を土台にして設営された里山公園で、県民がボランティアスタッフとして主体的に活動に参画し、地域の里山の自然環境を守り育てる活動を実施 ・園内に数多くある「ため池」が外来種であるアメリカザリガニの侵入により、生態系に深刻な被害を受けているため、アメリカザリガニの駆除を最優先課題として、もんどり等による捕獲・駆除や池干し、水生植物の埋土種子による再生などを実施		http://www.ddknet.ne.jp/~satoyama/	〒673-1414 加東市上久米1081-3 余部 衛(あまべ まもる) TEL:0795-44-1510 FAX:0795-44-1512 E-mail:hotaru@ddknet.ne.jp
H26	但馬	65	(外来水辺環境の保全を含む)	矢田川発地球環境グループ	11	再び、弁天淵の再生をめざして	矢田川(中流域)、特に弁天淵周辺(香美町)	・昔の弁天淵を甦らせることによって豊かな矢田川につながることをめざす ・「いいかげん自然観察ノート」の勉強会の開催 ・弁天淵親水公園祭の生き物観察指導、特に地元小学生児童とその保護者を対象に観察指導 ・弁天淵再生プロジェクト事業(官・民・学協働による「淵再生」)に積極的に参加(官…新温泉土木事務所、民…当グループを中心とする地元住民、学…鳥取大学・香住高校)	特になし		〒669-6559 美方郡香美町香住区小原450 原 昌久 TEL:0796-36-3034 FAX:0796-36-3034 E-mail:masahisa.hara@gaia.eonet.ne.jp
H26	全域	66	(外来水辺環境の保全を含む)	海と空の約束プロジェクト	10	地域の生物多様性保全推進を図り、併せて暮らしの見直しから生物多様性を考えるための判りやすいESDや水辺環境保全を推進するプロジェクト	朝霧川(明石)流域、都賀川、生田川、福田川、伊川等(神戸市内)流域、神戸・明石・加古川・姫路・尼崎周辺等の海、里山、河川、学校、図書館等	・2009年から、子ども達や様々な世代の人々に、判りやすい環境教育を行うため環境絵本「海と空の約束」を出版し、環境学習の機会や教材を提供する活動を展開中 ・市販もしているが日本の島々や講演会等で繋がりができた子ども達の施設や海外の施設に寄贈する活動を実施 ・兵庫県立大学のサークル等と共に多様なセクターと協働して、絵本を紙芝居化して判りやすい生物多様性保全、自然界の自浄作用等に関する環境教育活動、河川の生きもの観察や環境教育支援、都市部の保育園や幼稚園の園庭に身近な自然再生事業(ビオトープ整備)や体験学習支援活動に取り組んでいる	特になし。問合せください。事業者やNPO、NGO、学校、行政等様々なセクターと協働しています。	http://umisora.petit.cc/ facebook(海と空の約束プロジェクト) facebook(西谷寛)	〒673-0860 明石市朝霧東町1-5-31 西谷 寛 TEL:078-912-2080 090-1441-9571 E-mail:happy24tani@ybb.ne.jp

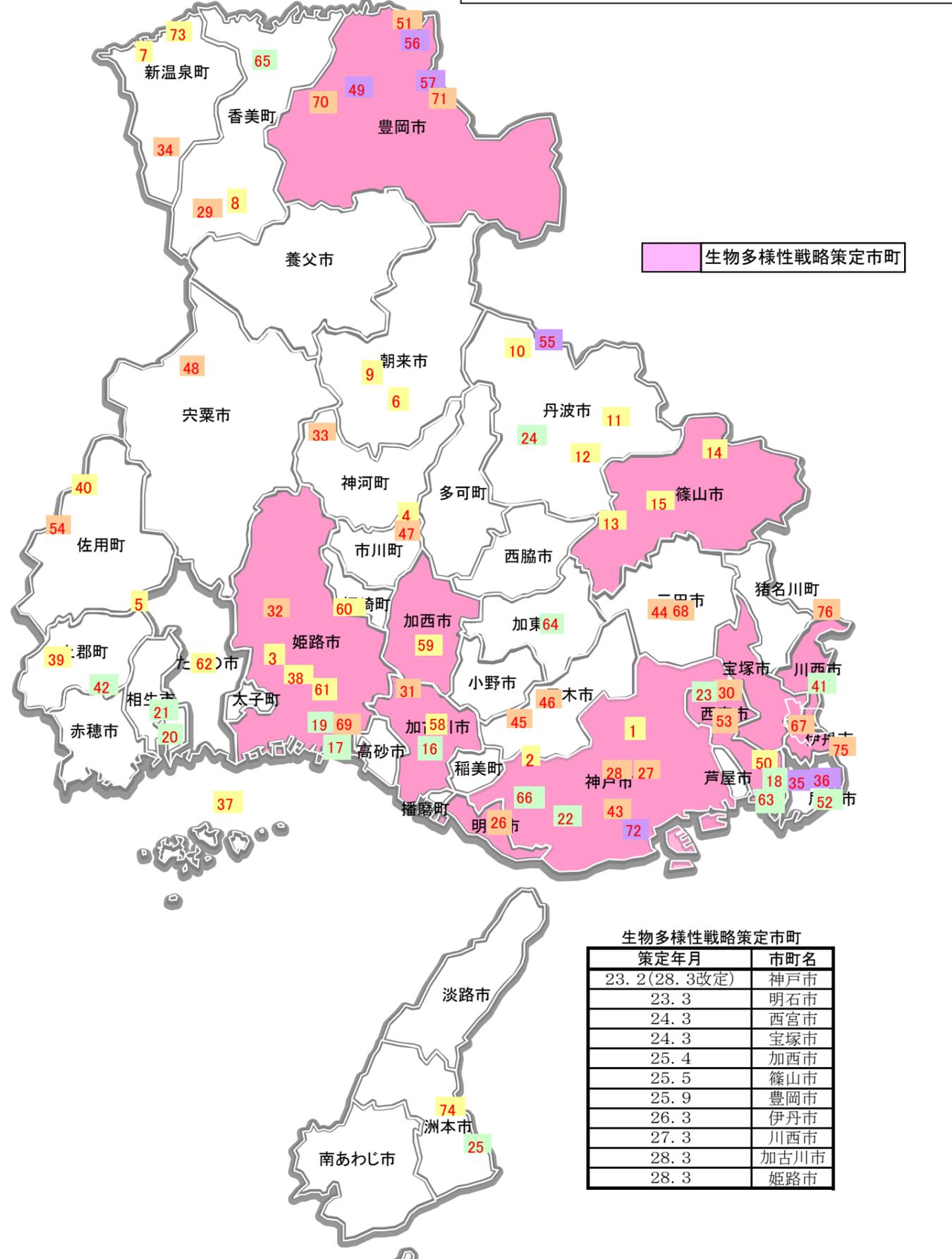
選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H26	阪神北	67	地域生態系の保全・再生	伊丹の自然を守り育てる会	40	昆陽池公園における生物多様性の再生・保全	伊丹市昆陽池公園他	<ul style="list-style-type: none"> ・都市化が進んだ伊丹市域において、昆陽池公園は貴重な緑のオアシスとして、市の生物多様性再生・保全活動のモデル地区となっている ・「伊丹の自然を守り育てる会」が中心となり、市や地元企業、学校などと連携し、3つの部会に分かれ活動を実施 ①森部会…公園の樹林帯の再生・管理 ②川部会…水路におけるホタルの飼育・管理 ③池部会…オニバス栽培育成、ヨシ原の再生 			〒664-0015 伊丹市昆陽池3-1 伊丹市昆虫館内 村上 敦子 TEL:072-785-3582 FAX:072-785-2306 E-mail:ge7n-skmt@asahi-net.or.jp
H26	阪神北	68	地域生態系の保全・再生	もりんちゅうの会	15	森を守り育む市民団体『もりんちゅうの会』	三田市すずかけ台、けやき台の公園及び周辺緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・けやき台のニュータウンを取り囲むけやき台公園や周辺緑地(動物達が動く獣道が全てに続いているエリア)で三田市と協定書を交わして活動 ・樹木を中心に生きもの調査を年間2回ずつ実施 ・草刈、枝打ち、除間伐活動や、ニュータウンの近隣住人、子供・老人も加わった竹伐り、樹木伐り及びその加工の手伝いなどを実施 	特になし	http://futakuchi.blog.fc2.com/	〒669-1321 三田市けやき台4-15-3 二口 力(ふたくち ちから) TEL:079-501-7823 090-5366-2311 FAX:079-501-7823 E-mail: futakuchi.chi@art.zaq.jp
H26	中播磨	69	地域生態系の保全・再生	日笠山のじぎく園	13	大塩地域におけるのじぎく保全育成	姫路市大塩町日笠山、夫婦岩、のじぎくの里公園	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年から日笠山を拠点として兵庫県花ののじぎく保存育成を主とした里山環境整備(4,000㎡)により、住民の憩いの場所として、豊かな里山を維持して、次世代に引継ぐ取組を実施 ・のじぎくを保存するための整地、苗づくり、草刈や里道・回遊路、温室、倉庫・休憩所・ベンチ等設備を整備 ・大塩小学校全生徒にのじぎく植栽・観賞の行事指導を実施したり、開花時には来山者から寄せられた俳句等を組み入れた手作り行燈を設置 ・放置された休耕田をのじぎくの移植により再生し、専用畑としている里山の環境維持に努めている 	大塩町周辺(的形町、高砂市)在住		〒671-0101 姫路市大塩町598 日笠山のじぎく園 山本 幸雄 TEL:079-254-0217 FAX:079-254-0217 E-mail:dr-nojigiku@meg.winknet.ne.jp
H26	但馬	70	地域生態系の保全・再生	神鍋山野草を愛でる会	52	神鍋高原の山野草1000種類 調査・保全・啓発活動	神鍋高原(豊岡市日高町)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬場を除く毎月2回の定例会として観察会を実施 ・希少種を含む山野草の生育調査を実施(神鍋高原をおよそ8エリアに分け、冬季を除きほぼ毎日踏破し、写真記録等で調査) ・調査した山野草の写真を神鍋高原 道の駅で常時展示 ・希少植物のシカ食害防止のため金網ボックスの設置 ・情報発信(県民局等が開催している自然環境の事例発表会・シンポジウム等で活動内容を発表) 			〒669-5373 豊岡市日高町東河内980 泉 鐘八郎 TEL:0796-20-1368 090-1227-6672 E-mail:izumis@leto.eonet.ne.jp
H26	但馬	71	地域生態系の保全・再生	六方めだか公園	15	豊岡六方田んぼにおけるめだかの住環境保全と、環境保護への提言活動	六方めだか公園及び下鉢山こうのとり遊園地(豊岡市)	<ul style="list-style-type: none"> ・1999年4月開園以来、連日開放、“参加型作業公園”として活動を展開(減反政策による休耕田を活用) ①環境教育活動として自然観察、自然体験教室、環境体験学習会を開催、自然学校、教員研究・研修に会場提供、②環境調査活動として、生きもの調査、水質調査、写真記録を継続、③環境保全活動として六方めだか公園40a、下鉢山こうのとり遊園地100aを管理、④普及活動として行政と協働で、子どもいきいき体験事業、野生復帰事業等を開催 	特になし		〒668-0865 豊岡市下鉢山字神主田120 岡本 邦夫 TEL:090-1024-3152 FAX:0796-27-0235

選定年度	地域	No	区分	団体名	会員数	プロジェクト名	活動場所	内容(概要)	活動参加資格等	URL	連絡先
H26	神戸	72	生物 環境の 創出・ 生育	兵庫運河を美しくする会	42	兵庫運河の自然を再生するプロジェクト	神戸市兵庫区 兵庫運河	<ul style="list-style-type: none"> 「兵庫運河を美しくする会」による清掃・環境改善活動及び周辺緑化、「兵庫運河真珠貝プロジェクト」によるアコヤガイを使った環境教育活動、兵庫漁業協同組合による「天然アサリの復活事業」などを実施 この3団体がコアとなり、地元自治会、婦人会、近隣の小中高等学校等とも協働し、兵庫運河全体の景観向上、環境改善、生態系の保全、生物多様性の向上を図っていく 	会員	http://www.hyougo-unga.jp/	〒652-0892 神戸市兵庫区東柳原町2-15 (株)水島酸素商会内 山下 邦人 TEL:078-651-1009 FAX:078-651-1039 E-mail:info@hyougounga.jp
H28	但馬	73	希少 種の 保全	長谷ロミツガシワ湿地保存会	35	長谷ロミツガシワ湿地の保全	久斗川流域、美方郡新温泉町二日市市字長谷口周辺	<ul style="list-style-type: none"> 2003年に最初のミツガシワ(Aランク)を発見、2012年に新たな群落を発見して以降、地元住民と協働し、ミツガシワ等の希少植物が生育する湿地の草刈りやゴミ拾い、シカ柵の設置及び点検、葦の抜き取り等、湿地の保全に取り組む 			〒669-6702 美方郡新温泉町浜坂1691 中澤 博子 TEL:0796-82-1408 FAX:0796-82-1408 E-mail: hilo.nakazawa@gmail.com
H28	淡路	74	希少 種の 保全	淡路島の自然を愛する会	40	淡路島の貴重・希少野生植物の保護・増殖	洲本市小路谷	<ul style="list-style-type: none"> 三熊山山麓南東部の一画に野生植物保護園を造設し、希少種を保護・増殖するとともに、希少種の自生地の保全に取り組む 放置竹林の伐採や樹木の単木択伐作業を行い、枝切り除去等で日照量を確保するなど、園内及び周辺の環境整備を実施 洲本市立図書館市民まつり等の市民向けイベントや島内の高校の文化祭等で希少植物の写真パネル等を展示し、希少植物の保全について普及啓発を図る 			〒656-0053 洲本市上物部2-9-8喜田剛史方 山崎 明男 TEL:0799-22-3978
H28	阪神南	75	地域 生態系 の 保全・ 再生	自然と文化の森協会	約60	尼崎市「自然と文化の森」における樹林や河川の生態系の保全	尼崎市園田地区(猪名川公園、猪名川・藻川周辺)	<ul style="list-style-type: none"> 尼崎市が策定した「自然と文化の森構想」の具体化を目指し、構想策定に携わった市民により団体を設立 兵庫県版レッドデータブック掲載の猪名川自然林(自然景観Bランク、植物群落Cランク)や猪名川、藻川(生態系Cランク)周辺において、市民が自然環境や生物を体感する活動として、参加者を募り行う樹林の手入れや外来種駆除、観察会等を実施 		http://morikyokai.sakura.ne.jp/	〒661-0982 尼崎市食満7-26-4 福本 吉雄 TEL:090-4030-3833 E-mail: hukumo08@bca.bai.ne.jp
H28	阪神北	76	地域 生態系 の 保全・ 再生	川西里山クラブ	53	川西市妙見の森における里山の若返り	川西市黒川奥滝谷(妙見ケーブル山上周辺)	<ul style="list-style-type: none"> 妙見山上の桜谷にエドヒガン群落(兵庫県版レッドデータブックBランク)を発見し、川西市の天然記念物指定に貢献 一番大きなエドヒガンの名称を市民に募集し、「出合いの妙桜」と命名 コナラの大木を伐採し跡地にクヌギを植樹するなど、里山の若返りを図り、維持管理を行うとともに、植樹や里山散策等の市民向けイベントを実施 小学生の「里山体験学習」の実施や、伐採木の利活用にも取り組む 	会員のみ	http://str1685.exbligg.jp/	〒666-0111 川西市大和東1-14-7 辻本 哲 TEL:072-794-3203 FAX:072-794-3203 E-mail: ppkj90364@maia.eonet.ne.jp

ひょうごの生物多様性保全プロジェクト

活動団体	プロジェクト名	主な活動場所
1 一般社団法人兵庫県自然保護協会神戸支部	オオサンショウウオ生息地保護・保全対策の試み	兵庫県及び大阪府北部地域(兵庫県に流入する各河川)
2 神戸山草会	難岡山のケスハマソウ保存・増殖他	神戸市西区神出町難岡山
3 林田にタガメの里をつくる会	林田にタガメの里をつくる会	姫路市林田町大堤、姫路市立伊勢自然の里環境学習センター内
4 岩戸里山と文化を守る会	岩戸神社境内及び、笠形山周辺の山野草を守る活動	岩戸神社及び笠形山周辺
5 兵庫県立大学付属高等学校自然科学部 生物班	スクールジーンファーム…守りたい 郷土の生物多様性と自然環境	校内および西播磨各農
6 特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所	オオサンショウウオが住める清流を未来へつなごう!	朝来市生野町黒川地内 日本ハンザキ研究所を中心とした二級河川市川周辺
7 田君川バイカモ保存会	田君川バイカモ保存会	新温泉町柳谷田君川谷橋周辺、田君川バイカモ公園
8 兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会	ウスイロヒョウモンモドキとオミナエシの咲く草原環境の保全	養父市及び、香美町(ハチ高原)
9 あさごササユリ21	朝来地域におけるササユリの保護・増殖	朝来市さのう高原、たたらぎダム湖周辺、伊由谷地域
10 丹波佐治川自然の会	加古川(佐治川)のバイカモ(兵庫県版レッドデータブック)復活作戦	加古川(佐治川)の丹波市青垣町流域
11 丹波地域のホトケドジョウを守る会	丹波地域のホトケドジョウを守る会	丹波地域(篠山市と丹波市)の細流河川と湿地帯
12 (公財)兵庫丹波の森協会	国産・オムラサキが舞う里山空間づくり	兵庫県立丹波の森公園、丹波地域の小学校18校区
13 篠山市サギソウ保存会	篠山市今田地域におけるサギソウ(兵庫県版レッドデータブック)の保護・増殖	篠山市今田地域
14 多紀連山のクワソウを守る会	多紀連山県立自然公園内におけるクワソウの自生地の保護・保全活動	篠山川源流台地及び溪流沿い周辺(篠山市畑)
15 南新町美しいまちづくりの会	篠山市南新町の竹林に羽ばたけ「オムラサキ」	篠山市南新町竹林群内
16 いなみ野ため池ミュージアム運営協議会	東播磨地域における水辺環境の保全・再生	東播磨地域に存する「ため池」「水路」等の水辺
17 兵庫県高等学校教育研究会生物部西播磨支部、兵庫県生物学会西播磨支部	よみがえれ 自然砂丘植生	姫路市福治海岸公園
18 NPO法人 海浜の自然環境を守る会	甲子園浜の生き物保全活動	西宮市甲子園浜
19 海のいのちクラブ	白浜海岸におけるアマモ場の再生と海浜植物の保護	白浜海岸周辺
20 あいおい播磨灘の里海づくり協議会	播磨灘における生物多様性を保全・再生しながら、地域の活性化につなげる里海づくり	相生湾を中心とした播磨灘西部沿岸域
21 相生湾自然再生学習会	カブトガニのいた美しい海に	播磨灘の相生湾周辺
22 伊川流域研究会	美しい里川「伊川」の環境を未来に伝えよう	伊川流域(神戸市西区)
23 山口・船坂校区青少年愛護協議会	ホタル保護活動	有馬川・船坂川の流域
24 TANBA OUTDOOR ECOLOGY	かこがわのみずべたんけん・エコツーリング	丹波市水上町加古川河川敷(本郷周辺部)
25 国立公園成ヶ島を美しくする会	成ヶ島由良湾におけるベントス調査とツーリング 由良生石研究村	生石、成ヶ島、由良湾、但し大阪湾限定
26 エコウィングあかし自然グループ	「水でつながる明石の自然」の調査及び保全、整備	明石全域(里山、ため池、海)
27 東お多福山草原保全・再生研究会	東お多福山におけるススキ草原の生物多様性の保全・再生	六甲山系東お多福山
28 ブナを植える会	六甲ブナの育樹	神戸市灘区の六甲山最高峰及び極楽茶屋跡の周辺
29 ナンシオン創造の森 育成会	鉢伏高原、県北西部におけるブナの植樹～育樹	兵庫県北西部の養父市、香美町、新温泉町
30 ナンシオン創造の森 研究会	西宮市塩瀬地区における【ナンシオン創造の森】の育成	東山台宅地に隣接する「ナンシオン創造の森」
31 行常しあわせの森つくり協議会	「竹林と樹林」を手入れし、「生きもの豊かな行常の里山」を創ろう!	加古川市志方町行常「行常の里山」
32 太市の郷	「ふるさと」の原風景 再生プロジェクト 太市の郷	姫路市太市地区の里山・里地、及び大津茂川流域(里川)
33 神河町川上集落	野草の咲き乱れるススキ草原の復活	砥峰高原
34 特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム	上山高原の貴重で豊かな生態系を育むブナを主体とした広葉樹林とススキ草原の保全・復元	兵庫県北西部に位置する新温泉町の南西部、氷ノ山後山那岐山国定公園にある上山高原
35 アマフォレストの会	尼崎中央緑地の生物多様な森づくり	尼崎市臨海部の中央緑地
36 尼崎南端グリーンワークス	阪神間工業地域での「すき間緑化」による環境創造のまちづくり	尼崎市南部を中心に広阪神地域
37 家島のささゆりを守り育てる会	地域の花「ささゆり」は家島の宝です	家島町宮海山:自生地、家島町西島:頂上石自生地、家島町真浦:加野増殖園
38 日本ななぐさの会	七草を中心とした日本文化の伝承と野草の研究及び保全活動	姫路・青山「福岡山・教専寺」
39 上郡中学校科学部	チヌヅルを通して安室川の自然を復活させる取組	上郡町安室川流域
40 佐用川のオオサンショウウオを守る会	オオサンショウウオの棲める水環境の保全	佐用川を中心とした千種川
41 流域ネットワーク名川	猪名川流域におけるネットワーク作りと外来種除去による在来種・貴重種の保全	猪名川流域
42 千種川圏域清流づくり委員会	夏の一番水温調査を中心とした、千種川の水環境および生物調査	千種川流域94地点
43 NPO法人ひょうごの森の倶楽部	ひょうごの豊かな森を守り、育てる活動	神戸市太子の森や川西市黒川地区など淡路島を除く県下全域20箇所(特定活動地ほか)
44 ごもくやさん	中央公園の自然を守る会「ごもくやさん」	三田市中央公園
45 県立三木山森林公園管理事務所	他に類を見ない生物多様性に富んだ公園づくり	県立三木山森林公園
46 NPO法人三木自然愛好研究会	川・池の水再生と地域の水草再生事業	三木市細川町増田(ふるさと公園中心)
47 NPO法人欄田LOVER's	ひょうごの欄田・生物多様性保全プロジェクト	神河町、市川町、香美町、佐用町、姫路市等の欄田や農村
48 特定非営利活動法人 WOOD NOTE	災害市生物と共存するまちづくり事業	災害市全域
49 NPO法人ひょうごエコ市民ネットワーク	大岡ゴルフ倶楽部敷地内におけるブナ育樹	豊岡市日高町大岡山
50 夙川に虫を増やそう会	夙川に虫を増やそう会	西宮市にある夙川の苦楽園口駅より、少し上流の辺り
51 桃島池の自然を考える会	ヒスマイトンボ	豊岡市城崎町の桃島池
52 特定非営利活動法人 尼崎21世紀の森	尼崎港・瀬河での生物(貝類・藻類等)を利用した水質浄化により生物が棲みやすい環境をつくる	尼崎港及び尼崎運河
53 西宮市きのこクラブOB会	夙川堤・甲山周辺の自然環境保全	夙川流域・甲山周辺
54 矢原山ホテルむら	矢原山ホテルむら	佐用町金子集落
55 江古花園運営委員会	江古花園・里山ふれあい「里山楽校」	丹波市青垣町東芦田 江古花園
56 コウトリ湿地ネット	円山川下流域におけるコウトリの生息環境づくり	円山川下流域内。主にハチゴウの戸島湿地、田結地区内の放棄田
57 NPO法人 コウトリ市民研究所	人と自然のつながりを作る	コウトリの郷公園(豊岡市祥雲寺)及び豊岡市内
58 加古川の里山・ギフチョウ・ネット	ギフチョウの生息できる里山の保全	加古川市北部
59 あびき湿原保存会	あびき湿原における湿原性動植物の保全活動	あびき湿原野生保護地区(加西市網引町地内)
60 ネイチャーはりま	ジャコウアゲハの自生地の保護と育成、里地里山の植物保全	姫路市山田町多田平田川流域と菊谷池周辺
61 ジャコウアゲハが飛び交う街「姫路」プロジェクト	姫路市を中心に中播磨全域	姫路市を中心に中播磨全域
62 NPO法人たつの・赤トンボを増やそう会	西・中播磨地域における赤トンボ(アカアカネ)の復活	たつの市を中心とした西・中播磨全域
63 浜・川・山の自然たんけん隊	御前浜・香櫛園浜での生物多様性保全プログラム	西宮市夙川河口の御前浜・香櫛園浜
64 やしろの森公園協会	やしろの森公園「ため池」再生プロジェクト	兵庫県立やしろの森公園内 ため池及び湿地
65 矢田川発地球環境グループ	再び、弁天淵の再生をめざして	矢田川(中流域)、特に弁天淵周辺(香美町)
66 海と空の約束プロジェクト	地域の生物多様性保全推進を図り、併せて暮らしの見直しから生物多様性を考えるためのわかりやすいESDや水辺環境保全を推進するプロジェクト	朝霧川(明石)流域、都賀川、生田川、福田川、伊川等(神戸市内)、神戸・明石・加古川・姫路・尼崎周辺等
67 伊丹の自然を守り育てる会	尾陽池公園における生物多様性の再生・保全	伊丹市尾陽池公園他
68 もりんちゅうの会	森を守り育てる市民団体「もりんちゅうの会」	三田市すずか4ヶ台、けやき台の公園及び周辺緑地
69 日笠山のじぎく園	大塩地域におけるのじぎく保存育成	姫路市大塩町日笠山、夫婦岩、のじぎくの里公園
70 神鍋山野草を愛でる会	神鍋高原の山野草1000種類 調査・保全・啓発活動	神鍋高原(豊岡市日高町)
71 六方めだか公園	豊岡六方田んぼにおけるめだかの環境保全と、環境保護への提言活動	六方めだか公園及び下鉢山こうのとり遊園地(豊岡市)
72 兵庫運河を美しくする会	兵庫運河の自然を再生するプロジェクト	神戸市兵庫区 兵庫運河
73 長谷口ミツガシワ湿地保存会	長谷口ミツガシワ湿地の保全	久斗川流域、美方郡新温泉町二日市宇長谷口周辺
74 淡路島の自然を愛する会	淡路島の貴重・希少野生植物の保護・増殖	洲本市小路谷
75 自然と文化の森協会	尼崎市「自然と文化の森」における樹林や河川の生態家の保全	尼崎市園田地区(猪名川公園、猪名川・瀬川周辺)
76 川西里山クラブ	川西市妙見の森における里山の若返り	川西市黒川奥滝谷(妙見ケーブル山上周辺)

生物多様性保全プロジェクト活動状況



ひょうごの生物多様性保全プロジェクト（分類別）

大分類	小分類	活動団体	プロジェクト名	主な活動場所
昆虫類	タガメ	林田にタガメの里をつくる会	林田にタガメの里をつくる会	姫路市林田町大堤、姫路市立伊勢自然の里環境学習センター内
	チョウ	兵庫ウスイロヒヨウモンモドキを守る会	ウスイロヒヨウモンモドキとオミナエシの咲く草原環境の保全	養父市及び・香美町(ハチ高原)
		(公財)兵庫丹波の森協会	国蝶・オオムラサキが舞う里山空間づくり	兵庫県立丹波の森公園、丹波地域の小学校18校区
		南新町美しいまちづくりの会	篠山市南新町の竹林に羽ばたけ「オオムラサキ」	篠山市南新町竹林群内
		加古川の里山・ギフチョウ・ネット	ギフチョウの生息できる里山の保全	加古川市北部
	トンボ	ネイチャーほりま	ジャコウアゲハの自生地の保護と育成、里地里山の植物保全	姫路市山田町多田平田川流域と菊池池周辺
		ジャコウアゲハが飛び交う街姫路連絡協議会	ジャコウアゲハが飛び交う街「姫路」プロジェクト	姫路市を中心に中播磨全域
	ホタル	桃島池の自然を考える会	ヒスマイトトンボ	豊岡市城崎町の桃島池
		NPO法人たつの・赤トンボを増やそう会	西・中播磨地域における赤トンボ(アキアカネ)の復活	たつの市を中心とした西・中播磨全域
		夙川に蛍を増やそう会	夙川に蛍を増やそう会	西宮市にある夙川の音楽園口駅より、少し上流の辺り
鳥類	コウノトリ	コウノトリ湿地ネットワーク	円山川下流域内。主にハチゴロウの戸島湿地、田結地区内の放棄田	
	渡り鳥	NPO法人 海浜の自然環境を守る会	甲子園浜の生き物保全活動	西宮市甲子園浜
両生類	オオサンショウウオ	一般社団法人兵庫県自然保護協会神戸支部	オオサンショウウオ生息地保護・保全対策の試み	兵庫県及び大阪府北部地域(兵庫県に流入する各河川)
	特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所	オオサンショウウオが住める清流を未来へつなごう!	朝来市生野町黒川川内 日本ハンザキ研究所を中心とした二級河川市川周辺	
魚類	特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所	オオサンショウウオを守る会	オオサンショウウオの棲める水環境の保全	佐用川を中心とした千種川
	丹波地域のホトケドジョウを守る会	丹波地域のホトケドジョウを守る会	丹波地域のホトケドジョウを守る会	丹波地域の(篠山市と丹波市)の細流河川と湿地帯
植物保護	ススキ	東お多福山草原保全・再生研究会	東お多福山におけるススキ草原の生物多様性の保全・再生	六甲山系東お多福山
	神河町川上集落	野草の咲き乱れるススキ草原の復活	砥峰高原	
	特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム	上山高原の貴重で豊かな生態系を育むブナを主体とした広葉樹林とススキ草原の保全・復元	兵庫県北西部に位置する新温泉町の南西部、氷ノ山後山那岐山国定公園にある上山高原	
	神戸山草会	雌岡山のケスハマソウ保存・増殖他	神戸市西区神出町雌岡山	
	岩戸里山と文化を守る会	岩戸神社境内及び、笠形山周辺の山野草を守る活動	岩戸神社及び笠形山周辺	
	兵庫県立大学付属高等学校自然科学部 生物班	スナールジーンファーム...守りたたい 郷土の生物多様性と自然環境	校内および西播磨各置	
	田君川バイカモ保存会	田君川バイカモ保存会	新温泉町柳谷田君川谷橋周辺、田君川バイカモ公園	
	あさごササユリ21	朝来地域におけるササユリの保護・増殖	朝来市ささの高原、たたらぎダム湖周辺、伊由谷地域	
	丹波佐治川自然の会	加古川(佐治川)のバイカモ(兵庫県版レッドデータブックBランク)復活作戦	加古川(佐治川)の丹波市青垣町流域	
	篠山市サギソウ保存会	篠山市今田地域におけるサギソウ(兵庫県版レッドデータブックBランク)の保護・増殖	篠山市今田地域	
多紀連山のクンソウを守る会	多紀連山県立自然公園内におけるクンソウの自生地の保護・保全活動	篠山川源流台地及び浜流治い周辺(篠山市畑)		
海のいのちクラブ	白浜海岸におけるアマモ場の再生と海浜植物の保護	白浜海岸周辺		
家島のささゆりを守り育てる会	地域の花「ささゆり」は家島の宝です	家島町宮海山:自生地、家島町西島:頂上石自生地、家島町真浦:加野増殖圃		
日本ななくさの会	七草を中心とした日本文化の伝承と野草の研究及び保全活動	姫路・青山「稲岡山・教寺寺」		
上郡中学校科学部	チヌヅリを通して安室川の自然を復活させる取組	上郡町安室川流域		
江古花園運営委員会	江古花園・里山ふれあい「里山楽校」	丹波市青垣町東芦田 江古花園		
目笠山のじぎく園	大塩地域におけるのじぎく保存育成	姫路市大塩町目笠山、夫婦岩、のじぎくの里公園		
神鍋山野草を愛する会	神鍋高原の山野草1000種類 調査・保全・啓発活動	神鍋高原(豊岡市日高町)		
長谷ロミツガシワ湿地保存会	長谷ロミツガシワ湿地の保全	久斗川流域、美方郡新温泉町二日市市長谷口周辺		
淡路島の自然を愛する会	淡路島の貴重・希少野生植物の保護・増殖	洲本市小路谷		
森林管理	ブナを植える会	六甲ブナの青樹	神戸市灘区の六甲山最高峰及び極楽茶屋跡の周辺	
	ナシオン創造の森 育成会	鉢伏高原、県北西部におけるブナの植樹～青樹	兵庫県北西部の養父市、香美町、新温泉町	
	NPO法人ひょうご森の倶楽部	ひょうごの豊かな森を守り、育てる活動	東山台宅地に隣接する【ナシオン創造の森】	
	ごもくやさん	中央公園の自然を守る会「ごもくやさん」	神戸市太子の森や川西市黒川地区など淡路島を除く県下全域20箇所(の固定活動地)ほか	
	NPO法人ひょうごエコ市民ネットワーク	大岡ゴルフ倶楽部敷地内におけるブナ青樹	三田市中央公園	
	もりんちゅうの会	森を守り育む市民団体「もりんちゅうの会」	豊岡市日高町大岡山	
	川西市妙見の森における里山の若返り	川西市妙見の森における里山の若返り	三田市すずかけ台、けやき台の公園及び周辺緑地	
	エコウイングあかし自然グループ	「水でつながる明石の自然」の調査及び保全、整備	川西市黒川奥滝谷(妙見ケーブル山上周辺)	
	行常しあわせの森づくり協議会	「竹林と樹林」を手入れし、「生きもの豊かな行常の里山」を創ろう!	明石全域(里山、ため池、海)	
	太市の郷	「ふるさとの原風景再生プロジェクト」太市の郷	加古川市志方町行常「行常の里山」	
陸域環境保全	アマフォレストの会	尼崎中央緑地の生物多様な森づくり	姫路市太市地区の里山・里地、及び大津茂川流域(里川)	
	尼崎南部グリーンワークス	阪神間工業地域での「すき間緑化」による環境創造のまちづくり	尼崎市臨海部の中央緑地	
	県立三木山森林公園管理事務所	他に類を見ない生物多様性に富んだ公園づくり	尼崎市南部を中心に広く阪神地域	
	NPO法人三木自然愛好研究会	川・池の水再生と地域の水草再生事業	県立三木山森林公園	
	NPO法人棚田LOVER's	ひょうごの棚田・生物多様性保全プロジェクト	三木市細川町増田(ふるさと公園中心)	
	特定非営利活動法人 WOOD NOTE	宍粟市生物と共存するまちづくり事業	神河町、市川町、香美町、佐用町、姫路市等の棚田や農村	
	西宮市きのこクラブOB会	夙川堤・甲山周辺の自然環境保全	宍粟市全域	
	あびき湿原保存会	あびき湿原における湿原性動植物の保全活動	夙川流域・甲山周辺	
	やしろの森公園協会	やしろの森公園「ため池」再生プロジェクト	あびき湿原野生保護地区(加西市網引町内)	
	伊丹の自然を守り育てる会	昆陽池公園における生物多様性の再生・保全	兵庫県立やしろの森公園内 ため池及び湿地	
自然と文化の森協会	尼崎市内「自然と文化の森」における樹林や河川の生態系の保全	伊丹市昆陽池公園他		
いなみ野ため池ミュージアム運営協議会	東播磨地域における水辺環境の保全・再生	尼崎市園田地区(猪名川公園、猪名川・瀬川周辺)		
水辺環境保全	兵庫県高等学校教育研究会生物部西播磨支部、兵庫県生物学会西播磨支部	よみがえれ 自然砂丘植生	東播磨地域に存する「ため池」「水路」等の水辺	
	あいおい 播磨灘の里海づくり協議会	播磨灘における生物多様性を保全・再生しながら、地域の活性化につなげる里海づくり	姫路市福泊海岸公園	
	相生湾自然再生学習会	カプトガニのいた美しい海に	相生湾を中心とした播磨灘西部沿岸域	
	伊川流域研究会	美しい里川「伊川」の環境を未来に伝えよう	播磨灘の相生湾周辺	
	TANBA OUTDOOR ECOLOGY	かごわのみず・たんけん・エコツーリング	伊川流域(神戸市西区)	
	国立公園成ヶ島を美しくする会	成ヶ島由良湾におけるベントス調査とソーティング 由良生石研究村	丹波市氷上町加古川河川敷(本郷周辺部)	
	流域ネットワーク	猪名川流域におけるネットワーク作りと外来種除去による在来種・貴重種の保全	生石、成ヶ島、由良湾、但し大阪湾限定	
	千種川圏域清流づくり委員会	夏の一番水温調査を中心とした、千種川の環境および生物調査	猪名川流域	
	特定非営利活動法人 尼崎21世紀の森	尼崎港・運河での生物(貝類・藻類等)を利用した水質浄化により生物が棲みやすい環境をつくる	千種川流域94地点	
	浜・川・山の自然たんけん隊	御前浜・香櫛園浜での生物多様性保全プログラム	尼崎港及び尼崎運河	
矢田川発地球環境グループ	再び、弁天淵の再生をめざして	西宮市夙川河口の御前浜・香櫛園浜		
兵庫運河を美しくする会	兵庫運河の自然を再生するプロジェクト	矢田川(中流域)、特に弁天淵周辺(香美町)		
普及啓発	海と空の約束プロジェクト	地域の生物多様性保全推進を図り、併せて暮らしの見直しから生物多様性を考えるためのわかりやすいESDや水辺環境保全を推進するプロジェクト	神戸市兵庫区 兵庫運河 朝霧川(明石)流域、都賀川、生田川、福田川、伊川等(神戸市内)、神戸・明石・加古川・姫路・尼崎周辺等	

3 県・市町・NPOの取組

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

(○:県 ●:市町)

空間／カテゴリー	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
森林	<p>○森林林業技術センター・森林動物研究センターによる取組</p> <p>①森林整備箇所について、表土の移動状況、植生の回復状況、生物多様性の回復状況を調査</p> <p>○森林基幹道千町・段ヶ峰線猛禽類調査</p> <p>①イヌワシ等猛禽類定点観測調査等</p> <p>●(神戸)六甲山溪流調査(水質、水生生物)</p> <p>●(西宮)広田山公園自然調査(H24)</p> <p>●(西宮)北山などにおける自然環境調査(H26)</p> <p>●(西宮)鷲林寺などにおける植生分析および現存植生図作成(H26)</p> <p>●(西宮)越水字社家郷山における自然調査(H26)</p> <p>●(西宮)景観樹林保護地区「生瀬万燈籠山林」周辺における自然環境調査(H27)</p> <p>●(西宮)船坂谷自然調査(H28)</p> <p>●(西宮)名塩ダム周辺自然調査(H28)</p> <p>●(西宮)名塩山荘・名塩ガーデン南側斜面自然調査(H28)</p>	<p>●(姫路)ひめじの保存樹</p>	<p>○新ひょうごの森づくり</p> <p>○災害に強い森づくり</p> <p>○県営林道事業の種子配合方針</p> <p>①使用可能な種子の指定と外来種子等の使用制限</p> <p>○溪流環境整備計画</p> <p>①溪流の利用方法や環境面で配慮すべき点を整理</p> <p>○六甲山系グリーンベルト整備基本方針</p> <p>○森のゼロエミッション構想</p> <p>●(神戸)六甲山森林整備戦略(H24)</p> <p>●(多可)木の香る環境整備促進事業マスタープラン(旧町)(H13)</p> <p>●(篠山)篠山市ふるさとの森づくり構想</p> <p>①地域住民をはじめ多様な主体の参画による森づくりを推進するため、平成26年に策定</p>	<p>○溪流環境等保全・整備</p> <p>①砂防施設の間伐材利用による山地の荒廃防止</p> <p>○生物移動空間の連続性確保</p> <p>①スリット型砂防えん堤の採用</p> <p>○山地防災対策の推進</p> <p>①谷止工、山腹工による山腹斜面の安定化</p> <p>○山地防災対策の推進</p> <p>①本数調整伐による森林整備</p> <p>○森林管理100%作戦</p> <p>①間伐の必要な45年生以下のスギ・ヒノキ人工林について、公的管理による間伐を実施</p> <p>○里山林の再生</p> <p>①集落周辺の里山で、地域住民等が行う森林整備活動や必要な資機材導入に対する支援を実施</p> <p>○緊急防災林整備</p> <p>①危険溪流の人工林において、間伐木を利用した土留工の設置、谷筋での災害緩衝林整備や簡易流木止め施設の設置等を実施</p> <p>○針葉樹林と広葉樹林の混交整備</p> <p>①46年生以上の高齢人工林の部分伐採を促進し、広葉樹を植栽して水土保全能力の向上を図る</p> <p>○里山防災林整備</p> <p>①集落の裏山を対象にした森林整備に併せて、簡易な防災施設(柵工等)の設置や歩道整備を実施</p> <p>○野生動物共生林整備</p> <p>①人家等に隣接した森林のすそ野に人と野生動物の棲み分けゾーンを設け、奥地森林に餌場となる広葉樹林を造成</p> <p>○住民参画型森林整備</p> <p>①地域住民やボランティア等による自発的な森林整備活動に対し、資機材等を支援</p> <p>○都市山防災林整備</p> <p>①六甲山系の森林において、防災機能強化のための森林整備や土留工の設置等を実施</p> <p>○広葉樹林化促進パイロット事業</p> <p>①スギ・ヒノキ等の人工林を小面積で群状に伐採し、広葉樹を植林して、多様な森林の整備を実施</p> <p>○保安林の指定と森林の適正な保全</p> <p>①保安林や林地開発許可制度の適切な運用により、伐採跡地への植栽指導や、適正な森林開発へ誘導することで、森林の公益的機能を保全</p> <p>○六甲山系グリーンベルト整備事業</p> <p>①従来のコンクリートを主体にした施設整備を最小限にし、良好な樹林による面的な整備を行うことにより土砂災害を防止する事業であり、良好な環境や景観の保全に寄与</p>	<p>○体験学習インストラクターの育成</p> <p>①子供達に身近な自然の大切さ、豊かな食を支える農林業の大切さ等を伝える体験学習インストラクターを育成</p> <p>○「緑の少年団」活動推進</p> <p>①森林観察会や木工教室などを通じて、緑を守り育てる大切さを学習</p> <p>○森林ボランティア育成</p> <p>①「森林ボランティア講座」等により森林ボランティアの育成と活動支援</p> <p>○「ひょうご森のまつり」、「ひょうご森の日」関連イベントの開催</p> <p>①県民が森の働きや森林整備の大切さを理解深める機会を創出</p> <p>●(神戸)こうべ森の小学校による市民参加による森づくり(H9～)</p> <p>●(姫路)学校林育成体験事業</p> <p>●(猪名川)小学校区単位で里山を整備</p> <p>●(多可)多可町なかやちよの森公園(里山)に関するグループ活動・水辺生き物調査・那珂ふれあい館(森の工作イベント)</p> <p>●(篠山)子ども樹木博士養成講座</p> <p>①市内児童・幼稚園児を対象に、里山と触れ合うきっかけをつくるため、森林インストラクターによる講座を開講</p> <p>●(篠山)里山スクール</p> <p>①市民を対象に、里山や森林の整備に必要な基礎的な知識や技術を取得する講座を開講</p>	<p>○県民緑税</p> <p>①県民共通の財産である「緑」の保全・再生を社会全体で支え、県民総参加で取り組む仕組みとして創設</p>

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

空間／カテゴリー	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
森林				<p>○ナラ枯れ被害の拡大防止 ①ナラ枯れ被害木の伐倒駆除等の被害対策を実施 ○自然活用型野外CSR事業 ①環境保全の体験学習プログラム ②ボランティアによる森の保全活動 ●(神戸)神戸市市民による里山保全活動助成事業(H23～) ●(加西)里山林整備における里山林整備機器の貸出 ●(篠山)竹粉碎機の貸し出し ①放置竹林対策として、整備に取り組む団体に竹粉碎機を無料で貸し出している。 ●(篠山)里山彩園事業 ①地域住民が主体となって取り組む里山整備を補助金により支援している。 ●(篠山)広葉樹林化促進のための人工林皆伐モデル事業補助金 ①健全な森林環境の再生による多面的機能の発揮のため、針葉樹人工林の広葉樹林化作業を補助金により支援している</p>		

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

空間／カテゴリー	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
河川・湿原	<p>○ひょうごの川・自然環境調査アトラス・診断図</p> <p>①県内河川の自然環境調査を行い、環境保全をしながら治水対策を推進するための基礎調査を調査・整理する。</p> <p>○ひょうご情報公園都市の貴重種保全調査</p> <p>①カワバタモロコの移植と生息状況調査</p> <p>●(神戸) 公共用水域における水生生物調査(指標生物による水質等級の確認)</p> <p>●(西宮) 塩瀬湿地等の自然調査</p> <p>●(三田) 三田市血池湿原生態系調査(平成28年度)</p> <p>●(加西) あびき湿原生物相等調査</p>		<p>○「人と自然の川づくり」</p> <p>①「治水・利水」「水文化・景観」「生態系」「親水」を4つの柱として人と自然が共生する川づくりを推進</p> <p>②河川・砂防事業における環境と調和のとれた多自然型工法の採用</p> <p>○ひょうご・人と自然の川づくり推進方策</p> <p>○河川整備基本方針、河川整備計画の策定</p> <p>①治水・利水・環境を軸として、将来の目指すべき川の姿を定める「河川整備基本方針」、今後20～30年の具体的な整備計画を定める「河川整備計画」を策定</p> <p>○流域水環境保全創造指針</p> <p>●(三田) 三田市血池湿原保全活動計画策定(H28年6月策定)</p> <p>●(篠山) ささやま川・水路づくり指針</p> <p>①生態系に配慮した河川・水路整備を推進するため、平成25年に策定</p>	<p>○貴重な藻類の生育環境創出</p> <p>①自然石で専用の水路整備によるバイカモの再生(丹波市)</p> <p>○貴重動物の保護、河川環境の創出</p> <p>①オオサンショウウオの保護対策、河岸護岸の空隙確保等</p> <p>○魚類等の生態系対策</p> <p>①魚道の設置による魚介類の遡上対策</p> <p>○護岸整備における植生回復</p> <p>①緩勾配、ブロックマットの採用</p> <p>○動植物に配慮した護岸の採用</p> <p>①事前調整会議(専門家を含む)を開催</p> <p>○生物にやさしい川づくり</p> <p>①鮎屋川流域のホテルや生物への配慮</p> <p>○コウノトリをシンボルとした地域づくり(円山川水系における生態系の多様性の保全・再生・創出)</p> <p>①湿地帯の創出、河川の再自然化、河川と水路の連続性確保のためのひ門の改修</p> <p>○親水空間の整備</p> <p>①せせらぎ水路等</p> <p>○秋里川のホテル生息環境の保全</p> <p>①災害関連整備事業と合わせて、ホテル水路の整備を行う</p> <p>○谷山川まちの顔の川づくり</p> <p>①地域住民と計画を作成し、水生生物などの貴重種を保護しながら、利活用しやすい河川環境の整備を行う</p> <p>○上流武庫川治水事業</p> <p>①在来土の利用等、自然を生かした治水対策を行う</p> <p>●(三田) 三田市血池湿原保全管理事業(H26年度～)</p> <p>●(神戸) 河川緑地軸の整備、多自然型川づくり(H13～)</p> <p>●(姫路) 多自然川づくりの推進</p> <p>●(明石) 河川美化事業</p> <p>●(豊岡) コウノトリ基金を活用したビオトープ水田管理委託事業の実施(H21～)</p> <p>●(豊岡) 出張たんぼの学校事業の実施(地区での生きもの調査会への講師派遣)</p> <p>●(豊岡) ラムサール条約湿地登録関連事業の実施(H23～)</p> <p>●(豊岡) 第5回コウノトリ未来・国際かいぎの開催(H26～)</p> <p>●(豊岡) ハチゴロウの戸島湿地整備及び管理事業</p> <p>●(加西) 野生生物保護地区整備補助金</p> <p>①市の指定する野生生物保護地区の保全活動に資する活動を行う団体に対して補助金を交付する。</p> <p>●(篠山) ふるさとの川再生事業</p> <p>①河川の生物・環境調査をおこない、生態系に配慮した護岸改修や落差の解消、魚道等を設置</p>	<p>○県土を学ぼう！キッズプロジェクト、社会基盤学習プログラム</p> <p>①小学校の総合的な学習の時間などにおいて、小学生が自分たちの住む町の河川、道路、港湾などの社会基盤を、体験を通して学習し、社会基盤がどのように日常生活に役立っているかを理解し、次代の社会基盤のあり方を考え、ひいては「地域を思いやる気持ちを育む」ことをねらいとしている。(生物観察、清掃等)</p> <p>○出前講座</p> <p>①各県民局ごとに県の行政や地域の現状などについて理解を深めてもらうことを目的とした出前講座を開催する。(日出坂あらいげき、青野ダム多自然型魚道、但馬の河川等)</p> <p>○明石川タビークラブ</p> <p>①地域の河川愛護団体と協働し、河川に親しみ河川愛護に参画する団体や個人を拡大する。</p> <p>○安室川自然再生事業</p> <p>①チスジリをシンボルとして、地域地域住民とともに川底をきれいにし、瀬・淵・湧水を再生するなど河川環境の再生を行う。</p> <p>○田君川バイカモ保全</p> <p>①地域住民とともにバイカモ保全を行い、アドプト事業により草刈り等の維持管理を地域住民が行っている。</p> <p>●(神戸) こうべエコちやれゼミ</p> <p>●(神戸) 神戸市市民水辺連絡会等による活動の支援(S56～)</p> <p>●(姫路) 出前講座(見つけよう！川の生きものたち)の開催</p> <p>●(豊岡) 小学校の生きもの調査授業(ビオトープ・水田・河川などH21～)</p> <p>●(豊岡) コウノトリKIDSクラブ(H22～)</p> <p>●(篠山) 川の生き物観察会の開催</p>	

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

空間／カテゴリ	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
田園・里地里山	<ul style="list-style-type: none"> ●(明石)ため池水質調査(H20・H22) ●(加西)ため池の外來種調査(H24～) ●(加東)ため池の生物多様性環境の調査(H24) ●(篠山)カエル調査 <p>①農地の生態系に関する基礎情報の収集と普及啓発を目的に、多面的機能支払交付金事業の共同活動の一環で、活動組織によるカエル調査を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●(明石)ため池水質調査報告書(H20・H22) ●(加東)加東のため池(H24) ●(多可)北はりま魅力探訪紀行(一～七)(NPO法人 北はりま田園空間博物館発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○兵庫県ため池整備構想 ●(篠山)農村環境の生態系保全に配慮した水路整備指針 ①農業用水路・排水路の生態系への配慮のため、平成28年度に策定、30年に改訂した。配慮手法・工法の概要や設計のポイント、施工時の留意点、維持管理方法について整理 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然活用型野外CSR事業 ①環境保全の体験学習プログラム ②ボランティアによる森の保全活動 ○生きもの共生する農業の拡大 ①「環境創造型農業推進事業」の創設により、水田の生きものを育む農法を推進 ○農地・水・環境保全向上対策への取組 ①農地・農業用水等や農村環境を守り質を高める地域協働の取組と環境保全に向けた先進的な営農活動の支援 ②地域住民が参加した水路清掃活動や小学生による生物調査を支援 ○適正な農業使用の推進 ①農業使用量を減らすために、適期防除の実施、生物的、物理的防除と組み合わせた効率的・効果的な病虫害防除を推進 ○環境に配慮した農業生産方式の面的拡大 ①有機質資材による土づくりと、化学合成肥料・農薬の使用低減を一体的に行う技術を確立し、普及 ○遊休農地、スキー場等での牛の放牧 ①遊休農地等での放牧により飼料自給率の上昇を図る ○環境に配慮した農地整備の推進 ①農地整備にあたって、水生生物の生息環境となるビオトープ水路や、水路と水田をつなぐ水田魚道の設置 ○魅力ある農山漁村をめざす多彩な田園空間の整備 ①多様な生物が生息できるため池や水路の自然再生整備、文化的景観となっている棚田の整備等 ○コウノトリ野生復帰推進 ①水田魚道の設置や水路落差部の解消、中干し時の生物退避場所の設置 ②減農薬栽培や中干し延期など ○農業農村環境配慮検討委員会 ①農業農村整備の実施前に専門家の意見を伺い事業計画に反映 ○希少種の保護 ①工事実施時に在来の希少種を一時的に移植し工事完了後に再移植 ○生態系に配慮した水路の整備 ①水路の蛇行や深み、魚巣を創設するなど生物の生息環境の確保 ○法面の在来植生の保護 ①法面表土の再利用や既存植物の種の採取植え付けすることにより工事前の植生を維持 ○ため池クリーンキャンペーン ①ため池の清掃活動や池干しの実施 ○市民農園整備の促進 ①遊休農地等を活用した市民農園の整備 ○里山林の再生 ①荒廃が進んでいる里山林の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国ため池フォーラム ①ため池の環境保全の必要性の啓発 ○ひょうご水土里のふるさとフォーラム ①農地・水・環境保全向上対策の優良地区の表彰 ○兵庫県民農林漁業祭 ①農地・水・環境保全向上対策の事例紹介や水辺の生き物展示による生態系保全の啓発 ○田んぼの生き物調査 ①田んぼの水路に生息する生物種の調査 ○都市と農山漁村の交流促進 ①都市農村交流バスの運行支援や、都市農村交流体験施設の情報提供 ○農林漁業体験学習の推進 ①小中学校を対象に、農林水産業を教材とする体験学習の機会を提供 ○ボランティアの参画による農山漁村の保全活動の推進 ①農作業や草刈り等の棚田保全活動や、水路・農道の管理を行うボランティア活動を支援 ●(神戸)里山整備事業の支援(H8～) ●(姫路)田んぼの学校の開催 ●(加西)ため池フォーラム(H19) ●(猪名川)小学校区単位で里山を整備 ●(稲美)新井大池ため池協議会 ①大池周辺の美化、環境保全、遊歩道の安全啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊休農地の発生防止 ①集落ぐるみで農業維持、農用地の管理などを実践する地域に対して、生産条件の不利を補正する交付金を支払い ●(加西市)里山整備補助 ●(加東)加東市地域農業活性化ビジョン(H30(2018)～H39(2027))

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

空間／カテゴリー	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
田園・里地里山	<p>○ため池コウノトリプロジェクト ●(西宮)塩瀬町名塩ため池周辺自然調査(H29) ●(西宮)重要里地里山自然調査(H29) ●(西宮)甲山周辺ナラ枯れ被害林植生調査(H29) ●(稲美)新井大池ため池協議会 ①魚つり大会での水生生物調査</p>	<p>●(稲美)新井大池ため池協議会 ①大池だよりの発行</p>	<p>○ため池コウノトリプロジェクト(H28～H29) ●(西宮)甲山グリーンエリア地域連携保全活動計画</p>	<p>○里山防災林整備 ①急傾斜等の集落裏山を対象に、森林整備と簡易土留工を設置 ○廃棄物系バイオマスの適正利用の推進 ①食品廃棄物や、木質系廃棄物、集落排水施設からの汚泥の再利用により再生利用率の向上を図る ○未利用系バイオマスの適正処理の推進 ①木質系(間伐材)や農産物系(もみ殻)等の未利用系バイオマスについて有効利用を推進する ○廃棄資材の利活用の推進 ①農業用プラスチックや漁網・のり網などの廃棄物資材の回収・利活用に取り組んでいる ○ため池コウノトリプロジェクト(H30～) ○ため池ふるさと教育プログラムの実践(H27～H32) ○外来生物防除活動支援事業 ○里と海の連携協働による豊かな海の再生プロジェクト ●(神戸)「人と自然との共生ゾーンの指定等に関する条例」に基づく里山の整備・保全・活用等(H4～) ●(姫路)農用地の保全 ●(明石)里山整備 ●(明石)ため池クリーンキャンペーンの実施 ●(たつの)三世交流の場「田んぼの学校」の開催 ●(小野)圃場整備事業によるビオトープの設置 ●(篠山)休耕田のビオトープ整備 ●(篠山)生態系に配慮した水路整備 ①多面的機能支払交付金事業による水路整備にあたって、生物調査をおこない、生態系に配慮した水路整備を進めている。 ●(篠山)ふるさとの自然や景観を守り育てる協定 ①指針や配慮工法に関する研修会を開催し、市内の土木事業者と協定を締結している。生態系に配慮した水路整備等をおこなう際は、協定締結業者と協力して進めている。 ●(篠山)ビオトープの整備、維持管理 ①休耕田や江に通年湧き出し、水生生物の生息環境を保全する活動を補助金により支援している。 ●(稲美)新井大池ため池協議会 ①大池周辺及び内部のクリーンキャンペーン ②「古宮大池たんけん隊」としてクリーンキャンペーンと同時にため池の水質や生息する生物等のクイズを行う。 ●野生生物保護地区整備補助金 ①市の指定する野生生物保護地区の保全活用に資する活動を行う団体に対して補助金を交付する。</p>		

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

空間／カテゴリー	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
沿岸・海岸	●(西宮)御前浜香爐園浜自然環境調査(H25)	●(神戸)生物データベース	<p>○海岸保全基本計画</p> <p>①海岸法の対象となる区域における海岸保全施設の整備と海岸管理に関する基本的事項を定め、県下沿岸域における海岸整備にあたり、環境に配慮した整備を推進</p> <p>○瀬戸内なぎさ回廊づくり構想</p> <p>①県下の瀬戸内海沿岸域を対象地域とし、主に人となぎさ域の関わりを取りまとめているが、生態系の視点からみた森川海の諸施策の連携として、なぎさ域における生態系の保全、再生に対する取組を推進</p> <p>○港湾計画</p> <p>①管理港湾における整備、運用等の計画</p> <p>○尼崎21世紀の森構想</p> <p>①尼崎臨海地域において、自然環境の回復・創造による環境共生型のまちづくりをめざす</p> <p>○尼崎の森中央緑地基本計画</p> <p>①中央緑地の整備計画であり、「地域を育てる森」をめざすことを基本理念とする</p> <p>○瀬戸内海の環境保全に関する兵庫県計画</p> <p>○瀬戸内環境創造ビジョン</p> <p>○海岸漂着物対策推進地域計画</p>	<p>○海に親しむ憩いの空間の創出</p> <p>①新しい海浜地や海辺のプロムナードの整備</p> <p>○生態系の保全</p> <p>①人工海浜、人工磯等の再生</p> <p>○藻場の造成など漁場環境の改善</p> <p>①漁場環境改善のため、産卵親魚や稚魚などを保護・育成する増殖場等を造成</p> <p>○管理港湾の整備</p> <p>①港湾緑地の整備</p> <p>○管理沿岸域の整備</p> <p>①養浜、緩傾斜護岸採用、磯場の創出</p> <p>○港湾・海岸域での環境への取組み</p> <p>①尼崎シーブルー事業 尼崎運河の水質改善に取組む</p> <p>②あらい浜風公園の整備 東播磨港の高砂地区における港湾緑地整備(親水池等)</p> <p>③田之代海岸の整備 主に海水浴場の整備を進め、養浜・人工リーフを設置。磯場も整備</p> <p>○海岸漂着物地域対策推進事業</p> <p>●(明石)海岸環境美化事業</p> <p>●(明石)水質環境監視事業</p> <p>●(明石)下水道浄化センターでの放流、水質規定値内での豊かな海づくりの推進</p>	<p>●(相生)あいおい播磨灘の里海づくり協議会</p> <p>①相生湾を中心とした海に特化した体験型環境学習の実施(稚魚放流、海岸清掃、カヤック教室、海岸、干潟の生物観察会、里海ウォーク、潮位体験学習、無人島環境調査、相生市子ども環境会議の実施等)</p> <p>②市内小学校の海の環境学習のサポート(カキの養殖体験、海岸、干潟の生物観察会)</p> <p>③市外小学校海の体験学習受け入れ</p>	

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

空間／カテゴリー	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
都市	<ul style="list-style-type: none"> ●(西宮)広田山コバノミツバツツジ群落再生状況調査(H26) ●(西宮)御前浜等海岸部における植生変遷の分析および検討(H27) 		<ul style="list-style-type: none"> ○緑豊かな地域環境の形成に関する条例 ①適正な土地利用の推進、森林及び緑地の保全、緑化の推進並びに優れた景観の形成を図ることにより、緑豊かな地域環境を形成し、もって自然的環境と調和した潤いのある地域社会の実現に資することを目的とする ○景観の形成等に関する条例 ○兵庫県地球温暖化対策推進計画 ○ひょうご花緑創造プラン ○新さわかみどり創造プラン ○兵庫県広域緑地計画 ○淡路総合緑化プラン ○ひょうごエコタウン構想 ○兵庫県バイオマス総合利用計画 ○ひょうご循環社会ビジョン ○生物多様性尼崎の森中央緑地戦略 ●(神戸)グリーンコウベ21プラン(神戸市緑の基本計画) ●(伊丹)伊丹市都市計画マスタープラン(H23) ●(伊丹)昆陽池公園整備計画を策定(S46) ●(多可)多可町バイオマスタウン構想(H19) ●(宝塚市)たからづか都市計画マスタープラン2012(H24) 	<ul style="list-style-type: none"> ○貴重な藻類の配慮 ①道路高架橋の通過するため池におけるフサタスキモに配慮した計画・施工(東播磨南北道路) ○エコロード設置による生態系の復元①植生帯を設けた園路橋の設置(幹総合防災公園アクセス道路) ○下水道処理による良好な放流水の確保 ①海や河川への流出汚濁負荷量の軽減 ②公共衛生の向上、公共水質保全 ○蔓性植物等による人工法面、構造物の緑化 ○緑豊かな地域環境の形成に関する条例 ①開発面積が1000㎡を超え3000㎡未満は条例施行市町に事務委譲、3000㎡を超える場合は県民局に事務委任 ○在来種の種子による法面の緑化による生態系の保全 ①急傾斜地対策事業における法面の緑化 ②現地の植生の種子の採取、育苗、植栽 ○都市部とその周辺部の気温分布をモニタリング ●(神戸)「緑地の保全、育成及び市民利用に関する条例」に基づく各事業 ●(神戸)下水処理水等を利用したビオトープ、せせらぎ水路の整備(H10～) ●(神戸)公園におけるビオトープの整備 ●(姫路)緑の基本計画に基づく風致地区、緑地保全地区の指定 ●(明石)公園緑化の推進(緑の基本計画) ●(明石)壁面緑化(グリーンカーテン)の普及啓発(～H25) ●(明石)ビオトープの維持管理及び観察会(～H20) ●(伊丹)昆陽池水質浄化対策事業を実施(H9～) ●(加西)市道拡幅に伴う環境配慮工法の採用(H15) ●(加西)開発行為に伴う植栽緑地帯管理の事業者指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○動物愛護管理推進計画推進事業 ①動物愛護センターにおける動物の適正飼養講習会・研修会等の啓発事業 ・犬猫の譲渡 ・犬のしつけ方教室 ・夏休みセミナー ・小動物とのふれあい ・動物愛護フェア ・小学校等における出張啓発 ・地域イベントにおけるパネル展 ●(多可)使用済てんぷら油の回収、給食配送車のBDF利用 ●(西宮)全公立保育所にビオトープを設置(幼児期の環境学習の推進) 	

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

空間／カテゴリ	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
<p>動植物の保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●(神戸)神戸版レッドデータのフォローアップ調査(H23～) ●(姫路)サギソウの自生地調査 ●(姫路)生物多様性調査業務(鳥類)(H15～H16) ●(姫路)身近な生き物調査(ホタル)(H19) ●(姫路)身近な生き物調査(サギ科の鳥類)(H20) ●(姫路)水生生物調査 ●(姫路)希少動物の種の保存に関する調査、研究 ●(姫路)保存樹や保護植物への指定候補樹木等の調査 ●(尼崎)身近な自然からみた生き物調査(H24) ●(尼崎)第5回身近な生きものから見たあまがさきの自然調査(H19) ●(尼崎)あまがさきの身近な自然写真展およびカレンダー作成(毎年) ●(明石)ため池、河川等の生物状況調査 ●(明石)明石内自然環境調査(H16～) ●(明石)アカミミガメ防除調査(H23～) ●(明石・神戸)アカミミガメ防除調査(H29～) ●(西宮)生物保護区調査(甲山湿原(H16)) ●(西宮)剣谷自然保護区調査(H17) ●(西宮)甲子園浜の野鳥調査(H18) ●(西宮)仁川市民緑地自然基礎調査(H19) ●(西宮)旧阪急仁川植物園自然調査(H19) ●(西宮)公立保育所ビオトープ池動植物情報収集報告書(H23) ●(西宮)甲山グリーンエリア動植物調査(H24) ●(伊丹)昆陽池の鳥類生息調査(S25～) ●(伊丹)昆陽池の昆虫相調査(H16～) ●(伊丹)猪名川の昆虫相調査(H16～) ●(伊丹)伊丹の昆虫相調査(H16～) ●(伊丹)昆陽池の水質定期調査(H11～) ●(伊丹)昆陽池カワウの生息調査;個体数調査・繁殖調査・営巣木調査・行動圏調査・食性調査及び繁殖抑制実験(H13～) ●(伊丹)昆陽池のカモ類からのインフルエンザウィルス分離調査(H13～) ●(伊丹)昆陽池マイクロシステン分析調査(H14～) ●(伊丹)昆陽池ヌートリア生息数調査(H18～H19) ●(伊丹)昆陽池カラス塘調査(H19～) ●(伊丹)カモ類への人工衛星用送信機装着と移動経路追跡調査(H19～) ●(伊丹)昆陽池における渡り鳥等野鳥実態調査(H21.11～H22.10) ●(伊丹)昆陽池他市内ため池における水鳥実態調査(H23.10～H24.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ●(神戸)市民参加型生物多様性モニタリングプロジェクト「みんなで作るKOBES生きものマップ」(H23～) ●(明石)ため池、河川等の生物状況調査報告書 ●(明石)自然環境調査報告書(H16～) ●(明石)外来種生息域実態調査報告書(H23) ●(明石)ミシシippアカミミガメ生息域実態調査業務報告書(H24) ●(明石)ミシシippアカミミガメ防除調査業務報告書(H25) ●(明石)明石市ミシシippアカミミガメ対策事業報告書(H26～28) ●(明石・神戸)明石・神戸アカミミガメ対策事業報告書(H29) ●(伊丹)伊丹の自然H4(第1巻・伊丹市の自然環境、第2巻・多様な生物の世界) ●(伊丹)伊丹市自然シリーズ(野草S41、鳥S45、樹木S46、水と微小生物S47、昆虫S49、水生生物S50、石S52、植生S55、続・野草H6、続・昆虫H9、続・鳥H12、続・樹木H15) ●(伊丹)環境基本計画年次報告書(H16～) ●(伊丹)伊丹のヒメボタル(H20) ●(伊丹)平成19年度渡り鳥飛来経路解明調査報告書(H20) ●(伊丹)平成23年度渡り鳥飛来経路解明調査報告書(H24) ●(西脇)西脇市環境基本計画基礎調査資料別冊(自然環境)(H13)※合併前 ●(西脇)動植物の写真などによる記録(約3万点)(西脇市動植物生態調査研究グループ) ●(西脇)標本(昆虫)、剥製(鳥)(西脇市動植物生態調査研究グループ) ●(三田)『三田の文化財』H20 ●(三田)『三田の文化財—新規指定文化財(平成3年～10年)』1998年 ●(三田)『三田市史』第10巻地理編2003年 ●(加西)加西の環境(H18～) ●(加西)加西市史第三巻 本編3 自然(H14) ●(猪名川)ホタル生息調査結果報告書(H18) ●(福崎)『広報福崎』に天然記念物の記事 ●(養父)樽見の大ザクラ記念物保存修理事業報告書(H17) ●(宝塚)松尾湿原の植生調査報告書(H19～) ●(宝塚)宝塚市生態系レッドデータブック2012(H23) ●(宝塚)宝塚市レッドリスト(H24) ●(宝塚)宝塚市ブラックリスト(H24) ●(小野)小野市自然環境調査(H12) 	<ul style="list-style-type: none"> ○兵庫ビオトーププラン ●(神戸)ビオトープネットワーク神戸21計画(H13～) 	<ul style="list-style-type: none"> ○上山高原エコミュージアムの推進 ○貴重な自然生態系保全・再生活動支援事業 ○外来生物対策 ○淡路夢舞台の緑化 ○コウノトリ野生復帰事業 ●(姫路)野鳥観察小屋の開設(11月～2月) ●(姫路)保存樹の管理(剪定等)に対する補助金の交付 ●(姫路)姫路市自然保護条例に基づく保護地区や保存樹の指定、保護 ●(姫路)自然公園等の保全 ●(姫路)田んぼビオトープの実践 ●(姫路)ふるさとづくり振興(ホテル飼育) ●(姫路)貴重種の系統保存 ●(姫路)野生傷病鳥獣の保護 ●(明石)アカウミガメ保護関連事業 ●(明石)生物多様性あかし戦略推進会議参加団体との連携による希少種の保護活動 ●(西宮)仁川自然保護地区指定(H19) ●(西宮)シギ・チドリ類保護活動(甲子園浜生物保護区) ●(西宮)甲山の湿原及び森林の維持管理 ●(伊丹)昆陽池水辺環境再生事業 ●(小野)保存樹木の指定 ●(三田)カタツムリひょうご2008-09 ●(三田)こもりハウス(パッド・ボックス)調査 ●(加西)生物多様性の担い手コーディネート ●(篠山)篠山城跡堀の外來種駆除作業 ●(養父)自然学習歩道整備事業(H16～氷ノ山周辺登山道の整備) ●(養父)ゲンジボタルの保護及び生育環境の保全活動(奥米地 ほたるの里) ●(猪名川)川の状況を知るためにホタルの生息調査を実施 ●(猪名川)樹木の天然記念物指定や保存樹木の指定 ●(神河)ゲンジボタルの保護事業 ●(福崎)保存樹の指定 ●(福崎)天然記念物の指定(イチヨウ・クロガネモチ・ヤマモモ・コヤスノキ) ●(福崎)名勝としての指定(七種の滝) ●(福崎)イチヨウ養生事業の実施(H16～H20) 	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥獣保護区等指定 ○放鳥コウノトリをシンボルとした交流の促進 ①コウノトリファンクラブの運営 ②コウノトリ野生復帰PR事業の推進 ③コウノトリ野生復帰推進連絡協議会の運営 ●(姫路)ノジギク・サギソウの普及・促進 ●(姫路)自然探勝会の開催(大塚地区、姫路城周辺等) ●(姫路)パンフレット等の配布による普及・啓発(外来種問題) ●(姫路)パネル展示による啓発(外来種問題) ●(姫路)特定外来生物の相談・説明 ●(姫路)伊勢自然の里の活用 ●(姫路)自然観察会(トンボ、野草など) ●(姫路)自然探勝会(講師の解説有り) ●(姫路)姫路科学館の特別企画展 ●(尼崎)ビオトープ管理講習会 ●(豊岡)生きもの共生の日の制定及び関連事業の実施 ●(豊岡)外来業駆除作戦の実施 ●(三田)幼・小学校ビオトープ再生事業 ●(篠山)小学校に生き物に詳しい専門家(講師)の派遣 ●(養父)自然観察ガイド作成[きのこ、どんぐり、蝶] 大屋公民館(H17～H19) ●(太子)水辺の生き物教室 	<ul style="list-style-type: none"> ●(姫路)保存樹や保護植物の保護行為に対する補助 ●(豊岡)小さな自然再生活動支援助成制度(H23～) ●(養父)ヒダリマキガヤ、樽見の大ザクラ、口大屋のオオアベマキ、氷ノ山周辺文化財の保存活動への補助金 ●(福崎)ヤマモモ、クロガネモチの養生に対する補助

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

空間／カテゴリー	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
動植物の保全	<ul style="list-style-type: none"> ●(西脇)西脇市との委託契約により「西脇市動植物生態調査研究グループ」が市内の動植物生態調査及び市民への啓発活動などを実施(S48～) ●(西脇)市内自然調査(分布・生態調査)(西脇市動植物生態調査研究グループ) ●(西脇)ガンカモ、渡り鳥調査(西脇市動植物生態調査研究グループ) ●(西脇)水生生物調査(西脇市動植物生態調査研究グループ) ●(宝塚)丸山湿原における蝶類調査(H19) ●(三田)三田市史編さんに伴う地質・地形・土壌・植生調査H13～H15 ●(加西)動植物生態調査 ●(加西)加西市動植物生態調査(H24～) ●(加西)加西市の重要な生態系(H24) ●(篠山)森の学校復活大作戦 身近な自然再生に関する取組 ●(養父)ミズバショウ公園資源植物調査(H19) ●(養父)加保坂ミズバショウ生育地詳細測量(H17) ●(養父)氷ノ山文化財植物生育地詳細測量(H18) ●(猪名川)ホタルの生息調査(H18) ●(福崎)ふくさきのチョウ(H7) ●(篠山市)外来生物防除調査 ①篠山城跡堀や加古川・武庫川流域におけるミシシippアカミミガメ等外来生物の防除調査を実施 ●(篠山市)外来生物肥料化研究 ①大学・高校と連携して、外来生物を活用した肥料の開発・実証実験を実施 ●(篠山市)篠山城跡南堀のハスの復活 ①ミシシippアカミミガメの食害により消滅した篠山城跡後南堀のハスの復活に取組む 					

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

空間／カテゴリ	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
農林水産業			<ul style="list-style-type: none"> ○ひょうご農林水産ビジョン ●(神戸)こうべ農漁業ビジョン(H23) ●(猪名川)猪名川町アライグマ防除実施計画(H18) ●(三田)三田市アライグマ防除実施計画(H18.7) ●(三田)三田市ヌートリア防除実施計画(H20.2) ●(尼崎)尼崎市アライグマ防除実施計画(H23.2) ●(尼崎)尼崎市ヌートリア防除実施計画(H23.2) ●(加東)鳥獣保護区特別保護地区 指定更新 ●(川西)川西市アライグマ防除実施計画(H23.3) ●(川西)川西市ヌートリア防除実施計画(H23.3) ●(篠山)篠山市アライグマ・ヌートリア防除実施計画(H23) ●(神戸、西宮、宝塚、川西、三田、猪名川、加古川、高砂、西脇、三木、小野、加西、加東、多可、姫路、神河、市川、福崎、相生、たつの、赤穂、宍粟、太子、上郡、佐用、豊岡、香美、新温泉、養父、朝来、篠山、丹波、洲本、南あわじ、淡路)鳥獣被害防止計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい海の畑づくりへの取組 ①大規模な漁場の整備を図る構想の推進 ○資源回復計画の推進 ①出漁制限による水産資源(サワラ、アカガレイ、ズワイガニ等)の保全 ○種苗(マダイ・ヒラメ等)の安定生産 ①マダイ、ヒラメ、アワビ、サザエなどの種苗を生産・放流 ○水産資源を支える増殖場や魚礁の整備 ①マダイやズワイガニ等の資源増大を図るため、増殖場・魚礁を整備 ○アユの増殖など内水面漁業の振興 内水面漁業振興のため、アユ種苗の生産・放流を推進 ○人と環境にやさしい農業の推進 ①コウノトリ舞い降りる田んぼづくりの推進 ②コウノトリと共生するビオトープづくり ③環境創造型農業の推進 ④コウノトリ育む農法アドバイザーの養成 ●(姫路)環境保全型農業の推進 ●(姫路)鳥獣被害防止総合対策事業 ●(明石)地産地消の普及推進 ●(明石)里(農)と海(漁業者)の協働プロジェクトの推進 ●(明石)環境保全型農業取組への助成 ●(明石)栽培漁業の推進 ●(たつの)有害鳥獣捕獲事業 ●(加西)鳥獣被害防止総合対策事業 ●(加東)特定外来生物捕獲活動 ●(加東)有害鳥獣捕獲活動 ●(猪名川)農業被害を目的にアライグマの捕獲 ●(猪名川)有害鳥獣捕獲事業 ●(川西)有害鳥獣捕獲活動 ●(篠山)環境配慮型農業の普及啓発 ①フェロモントラップ購入助成による減農薬の推進や有機農薬の研修会の開催などを実施 ●(篠山)有害鳥獣対策 ①イノシシ、シカ、ニホンザル、アライグマ等による農業や生態系に係る被害防止に取組む 	<ul style="list-style-type: none"> ○農山漁村での農林漁業体験都市と農山漁村の交流「農」と関わりあるくらしなどの推進 ①多彩なひょうごの農林水産業やそれを支える農山漁村、さまざまな交流施設、地域などを舞台に食育を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●(三田)三田市有害鳥獣対策委員会を設置し、有害鳥獣捕獲に対して報償金を出している。有害鳥獣防除柵の設置に対して一部補助金を出している。 ●(三田)三田市有害鳥獣対策委員会に加入を基本に箱わな狩猟免許取得に対し一部補助金を出している。 ●(篠山)篠山市環境配慮型土地改良事業補助金 ●(太子)有害鳥獣駆除委託料

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

空間／カテゴリ	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
横断的・基盤的 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●(多可)新エネルギービジョン(旧町) ●(多可)地域バイオマス資源の複合エネルギー変換利用事業化FS調査(旧町)(H14) 	<ul style="list-style-type: none"> ●(姫路)姫路の環境 ●(加西)平成23年度地域生物多様性保全計画(加西市生物多様性地域戦略)策定事業委託業務報告書(H24) ●(加東)世界に一つ、加東遺産ガイドマップ(H19) ●(福岡)福岡町の文化財(神崎郡歴史民俗資料館図録) 	<ul style="list-style-type: none"> ●(神戸)神戸市環境基本計画(H23) ●(姫路)姫路市環境基本計画 ●(明石)第2次明石市環境基本計画(H23) ●(明石)明石市緑の基本計画(H23) ●(西宮)自然と共生するまちづくりに関する条例 ●(西宮)西宮市新環境計画(H17) ●(伊丹)伊丹市環境基本条例(H15) ●(伊丹)伊丹市緑地の保全及び緑化の推進に関する条例(S44)、同施行規則(S60) ●(伊丹)緑地保全地区指定(25地区)、保存樹木指定(39本) ●(伊丹)伊丹市みどりの基本計画(H23) ●(伊丹)伊丹市環境基本計画(H23) ●(たつの)龍野市緑の基本計画(H15) ●(赤穂)赤穂市自然環境の保全に関する条例(H11、H13年改正) ●(赤穂)赤穂市環境基本計画(H12) ●(西脇)西脇市環境基本計画(H22) ●(西脇)西脇市新市まちづくり計画(H17) ●(西脇)西脇市総合計画(H19) ●(宝塚)緑の基本計画(H13) ●(宝塚)水のマスタープラン(H13) ●(宝塚)第3次宝塚市環境基本計画(H27) ●(三木)三木市環境総合計画(H11) ●(小野)小野市農村環境計画(H13) ●(加西)加西市環境基本計画の策定(H18) ●(加東)環境基本計画(H23) ●(猪名川)猪名川町環境基本計画(第2次)(H18) ●(多可)農村環境計画(旧町) ●(多可)多可町役場地球温暖化対策事項計画(H20) ●(福岡)サルビアグリーンプラン(緑の基本計画) ●(福岡)農村環境計画(H14) ●(川西)第2次川西市環境基本計画(H29) ●(篠山)環境基本計画(H22) ●(篠山)篠山市生物多様性配慮方針(H25) ●(篠山)エコツーリズムの推進 ①生物多様性の保全と利活用のため、地域住民や事業者によるエコツアーの実施を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●(尼崎)人と生きものにやさしい環境づくり推進事業 ①自然との共生の実現を図るため、自然環境の保全、復元、創出の具体的な方法やその効果的な活用などを明らかにするとともに、市民等と協働、連携の仕組みづくりを図り、市民主体による環境づくりを推進 ●(明石)不要な樹木のリサイクル ●(明石)学校園庭芝生化事業 ●(明石)生物多様性あかし戦略推進会議の開催 ●(豊岡)ボランティアの日活動の実施(自然再生・生物多様性保全活動(2011～)) ●(豊岡)国際生物多様性年関連事業の開催(2010) ●(宝塚)ゲンジボタルの生育試験 ●(宝塚)ボランティア団体等による、里山整備、湿原整備の実施 ●(高砂)引越専門協同組合による抵抗性アカマツ(ひょうご元気松)の植樹 ●(加西)公共施設における植栽管理事業 ●(加西)市民による「花いっぱい運動事業」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひょうごグリーンサポートクラブ・ひょうごグリーンガーデン事業 ○ひょうご環境担い手サミットの開催 ○ふるさと兵庫子ども環境体験推進事業 ○環境体験事業 ①自然に対する畏怖の念をはじめ、命の大切さ、命のつながり、美しさに感動する豊かな心を身につけるため、小学校3年生を対象に、栽培・飼育等の自然に触れ合う体験型環境学習を実施 ○自然学校推進事業 ①小学校5年生を対象に、5泊6日の日程で、豊かな自然の中で様々な活動を実施することで、心身ともに調和のとれた子どもの育成を図る ○ひょうご環境教育実践推進事業 ①「環境教育実践推進校」を指定するとともに、「ひょうご環境教育新副読本」を作成するなど、「海・川・森」の環境教育プログラム等を活用した総合的な体験型環境教育を実施 ○「いきいき学校」応援事業 ①特色ある教育活動を支援するため、小中学校等に地域住民等で構成する「いきいき学校応援団」を設置するとともに、特定の分野で専門性の高い郷土出身者を招聘するなど、「総合的な学習の時間」等の充実を図る ○トライやるウィーク ①中学校2年生を対象に、地域や自然の中で生徒の主体性を尊重した様々な体験活動を通して「生きる力」の育成を図る ○トライやる・ワーク ①高校生が、地域行事への参加等を通して、ふるさとの課題や資源の活用についてより深く考察し、ふるさとへの誇りや愛着の醸成を図る ●(神戸)生物多様性シンポジウムの開催 ●(神戸)自然観察会の開催 ●(姫路)出前環境教室の実施 ●(姫路)「環境のホームページ」の活用 ●(尼崎)あまがさき環境塾の開催 ●(尼崎)あまがさき通信の発行 ●(明石)出前講座の実施 ●(明石)エコウィングあかしの事務局運営 ●(明石)オニバス観察会等、ため池協議会活動の支援 ●(西宮)市民参加型の自然調査ホームページの運用 ●(篠山)エコ・ティーチャーのおもしろ環境講座 ①環境学習の推進のため、自然環境や生きものに詳しい市民を講師として学校園に派遣 ●(篠山)丹波篠山生きもの48フェスタ ①生物多様性に関する普及啓発のため、パネル展示や書籍コーナーの設置、フォーラムの開催などを実施 ●(西宮)自然観察会等 ●(西宮)市民、事業者、行政による甲子園浜生物保護区(シギチドリ類)の保全啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境影響評価制度の推進 ●(西脇)委託金(西脇市動植物生態調査研究グループ) ●(加東)加東エコ隊への活動補助 ●(多可)各種ボランティア団体に補助金を交付

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

空間／カテゴリ	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
横断的・基盤的 取り組み					<ul style="list-style-type: none"> ●(西宮)市民参加による湿原、森林維持活動 ●(西宮)ボランティアによる生き物調査(ホタル、河川の生き物) ●(伊丹)昆陽池公園の自然(鳥・昆虫・植物等)観察会の実施(S48～) ●(伊丹)教職員自然観察(昆虫・野草・野鳥・天文)研修会の実施(H10～) ●(伊丹)伊丹緑地・緑ヶ丘公園の樹木観察会の実施(H13～) ●(伊丹)市内の巨木ウォッチングの実施(H13～) ●(伊丹)水と緑の散策道ネットワークづくり&歩く会(H13～) ●(伊丹)こどもエコクラブ ●(伊丹)ボランティアによる小学3年生の環境学習活動支援(H19～) ●(赤穂)ボランティア団体による自然観察会の開催 ●(赤穂)こどもエコクラブでの自然観察会・水生生物調査 ●(西脇)環境事業展示(写真展示)(西脇市動植物生態調査研究グループ) ●(西脇)自然カレンダーの配布(市内小中学校、市施設へ)(西脇市動植物生態調査研究グループ) ●(西脇)野鳥ケージ(西脇市動植物生態調査研究グループ) ●(西脇)市民かんきょう大学(市民かんきょう大学運営委員会に委託) ●(西脇)ホタル鑑賞会(中畑町) ●(西脇)ギフ蝶の観察(日本のへそ時計の丘公園) ●(西脇)ガキ大将教室(青少年センター) ●(宝塚)ホタル鑑賞会の実施 ●(宝塚)ボランティアによる自然観察会(チョウや草花)や体験学習の開催 ●(高砂)ガイドブック作成(高御位山登山マップ・高砂ぐるり東西南北～高砂観光ガイド～) ●(小野)ため池教室の開催 ●(小野)自然散策マップの配布 ●(三田)自主講座・旬彩講座として、森林インストラクターの指導の下、樹木の自然観察を実施。 ●(三田)ホタル観察会 ●(三田)水生昆虫観察会 ●(三田)ボランティア団体による観察会の実施 ●(三田)オオサンショウウオ観察会 ●(篠山)身近な自然再生に関するパンフレットの作成 ●(加西)環境教室の開催(毎年夏頃) ●(加西)加西の自然環境展(H18) ●(加西)環境教室の開催(毎年夏頃) ●(加西)加西の自然環境展(H18) ●(加西)ため池フォーラム(H19) ●(加西)小中学生を対象とした環境イベントの実施 ●(加西)広報等による、生き物情報提供の呼びかけ、各種環境情報の発信 ●(加西)環境出前講座の実施 	

生物多様性に係る施策の実施状況(県、市町)

空間／カテゴリー	調査・研究	資料・情報	計画・指針等の策定	具体的な事業	普及・教育・啓発	その他施策
横断的・基盤的 取り組み					<ul style="list-style-type: none"> ●(加西)公民館における環境講座 ●(加東)かとう自然がっこう(川・森)の開催 ●(加東)加東市環境市民団体(加東エコ隊)の活動 ●(福崎)『広報福崎』に「ふくさきの自然」掲載 ●(福崎)天然記念物イチョウに対する啓発(小学校総合学習) ●(福崎)ホタル観察会 ●(福崎)イチョウの木周辺の整備活用事業 	

兵庫県内におけるNPO等の環境活動について

NO	森・川・田・都・野・環 園・市・海・生・境 動・学・物・習	団体名（活動地域）	調査・研究	資料・情報	具体的な事業	普及・教育・啓発	HPアドレス
1		あいおいカニカニブラザーズ（相生市）	①相生湾干潟、沿岸のカニ類調査（H27より実施）	①兵庫県立人と自然の博物館HP等 ②日本甲殻類学会第55回大会に参加し口頭発表	①通年干潟、沿岸等でカニの生態及び個体調査	①兵庫県立人と自然の博物館「共生のひろば」、相生市子ども環境会議等で研究結果報告	
2		相生湾自然再生学習会議（相生市）	①相生湾の生物、植物調査 ②EM浄化活動 ③アマモ、シバナ追跡調査	①「相生市子ども環境会議」、浄化活動のお知らせ、アマモ、シバナ移植のお知らせ等	①相生湾の自然再生、清掃 ②湾の浄化活動（EM使用） ③絶滅危惧種シバナの保護 ④アマモ場造成 ⑤那波港養浜活動	①相生市内小学校、教育機関との連携（環境学習講演）	
3		NPO法人あいな里山茅葺同人		①ホームページ	①放棄地の草刈り ②林相整備（間伐） ③発生材の再利用		http://www.kankyo.atnifty.com/~kayabuki/
4		あいな里山バイオパーク（神戸市）	①トレイル調査	①ホームページ	①棚田・雑木林の整備・管理 ②小学生の環境体験支援 ③大学生の里山演習の支援		http://www.kankyo.atnifty.com/~biopark/
5		赤穂森の倶楽部（赤穂市）			①森林保全活動（ひょうご森の倶楽部活動地での森林ボランティア作業） ②桜樹のツル伐り ③市内育樹の支援		
6		NPO法人アグリサポート三田会			①放棄地整備	①貸し農園、農業体験教室の開催 ②就農支援 ③食育教育	
7		あさごササユリ21（朝来市）	①朝来市さのう高原などで絶滅しかけていたササユリの保全を行うため、自生地の調査		①ササユリの育つ環境の整備、個体数を増すために種子を蒔いたり、球根を育てて現地に植えている ②猪鹿による食害からササユリを守るために防護策の設置		
8		あしやエコクラブ（芦屋市）		①会員向け定期刊行物	①ケナフの育成、収穫、利用 ②ケナフの種の配付・回収	①ケナフを使った紙すき、料理、工作教室	
9		芦屋川に魚を増やそう会（兵庫県内（特に芦屋市））	①サツキマスの調査・研究 ②芦屋川、宮川の生き物調査 ③芦屋の砂浜、生き物調査 ④砂防ダム周辺の安全調査	①メダカの飼い方 ②情報誌「かわせみ」他	①芦屋川探検隊 ②ゲンジボタル観察会 ③芦屋庁舎内ビotope調査・管理 他	①メダカの里親事業 ②環境学習のサポート ③環境後援会 他	http://www.ashiyasystem.com/sakana/
10		NPO尼崎21世紀の森 森部会（尼崎市）	①尼崎21世紀の森に関する調査・研究	①ホームページ	①地域の自生種に限定した森づくり	①植樹会、観察会、クラフト教室等 ②森づくりに関する出前講座 ③市民参加型森づくりサポート	http://ama21mori.net/
11		あまがさき山仕事体験隊（尼崎市、猪名川町、篠山市）		①会情報誌発行	①里山保全活動の実施（尼崎高原ロッジ裏山、尼崎青少年いこいの家裏山、篠山市の私有林）	①キノコ観察会 ②夏休み・親子木の端細工教室	http://cwaweb.bai.ne.jp/~coprinus/yamasi goto/
12		NPO法人・アマモ種子バンク（兵庫県全域、全国）	①赤穂市地先のアマモ場の消長に関する調査・研究	①ホームページ	①アマモ種子の採取、保存 ②アマモ場造成に係る調査・研究	①アマモ場造成の普及活動 ②勉強会・講演会の開催	http://www.amamobank.sakura.ne.jp/
13		網引湿原保存会（NPO（加西市））		①パンフレット・リーフレットの作成		①湿原の保存活動・ボランティアガイド ②湿原観察会・レンジャー養成講座	
14		淡路島公園を楽しもう会（県立淡路島公園（淡路市））	①園内植物調査 ②鳥類調査	①ブログ、会員向け情報誌発行	①里山保全活動（竹林の整備）	①小学校の総合学習の受け入れ	http://blogs.yahoo.co.jp/happy2525awaji
15		NPO法人・石倉企画（姫路市石倉地域）	①峯相の里を中心として樹木・野草の調査、昆虫、鳥の分布調査 ②チョウの研究		①里山保全活動の実施等	①芝生広場の小学校の自然体験利用 ②トライやるウィークの受け入れ ③登山体験 ④勉強会	

兵庫県内におけるNPO等の環境活動について

NO	森・川・田・都・海・野・環・生・境・動・学・習	団体名（活動地域）	調査・研究	資料・情報	具体的な事業	普及・教育・啓発	HPアドレス
16	○	出石ミズアオイの会（豊岡市）				①地元小中学校との共同駆除作業 ②ミズアオイのつどいの開催 ③ポスター・パネル展示	
17	○	石田ホテルの会（朝来市）	①ホテルの飛ぶ時期、数の確認 ②川シジミの死滅調査	①ホテル祭りに合わせた新聞折り込み	①排水溝の草刈り、清掃 ②植栽管理 ③施肥、支柱、柵の修理		
18	○	伊丹の自然を守り育てる会		①伊丹市昆陽池公園における自然環境再生の取り組みについて ②昆陽池の水生生物相について ③活動には住友電気工業伊丹製作所や尼崎信用金庫（鴻池・桜台支店）の人的補助や東洋ゴム工業の補助金などの支援を受けている。	①ホテル里親 ②樹林管理（間伐、地域産苗木栽培、植栽、除草等） ③オニバスの栽培、増殖 ④ヨシ原の再生	小学校3年生環境体験学習事業指導（市内2小学校）	
19	○	一玉山登山会			①自然保護環境整備等 ②探鳥会 ③植樹		
20	○	NPO法人いちま丹波太郎（丹波地域）		①ホームページ	①環境保全型農業の支援、安心、安全な生産物が消費される仕組みを確立するための事業（新規就農支援、有機農業体験）		http://www5.nkansai.ne.jp/org/tanbataro/
21	○	いなみ野学園OB明石会環境ボランティアグループ（明石市）	①砂浜の漂着物の調査 ②アカウミガメの上陸調査		①藤江海岸の一部区画にハマユウの球根を植え付け、生育観察中		
22	○	NPO法人・上山高原エコミュージアム（新温泉町）	①上山高原におけるクモ類を指標としたモニタリング調査 ②イヌワシの生息、植生、チョウ類の調査 ③高酸性貴重植物の保全活動と自生地調査 ④ブナ林生物調査 ⑤ススキ草原自然再生モニタリング調査	①上山高原ガイドブック ②上山高原エコミュージアムのだより ③上山高原ほっとニュース ④モニタリング結果のまとめ	①ススキ草原復元のためのササ刈り、灌木伐等 ②ブナ林再生のための人工林の間伐と広葉樹（ブナ、ミズナラ等）の植樹、育樹 ③造成湿地への稀少植物（ノハナショウブなど）の植栽	①自然観察会（扇ノ山登山、きのご観察会等） ②インストラクター養成講座 ③モニタリング調査報告会	http://www.ueyamakog-en-eco.net/
23	○	海と空の約束プロジェクト			①環境教育活動の実施 ②自然観察会の主催	①紙芝居を使った環境教育	http://umisora.petit.cc/
24	○	海のいのちクラブ（姫路市）	①中村川ヘドロ調査 ②白浜海岸水質調査 ③白浜海岸付着生物観察	①感想文等の関係機関誌掲載	①フェスティバルの環境教室での子供達とヘドロ調査、水質調査、ゴミ拾い等 ②地元小・中学生とのヘドロ調査 ③稚魚の放流	①地元小中学校と中村川調査 ②海岸ゴミひろい ③専門家を招いての顕微鏡によるプランクトンや海岸付着生物の観察等や海草標本の作成	http://himejij-kj.org/
25	○	エコウイングあかし（明石市）	①カシノナガキムイムシ生息調査（2011） ②金ヶ崎公園植生調査（2010）	①生物多様性金ヶ崎公園戦略 ②カシノナガキムイムシ生息調査報告書（2011） ③「ふれあいの里山」復活大作戦in金ヶ崎公園 ④「知っとこ明石」 ⑤明石市民自然図鑑	①金ヶ崎公園里山整備 ②明石の海岸線観察会及び生物調査 ③自然環境フォーラムの開催（2011） ④自然探索ウォーキング	①生物多様性金ヶ崎公園戦略の編集参加 ②自然環境フォーラムの開催 ③環境イベントでの啓発活動 ④海岸線及び自然観察会の実施 ⑤市内保育所・小中学校の環境学習への積極的関わり	http://www.ecowing.net/index.html
26	○	エコグループ・武庫川（武庫川流域（宝塚市））	①武庫川流域の自然環境、歴史、文化、風土の調査	①武庫川エコバスガイド資料 ②武庫川エコハイクガイド資料	①武庫川エコバスガイド ②武庫川エコハイクガイド	①武庫川エコバスガイドによる啓発	http://homepage3.nifty.com/ecomukogawa

兵庫県内におけるNPO等の環境活動について

NO	森・川・田・海・都市・圏・野・環・生・境・学・習	団体名（活動地域）	調査・研究	資料・情報	具体的な事業	普及・教育・啓発	HPアドレス
27		奥須磨公園にトンボを育てる会			①ホテルの小川と湿地でのホテルの保全活動 ②トンボの小池の環境整備 ③カワバタモロコ保全活動		
28	○	お米の勉強会（主に兵庫県内）	①無施肥農薬の田畑の生き物調査、収量調査 ②在来種自家採取、在来種販売調査等	①会情報誌発行 ②「自転車サイズのまちづくりー震災よりの提言集」発行	①在来種保存農家の応援 ②在来種保存、自家採取活動として、休耕田や市民農園での栽培等 ③国産材使用の民家風在来工法の家の普及活動	①勉強会、講演会 ②シンポジウム ③研修、宿泊交流会 ④蘇食料理教室 ⑤会員農家主催や各地での見学会、体験学習の紹介	
29		NPO法人 海浜の自然環境を守る会（西宮市）			①甲子園浜の自然環境を守るため、海浜清掃や生き物調査、海浜植物の保護活動などを行う。		
30	○	かがやきの北池コミュニティ（播磨町）	①北池の水質検査（PH、COD） ②魚のつかみ取り大会での水生生物調査	①北池だよりの発行	①北池周辺及び内部のクリーンキャンペーン ②北池周辺の堤の花壇の整備	①北池周辺の美化、遊歩道の安全啓発	
31	○	一般財団法人・神楽自治振興会（丹波市神楽地区）	①シイ林保全調査 ②オオサンショウウオ生息保存調査 ③ホテル生息調査 ④浄丸神社鹿の子木保存調査 ⑤高源寺広葉樹林医療診断調査	①稲土川ホテル生息保存調査結果 ②かわら版「神楽の郷」発行	①加古川源流の里エコルネサンス事業（ビオトープづくり、バイカモ再生事業、シイ林保全事業）	http://sigura.jp/	
32	○	加古川の里山・ギフチョウ・ネット（加古川市）	①ギフチョウ調査（成虫、産卵、幼虫） ②ヒメカンアオイ分布調査 ③ヒメヒカゲ調査	①ホームページ	①ギフチョウ生息地の下草刈り、枝打ち	①チョウ観察会、見学会の開催 ②ギャラリーを利用したパネル展示	http://www2.ocn.ne.jp/~t-takasi/
33	○	加西ナチュラルリストクラブ（加西市と近隣地域）	①動植物・その他希少種の生態調査（ギフチョウ、ハッチョウトンボ、ヒメタイコウチなど）		①ため池・山林・川の生物調査（環境アセス）、ため池補修工事等の指導 ②カタクリの保全 ③公園の名札付け ④ギフチョウの食草の植栽	①環境学習における指導 ②公演 ③学習会 ④観察会	
34	○	川代ダム野鳥愛護協会（篠山市）		①ホームページ	①川代ダム・篠山川周辺において野鳥の生息調査や観察会を行っている。		
35	○	川西里山クラブ（川西市）	①エドヒガン保存活動（エドヒガンの調査、実生から育てたエドヒガン植樹） ②里山の若返り（鹿ネット内と外の植生調査）	①HPにより情報発信（イベント開催、里山活動参加者募集） ②Blogにより活動報告&樹木・野草の紹介	森林保全活動 ①里山の若返り（ナラ枯れ対策：大木になったコナラを伐採し、伐採木は薪として利用を図る。跡地にクスギを植樹） ②散策道の整備（市民対象に里山散策や小学生の里山体験学習に利用）	①一般市民対象（黒川里山まつり、花見（エドヒガン）と里山散策。エドヒガン・クスギの植樹） ②小学生対象（里山体験学習） ③黒川地区のクスギ植樹支援	①HP (http://www.hitosato.com/kawanishi_sato_yama_club/index.html) ②Blog (https://str1685.exblog.jp/)
36	○	川西自然教室（川西市）	①季節に応じた自然調査	①こげらだよりの作成	①自然観察会、自然体験活動		http://kawanishi.iina.net/
37	○	環境学習v二期会（神戸市）			①ゲームの作成（エコカルタ、ゴミの分別ゲーム等） ②コープこうべのレインボースクール	①小学校での体験型の学習会	

兵庫県内におけるNPO等の環境活動について

NO	森・川・田・都・海・野・環・生・動・学					団体名（活動地域）	調査・研究	資料・情報	具体的な事業	普及・教育・啓発	HPアドレス		
	森	川	田	都	海							野	環
38						○	環境美化を進める会（西宮市）			①西宮町六湛寺川橋上緑地帯を国交省から借り受け、ワイルドフラワーを植栽、除草 ②地球温暖化防止のための花壇の維持管理			
39	○						○	菊炭友の会（川西市）	①里山林の保全整備 ②エドヒガンの保護 ③薪炭の生産	①「黒川・桜の森」紹介パンフレット ②ホームページ	①「黒川・桜の森」保全整備 ②大土山エドヒガンの保護 ③薪・菊炭の生産	①小学校：環境体験学習、里山体験学習の受入実施 ②里山整備体験・炭焼体験会の実施	http://kikuzumi.exblog.jp
40	○		○					NPO法人・北神戸田園ボランティアネット（北神戸田園スポーツ公園内（神戸市））	①生き物調査（ホタル、サワガニ、カスミサンショウウオ、ビオトープ）	①会員、参加者への案内	①里山保全（森林整備、田畑維持、米づくり体験） ②ビオトープづくり	①学校、地域向け米づくり体験 ②田んぼの観察会	http://npodenbora.blogspot.com/
41	○	○						北須磨自然観察クラブ（神戸市）			①在来生物の繁殖保護 ②在来生物の生息域の整備		
42							○	NPO法人・近畿みなとの達人（近畿地方（神戸市））			①メリケンパーク内震災メモリアルパークを中心に陸域、海域の清掃奉仕活動	①生涯学習講座（うみ、ふね、みなと、ウミガメ）講演	http://www.geocities.jp/npominato/
43							○	NPO法人・グリーンアースin淡路（明石市・淡路島）	①自然にやさしい梅林の研究・運営 ②季節植物の観測 ③神戸海洋気象台と同じ標準木を定めて開花時期観測		①植林用の苗を種子から育てる ②竹林炭焼き ③化学肥料をしない有機物や竹炭を埋めた梅栽培等	①環境カウンセラー等として中学校で講話	http://www.sky.sannet.ne.jp/green7/
44	○	○	○			○	○	コウノトリ湿地ネット	①水辺生態系の向上作業 ②戸島湿地の植生調査 ③戸島湿地の魚類調査 ④田結水生昆虫調査 ⑤アカガエルの産卵状況調査	①コウノトリの野生定着に向けた放棄田の湿地化による自然生態系の再生 ②豊岡市田結地区の挑戦 ③会報誌「ハガタ」発行 ④コウノトリ目撃情報 ⑤コウノトリの餌場をつくる ⑥2009年度湿地再生白書発行	①ハチゴロウの戸島湿地の管理・運営 ②住民との協同による放棄水田の湿地化と地域再生 ③コウノトリ目撃情報の収集と整理 ④休耕田を活用したコウノトリの餌場創出と維持管理	①「命が循環する豊岡の里」ポスターの発行 ②JXTGエネルギーの協賛による「ENEOSわくわく生き物学校」の開催 ③小学校と連携した環境教育授業 ④コウノトリを知る学習会の開催 ⑤「湿地かんざつノート」の作成	http://wac-s.net/
45	○	○	○			○	○	NPO法人コウノトリ市民研究所（豊岡市）	①豊岡盆地の生き物調査	①「田んぼの学校フィールドノート」 ②「豊岡盆地の生きもの地図」 ③「豊岡盆地と円山川下流域のレッドデータ生物」	①各地域における「出張！田んぼの学校」	①コウノトリの郷公園を拠点とした「田んぼの学校」の開催 ②HPによる普及・啓発	http://kounotori.org/
46							○	神戸エコアップ研究会			①市街地の公園、学校などのエコアップ（生態学的改善）	①エコアップ講演会	
47	○							こうべ森の学校	①生き物調査とマップづくり ②森の学校だより	①ホームページ ②森の学校だより	①森林保全 ②自然観察会		http://www.k5.dion.ne.jp/~kobemori/morigaku_hp/index.htm
48	○							神戸山草会（兵庫県内）	①神出町・雌岡山、ケスハマソウ他植生調査	①会報、会誌 ②ひょうごの山野草	①神出町・雌岡山のケスハマソウ保護・増殖（山へ返す運動）	①六甲山高山植物園における観察会 ②県内外の山野草自生地観察 ③山野草の栽培、増殖の研究・情報交換	
49							○	神戸山手大学 宇治川ホタル研究部	①ホタルの保護と研究	①ホームページ	①はたる観察会		http://withinc.kobeyamate.ac.jp/hotaru/
50	○						○	コープアースくらぶ「環境エコーズ&スマイルエコーズ」（神戸市）			①西宮市社家郷山で里山づくり体験の予定（2009年～）	①幼・小学校の料理教室でのフードマイレージゲーム	

兵庫県内におけるNPO等の環境活動について

NO	森・川・田・海・野・環 園・市・都・動・生 物・学	団体名（活動地域）	調査・研究	資料・情報	具体的な事業	普及・教育・啓発	HPアドレス
51	○	国立公園成ヶ島を美しくする会（成ヶ島生石地区（洲本市））	①成ヶ島干潟の生き物、海浜植物調査 ②由良港内アマモの分布、その中に生息する生物調査 ③南方系生き物調査	①冊子「成ヶ島の植物」 ②冊子「由良港成ヶ島の貝類」 ③冊子「成ヶ島（大阪湾に浮かぶ家島）」 ④冊子「瀬戸内海国立公園成ヶ島」（作成協力）	①成ヶ島生石地区ナルトサワギク駆除	①地元小中学校自然観察会 ②みんなで見て考えよう成ヶ島 ③ハマボウ観察会とシンポジウム開催 ④シニア老人大学等受け入れ	
52	○	ごくらくとんぼ むしクラブ（篠山市）	①丹波地方の昆虫相の生息状況調査		①昆虫採集会	①昆虫に関心のある少年少女、大人の育成	http://gootuka.sakura.ne.jp/musikurabu/hattoutonbo.html
53	○	NPO法人子ども環境活動支援協会（西宮市）	①エコカードシステム開発 ②「国連持続可能な開発のための教育の10年」促進事業 ③企業会員30社による学校における環境学習プログラムの開発実施 ④西宮市エココミュニティ会議モデル地域における会員企業と連携したごみ減量活動の実施	①各種ホームページ作成及び管理運営（「西宮市地球ウォッチングクラブ」、「西宮市エココミュニティ情報掲示板」、「西宮市ESD推進協議会」、「地球キッズ環境ネットワーク」） ②環境活動支援情報誌「りいふ」の発行（年4回） ③環境学習パンフレット作成（「西宮の川を学ぶ 指導者用資料」、「にしのみや 川となかよしブック」、「農から学ぶ環境学習サポートガイドブック つくって・たべて・つながって」、「企業がができる子どもたちへの環境学習支援」等）	①西宮市環境学習事業の受託 ②コープの森・社家郷山での市民参加による森林保全活動 ③西宮市甲山自然環境センター管理運営等 ④教員、PTA、地域団体、企業などへの環境活動支援 ⑤農家・企業との連携による農体験普及及び農地保全事業 ⑥西宮市立甲子園浜自然環境センター学習交流室、環境学習サポートセンター管理運営 ⑦西宮市におけるエココミュニティ活動支援 ⑧JICA等海外研修プログラム受け入れ	①教員、自治体職員、企業等を対象とした環境学習会への講師派遣 ②甲山森林・湿原サポートセンター養成講座 ③農から学ぶ自然対話力育成セミナー ④環境教育セミナー・講演会	http://leaf.or.jp/
54	○	コミュニティひばり（宝塚市）			①北雲雀きずきの森の再生・保全活動		
55	○	権現ホテルを育てる会（加西市）	①自然との共有、ホテル調査 ②万願寺川上流のホテル調査		①ホテルと邦楽のタペ開催 ②下草刈り、水路、川の掃除等	①自然観察会 ②絵本等（ホテルの童話）による子供への話 ③万願寺川保全、啓発立て看板	
56	○	NPO法人サウンドウッズ（丹波地域、県内・全国各地）		①ホームページ	①森林所有者に対する森林資源活用提案事業 ②立木直接販売システムの運営管理 ③木材コーディネーターの育成・認定事業 ④森林保全に関するイベント開催事業 ⑤地域材活用による公共木造施設建設事業プロデュース事業 ⑥地球温暖化など環境問題の啓蒙・啓発活動		http://www.soundwoods.net/
57	○	櫻守の会（宝塚市）	①里山整備活動地（市内4ヶ所）植生調査	①会報誌「櫻守」発行 ②紹介ビデオ「櫻守たちの1年」制作配布	①里山整備活動（宝塚市内5ヶ所） ②子供環境体験学習（親子森づくり、小3環境体験学習、学校森林ボランティア体験事業、トライやるウィーク受け入れ等）	①公共イベントでのパネル展示 ②里山入門講座開催	http://www.sakuramori.net
58	○	逆瀬川の自然を守る会（宝塚市）			逆瀬川の清掃活動		http://www.jttk.zaq.ne.jp/sakasegawa/nilai_chuanno_zi_ranwo_shouru_hui/homu.htm
59	○	篠山環境みらいの会（篠山市）			①剛山における里山整備や武庫川流域における川の生きもの観察会などをおこなっている。		

兵庫県内におけるNPO等の環境活動について

NO	森・川・田・海・都市・公園・自然・環境学習					団体名（活動地域）	調査・研究	資料・情報	具体的な事業	普及・教育・啓発	HPアドレス
	森	川	田	海	都市						
60	○					篠山市サギソウ保存会（篠山市）		①ホームページ	①篠山市今田町においてサギソウの保護に取り組んでいる。		
61	○	○				篠山自然の会（丹波地域）	①篠山市内植生調査 ②ヒメボタル、カスミサンショウウオ、オグラコウホネ等生育調査	①会報誌の発行（2ヶ月に1回）	①自然観察会 ②多紀連山樹木名札かけ他		
62		○				篠山市地域いきものラボラトリー（篠山市）	①月1回市内河川の生きもの調査				
63	○	○				里山自然教室 清原塾（北播磨（三木市、吉川町）、三田市）	①ササユリ保全と山ユリの再生研究 ②湿地・ため池・湧水調査	①月例資料	①栗園植成、椎茸栽培、ピオトープ造成、植樹、里山造成等 ②圃場整備の完成による地域整備 ③植物保全植物園の造成	①自然教室 ②トライやるウィーク支援	
64	○					里山倶楽部緑台（神戸市）	①樹名調査 ②ため池調査	①会報誌「緑台だより」の発行（年4回）	①里山保全活動による健全な森づくり ②神戸総合運動公園フェスティバルでの里山整備体験 ③神戸総合運動公園内の竹利用による竹細工教室、草木染、布ぞうり教室開催	①樹木札（QRコード付）設置 ②勉強会、講演会の開催 ③自然素材利用教室開催（公園内の竹、つる、草木利用） ④小学3年生自然体験教育に協力	神戸総合運動公園 http://www.kobe-park.or.jp/sougou/volunteer/
65		○			○	さよう子ども体験クラブ・千種川の水生生物を観察しよう（佐用市）				①佐用町内の小学生を対象に、フィールドワークを通じて地域の河川に棲む水生生物への理解を深める。	
66	○	○				獅子が池を美しくする会			①獅子が池周辺の里山整備・保全作業		
67					○	自然観察クラブ			①親子参加の自然観察会		
68	○	○	○	○	○	自然体験教育研究所（県内全域）	①自然科学教育、環境教育、自然体験教育に関する研究		①教育資料の製作事業 ②指導者の育成事業		
69					○	自然と文化の探検団（神戸市、近畿）	①地域の自然と文化の探検	①会報誌発行	①高齢者を主体とした人的交流の促進、自然と文化の発見と生涯学習の実施		http://tanken02.com/index.html
70		○			○	自然と文化の森協会（尼崎市）	①猪名川自然林での生き物や植物調査 ②猪名川・瀬川や水路、河原など、水辺での水生生物の調査	①ホームページ	①エネ・ムクナ（絶滅危惧種）の保全活動 ②トウネズミモチ（外来生物）の伐採 ③田能地区に伝わる里芋の栽培	①自然観察会や環境学習イベント開催 ②里芋を市民と栽培 ③小学校等で環境体験学習の実施	http://www.morikyokai.sakura.ne.jp/index.htm
71			○		○	自然の学校（三田市）	①有機・無農薬での古代米作り（赤米・緑米・黒紫米・紫黒米）		①棚田の維持活動 ②絶滅危惧種を含む生物多様性の維持		
72	○	○	○	○	○	（一社）兵庫自然保護協会（兵庫県全域）	①県内各河川のオオサンショウウオ標識調査 ②森林性コウモリ調査 ③カエルツボカビ症調査 ④環境緑地の生き物調査	①会報誌「あしあと」の発行（毎月）等	①自然観察会等（オオサンショウウオ等）	①自然観察指導者研修会（年1回） ②ナチュラルウォッチャーリーダー研修会における観察会	http://www.hyogonacs.jp/

兵庫県内におけるNPO等の環境活動について

NO	森川田都海野環境学 園市動習	団体名(活動地域)	調査・研究	資料・情報	具体的な事業	普及・教育・啓発	HPアドレス
73	○	須加院川の会(姫路市)	①ホタル幼虫の飼育・放流の調査、研究、試行	①会報誌「須加院川ありがとう」の発行(年6回)	①須加院川内及び近辺のゴミ拾い、草刈り、河川敷花壇の世話、堤防や山すその桜、ハナミズキ等の世話 ②河床や川原の復元による川魚やカワニナとホタルの復活 ③復活した生態系の観察	①地元小学校への出前講座(須加院川の美化、環境保全)	http://www.eonet.ne.jp/~sukain/
74	○	生木活樹(尼崎市、西宮市、芦屋市)	①芦屋市奥池における山野生物調査 ②生活水(上水、下水)実態調査	①事業報告書の作成等	①浄水場、下水処理場の見学	①山野の自然観察会 ②水環境学習会等	
75	○	全国学校ビオトープネットワーク研究会(認定NPO法人自然環境復元協会所属)			①学校ビオトープ改善のための活動「一坪たんぼ」試行	①全国学校ビオトープ・シンポジウム in 神戸(認定NPO法人自然環境復元協会主催)	http://www.narec.or.jp/
76	○	大地の輪ネットワーク(朝来市、養父市)		①会報誌発行	①野生動物生息地の森づくり及び育樹(朝来市、養父市 6ヶ所)		http://www.h3.dion.ne.jp/~daiti/
77	○	宝塚野鳥の会(宝塚市)	①武庫川中流でのガン・カモ調査(定点調査) ②タカの渡り定点調査(塩尾等)	①会情報誌発行	①毎月3回の探鳥会 ②年2回の遠隔地探鳥会	①小学校での探鳥会の指導 ②展示会(写真、絵、バードカービング)	http://www9.plala.or.jp/tori/
78	○	宝塚エコネット(宝塚市)	①宝塚市立自然の家内松尾湿原の植生調査	②左記の植生調査報告書	①松尾湿原の保全活動(周辺斜面の間伐等)		http://www.geocities.jp/echonet_t/
79	○	宝塚市自然保護協会(宝塚市)	①生物の分布調査 ②湿原等の生態系調査	①会報誌の発刊 ②図鑑の発刊等	①保全再生活動 ②環境保全活動	①環境学習支援	http://naturezuka.com/
80	○	NPO法人宝塚西谷里山クラブ(宝塚市)			①里地里山の環境保全事業 ②里地里山を活用した環境学習事業 ③遊休農地等の活用事業 ④炭焼き窯の活用事業など		
81	○	多紀連山のクリンソウを守る会(篠山市)		①ホームページ	①多紀連山県立自然公園においてクリンソウの自生地の保護に取り組んでいる。		
82	○	溪のサクラを守る会(川西市)	猪名川沿いのエンドヒガン保護		環境体験学習		
83	○	ため池・湿地帯生き物保全グループ(神戸市)	①ため池、湿地帯に生息している生きもの調査、観察、保護 ②生息地の環境と生きものの生息状況調査	①活動調査報告書の作成	①希少種の増殖を目的とした移植と追跡調査及び生きものの生息状況調査 ②カエル、カスミサンショウウオの調査、観察、保護 ③破損、劣化した生態系のリハビリ(回復)等の環境整備 ④外来種の生息状況調査、除去活動及び啓蒙活動	①水辺の生きもの観察会(年2回) ②講演会、他の団体との意見交換会参加	
84	○	NPO法人・丹波里山くらぶ(丹波市)			①丹波市春日町の地元自治会所有地の山道整備		
85	○	たんぼぼ親子クラブ			①自然観察会の実施 ②手作りおもちゃづくり	①観察の手引き「天井川公園の植物と生きもの」発行	

兵庫県内におけるNPO等の環境活動について

NO	森・川・田・都・野・環 園・市・海・生・境 物・学	団体名（活動地域）	調査・研究	資料・情報	具体的な事業	普及・教育・啓発	HPアドレス
86	○	NPO法人・地域再生研究センター （兵庫県全域）			①市川源流部でのオオサンショウウオ等を活用した地域活性化事業（環境学習、エコミュージアム、多自然居住検討等）	①環境学習事業「キッズラボくろかわ」 ②オオサンショウウオの会	http://www.rireg.jp/
87	○	NPO法人 チーム御前浜・香榎園浜・里浜づくり（西宮市）			①御前浜・香榎園浜の海岸の清掃活動を実施		
88	○	チームk（伊丹市）			①伊丹市昆虫館と連携し、昆陽池公園の野鳥調査等を実施		
89	○	NPO法人・ツーバイイーエムエコあわじ（兵庫県内）	①有用微生物を使用した河川・海の浄化 ②郡家川調査（島内小学校）		①有用微生物を使用した河川及び海の浄化活動 ②学校や漁業組合と一体となり、地球温暖化の学習やEM団子作成・投入	①地球温暖化防止啓蒙活動（環境学習及び実習活動）	
90	○	ドングリネット神戸（阪神間（神戸市））	①ドングリの植生調査	①定期刊行物「ドングリタイムズ」（年2回）の発行 ②「ドングリ苗木の育て方」作成	①「ドングリ銀行神戸」の活動におけるドングリの採取、菌木の払い戻しなどの窓口開設 ②ドングリの仕分け、ポットで育苗、維持管理 ③植樹イベントの企画、苗木の提供、育樹指導 ④みなとのもり公園（神戸震災復興記念公園）の提言、植樹プランの実施	①ドングリプロジェクトとして、小中学校での環境授業や共同育成 ②ドングリ工作、ドングリ拾いツアーなど、幼、小学校向けの緑に親しむプログラムの実施	http://www.hyogo-intercampus.ne.jp/gallery/donguri/intro.html
91	○	中筋山手の森を楽しむ会			①地元自治会有志による宅地に残存する森林の維持管理 ②火災防止のためのコンダやウラジロの除去		
92	○	長谷口ミツガシワ湿地保存会（新温泉町）	①長谷口湿地を中心とする地域の自然環境及び動植物の調査を実施		①長谷口湿地に生育するミツガシワ、カキツバタ、サワオグルマなどの貴重な植物の保護 ②同湿地の清掃、草刈り、獣害対策		
93	○	中山台コミュニティ緑化環境対策部			①ヤシヤブシの伐採 ②市街地周辺の緑の再生や管理の実施		
94	○	西但馬の自然を考える会（新温泉町）	①但馬西部（新温泉町、香美町）で生物調査を実施	①定期刊行物「西但馬の自然」会誌（年1回） ②会員への情報発信と「にしたじま通信」（年6回：不定期）	①上山高原の希少植物の保全活動と調査研究 ②上山高原でのノハナショウブの植栽と生育状況の調査、周辺整備 ③身近な木の実（マツボックリ、ドングリ等）の収集と植物・昆虫等の写真記録	①自然観察会（旧町（5町）単位で年5回） ②環境学習会の開催（年2回） ③自然に関わるシンポジウム、講演会に参加し、他の研究者と相互交流及び情報交換の実施	
95	○	西宮自然保護協会（阪神間（西宮市））	①夙川の水質・生物調査 ②仁川水系の生物調査 ③香榎園浜、御前浜生物調査、生き物回復実験 ④西宮市域の生物調査	①定期刊行物「さざなみ」の発行（年1回）等 ②「西宮の自然」（1977）、「続西宮の自然」（1980）、「歩いてみよう西宮」（1988）、「続歩いてみよう西宮」（1991）、「ふるさと西宮の自然」発行 ③「西宮の自然」カレンダー、ハガキ等	①例会（自然観察会） ②動植物のカレンダー、ハガキの発行・販売	①会員向け自然観察会 ②勉強会、講演会	

兵庫県内におけるNPO等の環境活動について

NO	森・川・田・都・野・環 園・市・海・生・境 動・学・物・習	団体名（活動地域）	調査・研究	資料・情報	具体的な事業	普及・教育・啓発	HPアドレス
119	○	福田川クリーンクラブ	①生き物調査		①清掃活動 ②ホテル観賞会		
120	○	ブナを植える会（但馬地方（西部）、神戸市六甲山系）	①ブナ植樹測樹データ ②六甲ブナの調査協力 ③「都市山六甲山植生管理マニュアル」に委員として参加 ④東お多福山ススキ草原の復元調査	①会報誌発行 ②行事案内等	①但馬地域でのブナの植樹、育樹 ②六甲山でのブナの育樹 ③東六甲、東お多福山・ススキ草原への復元作業 ④森～川～海の連携で森づくり（住吉川・五助の森）	①緑の少年団との交流会 ②中学生への環境学習 ③小学校3年生への環境体験学習 ④ドングリの苗木づくり ⑤ブナの観賞会 ⑥六甲山系グリーンベルト整備事業参画	http://www.bunawouerukai.jp
121	○	保久良山登山会			①保全のための植樹 ②夏鳥の繁殖地保全 ③梅林の管理		
122	○	ボランティア アカシ・ウミガメ保護研究会（明石市）	①アカウミガメ上陸、産卵調査 ②アカウミガメの生態等	①活動内容DVD作成 ②ホームページ	①海岸の清掃活動 ②産卵海岸沖の水中調査	①DVD等を使つての親子ウミガメ勉強会（夏休み、小学校20校） ②ウミガメ題材にしたセミナー、研修会	
123	○	ボランティアグループ「未来の家」（三木市）	①夏のため池調査 ②夏の川体験（水生昆虫と水質）	①子供の感想文	①国有林保全活動 ②里道の整備 ③森の遊び場づくり ④休耕田の野菜づくり	①春の自然観察 ②冬の山体験等	
124	○	ふるさと小代会（香美町）	①小代区内の山野の植物調査 ②高丸山、大照山、仏の尾、林道大照線など小代区内の植物調査	①小代の自然と伝承（年1回発行）	①登山道、滝入口等の標識作成等	①会員向け学集会（年5回程度） ②小・中学生に機関紙配布 ③自然学校での環境学習指導	
125	○	NPO法人・マタギの会（兵庫県内（たつの市））	①県からの要請に基づくシカ、イノシシ等の目撃報告		①県、市、住民からの要請に基づき、有害鳥獣の捕獲		
126	○	まちづくり塾・加古川（加古川市、多可町）		①感想文集	①多可町自然体験学習会 ②加古川ツデーマーチ（容器、わりばしリサイクル活動） ③杉原和紙ハガキ、年賀状づくり講習会	①多可町自然体験学習会（紙すき、ホテル学習鑑賞会、川あそび） ②容器、わりばしリサイクル活動等	
127	○	丸山湿原群保全の会（宝塚市）	①モニタリング調査 ②定例観察	①会員向け情報誌発行	①湿原保全管理 ②湿原保護整備 ③保全啓発活動 ④巡回監視、清掃	①市内小学生親子対象環境学習 ②セミナー、フォーラム等開催	
128	○	NPO法人三木自然愛好研究会（東・北播磨地域（三木市））	①生物調査と愛護活動（カスミサンショウウオ、ヒメタイコウチ、キノコ、ギフチョウ等） ②水生生物と水質調査（年3回以上）	①会報誌「三愛だより」（年6回）、記念誌「NATURE・BOOK三木の自然」発行 ②ビデオ（三木の自然）作成 ③冊子（三木の動植物）の作成推進	①自然愛護に関わる活動（ギフチョウ復活、ササユリ復活、キノコ育成によるいり山再生） ②ふるさと公園の生物維持管理 ③絶滅危惧種シジミオモダカ保全活動	①環境学習に関わる支援（授業、自然学校等） ②観察会、調査の学習会（川ガキ、キノコ等） ③自然愛護啓発カレンダー、ビデオ、講習会等 ④地域住民、高齢者等への自然愛護のための活動	
129	○	山野里なんでも体験隊（西播磨地域）			①「川を耕す・磨く」（絶滅危惧種であるチスジノリの保全活動）	①地域小学生の体験学習（陶芸、稲刈りなど）	

兵庫県内におけるNPO等の環境活動について

NO	森川 田都野 園市海 動学 物習	団体名 (活動地域)	調査・研究	資料・情報	具体的な事業	普及・教育・啓発	HPアドレス
130	○	緑の環境クラブ (三田市)	①三田市内6箇所での酸性雨の定点観測調査	①会情報誌発行	①里山保全活動 (三田市立有馬富士森林公園整備)	①クラフトづくり、ネイチャーゲーム等イベント ②講演会開催 ③小学校の総合学習の一環として環境研修の実施	http://www.kippy-de.net/mypage/midori-nokankyo/
131	○	南新町美しいまちづくりの会		①ホームページ	①篠山市南新町において竹林整備とオムラサキの保護に取り組んでいる。		
132	○	南但馬の自然を考える会 (但馬地域)	①南但馬地域の自然の実態調査 ②但馬山地のシカ被害実態調査	①活動取りまとめ発行 (年1回)	①南但馬地域の貴重な植物群落の保全活動 (氷ノ山古生沼、古千本湿原の保全、ハチ高原ミガシ群落の保全、鶴縄溪谷リュウキンカ群落の保全等)	①月1回の自然観察会 ②地域の自然系学習への協力 (総合学習、公民館活動、公開講座等)	
133	○	ミヤマアカネ生態研究会 (あかねちゃんクラブ (宝塚市))	①ミヤマアカネの生態研究、モニタリング調査				
134	○	武庫川がっこう (宝塚市を含む武庫川流域)	①武庫川ガイドブックの作成・発刊 ②天然アユが遡上する武庫川づくりフォーラム開催 ③武庫川生き物ウォッチング (自然観察会) 開催	①ホームページ	①武庫川を「守り」「育て」「活かす」「学ぶ」ことを目標に、人々のネットワーク、調査研究、勉強会等の事業		http://mukogawa-gakkoo.jimdo.com
135	○	武庫川市民学会		①研究発表会講演集、セミナー資料集 ②市民学会誌 ③ホームページ	①研究発表会の開催 (年1回) ②セミナーの開催 (年複数回) ③学会誌の発行 (年1回)		
136	○	武庫川づくりと流域連携を進める会 (宝塚市・武庫川流域圏)	①武庫川水系の水質調査 ②県アユ調査への参加 ③河川施設、河川環境の調査研究 ④武庫川の治水・利水・環境関連調査	①カルテ (データ蓄積)、ガイドブック ②武庫川づくりに係るシンクタンク (専門知識・人材の提供) ③ホームページ	①武庫川流域委員会提言書にある住民参画と協働の総合治水による武庫川づくりの実現に向けた活動 ②運営会議、県流域7市住民との調整	①武庫川生きものウォッチング開催 ②武庫川フォーラムの開催 ③武庫川に関わるイベントへの総合治水の武庫川づくりに係る出前説明	
137	○	武庫川の治水を考える連絡協議会 (篠山市、三田市、宝塚市、伊丹市、尼崎市、西宮市)	①武庫川及び流域における生態系の観察・調査 ②海産天然アユ遡上についての研究 ③ミヤマアカネの観察調査 (逆瀬川) ④上流域におけるため池の実態調査	①広報誌「武庫川レポート」 (隔月発行)、ホームページ	①武庫川漁協との連携活動	①治水問題についての講演会、展示会 ②夏休みを利用した小学生向けの自然教室、川に親しむカヌー教室	
138	○	武庫川流域圏ネットワーク (宝塚市)		①ホームページ ②武庫川流域圏ネットワーク活動案内 (会員向けメール配信)	①自然探求を兼ねた武庫川河川敷清掃 ②運営委員会の開催 (定例は月1回)	魅力ある武庫川を求めての活動 ①武庫川流域圏ネットワーク活動報告会開催 ②講演会開催	
139	○	武庫ネイチャークラブ (宝塚市)			①地域の子どもや親子、一般向けに環境教育活動の実施		
140	○	虫生川周辺の自然を守る会 (川西市)	シロバナウンゼンツツジの保護、その他貴重な植物の保護	シロバナウンゼンツツジの公開 (毎年4月の花の見頃)	まち山保全活動	①小学校3年生の環境体験学習 ②自然観察会	
141	○	桃島池の自然を考える会 (豊岡市)	①桃島池、桃島川下流域に生息する絶滅危惧種ヒスマイトトンボの調査	①会の情報誌	①草刈り、ゴミ拾い、池のパトロール等 ②自然観察会等	①勉強会、講演会	

兵庫県内におけるNPO等の環境活動について

NO	森・川・田・都・海・野・環・生・境・動・学・物					団体名（活動地域）	調査・研究	資料・情報	具体的な事業	普及・教育・啓発	HPアドレス	
	森	川	田	都	海							野
142	○	○	○	○	○	○	NPO法人 森の都研究所（丹波地域他、京阪神）		①ホームページ	①生き物調査、自然教室の企画・実施 ②自治体向けまちづくり支援、生物多様性企画支援 ③企業への生物多様性保全支援、CSR活動支援、地球環境コミュニケーション支援		
143	○	○	○	○	○	○	NPO法人・野生生物を調査研究する会（阪神北地区）	①河川調査（猪名川、武庫川等）	①定期刊行物、書籍の発行等	①里山保全（三田市）	①自然観察会（年12回） ②教員向け講座（年1回）	http://www.wildlife.or.jp/
144	○	○	○	○	○	○	大和フォレストクラブ（DFC）（川西市）	観察用山野草花壇 80種移植 エドヒガン・クヌギ・ナラガシワ植樹 カブトムシ・クワガタムシ自然育成	ホームページ	川西市大和団地（約4,000戸）の周縁に放置された雑木林（市有地）を住民の憩いの場として再生させるための整備事業。	森の散策会（年2回） 自然観察会・自然工作教室（年2回） 森のカフェ（年7回）	http://dfc.sakura.ne.jp/
145	○	○	○	○	○	○	NPO法人・夢前川を美しくする会（姫路市）	①夢前川に住む水生生物の生息状況調査による水質回復調査	①会報誌発行	①夢前川清掃作業 ②夢前川の自然を回復するための草花の植栽	①環境の保全・啓発、住民の交流を図るイベントの開催	http://genki365.net/gnkh09/mypage/index.php?gid=G0000110
146	○	○	○	○	○	○	ゆめほたるクラブ（川西市）		①ホームページ	①国崎クリーンセンター敷地内の森林整備 ②環境学習セミナーの実施	環境学習セミナー（ヒメボタル観察会の実施、再生可能エネルギーによる地域活性化勉強会の実施）	http://www.kunisakicc.jp
147	○	○	○	○	○	○	よこおみち森もりの会			①横尾道及び周辺の清掃・整備 ②県花野路菊の植栽 ③竹やぶ整備等		
148	○	○	○	○	○	○	リバークリーン・エコ炭銀行（加古川市）	①河川や水路への竹炭の試験埋設（炭の水質浄化機能を利用し、加古川周辺地域の水辺環境を改善）	①炭フォーラムの開催 ②各イベントへの参加による普及啓発	①エコ炭銀行の設立（河川の浄化に使う竹炭を点数化して貸し借りし、竹林活用による上下流の循環型システムづくり）	①トライやるウィーク中学生への活動支援（河川の清掃、炭焼き）	
149	○	○	○	○	○	○	流域ネット猪名川	猪名川流域のネットワーク作り・外来種除去による在来種在来種、貴重種の保全		猪名川流域一斉クリーン作戦		
150	○	○	○	○	○	○	六甲山自然案内人の会（神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市）	①野生生物調査プロジェクト ②自主研修会プロジェクト（植物・野鳥） ③六甲山環境整備協議会 環境保全植生と生き物調査	①六甲山の植物等のパンフレット発行（「六甲山の花百選」、「六甲山の木の実、草の実」、「唐櫃古道種ラインロードと野仏たち」、「六甲山紅葉谷植物」、「キノコのいろいろ」）	①定例自然観察会 ②六甲山における「山の案内人」事業	①小学校3年生の環境体験学習サポート ②自然案内人養成研修プログラム入門コースの開催 ③六甲山自然保護センター環境学習プログラム	
151	○	○	○	○	○	○	NPO法人六甲山の自然を学ぼう会（神戸市）		①ホームページ	①六甲山及びその周辺地域の環境保全教育事業 ②企業による六甲山及び周辺の環境保全活動への支援事業		http://www.rokkosan-shizen.com/

